

第 3 章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

3. 対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲の概況について、既存資料等により把握した。

調査は、主に佐賀県佐賀市(「工事の実施」及び「土地又は工作物の存在及び供用」の全ての影響要因の影響が及ぶ範囲として選定)、同杵島郡白石町、福岡県柳川市(「土地又は工作物の存在及び供用」の内、「航空機の運航」について影響が及ぶ範囲として選定)のうち、図 3-1 に示す範囲を対象とした。なお、一部の調査項目については、この範囲を越えて調査を行う。

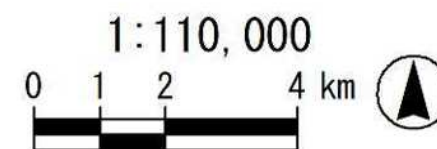


国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

 対象事業実施区域

図 3-1 対象事業実施区域及びその周囲



3.1. 自然的状況

3.1.1. 大気環境の状況

(1) 気象

過去 10 年間(平成 27 年(2015 年)～令和 6 年(2024 年))の気象観測結果は表 3.1-1(1)から(3)に、月別の平均降水量及び平均気温は図 3.1-1(1)から(3)に、気象の状況(風向風速)は図 3.1-2(1)から(2)に、各気象観測所の位置図を図 3.1-3 に示す。対象事業実施区域及びその周囲の気象に関する観測施設としては佐賀航空気象観測所のほか、白石観測所、柳川観測所がある。

過去 10 年間における年平均気温は、佐賀航空気象観測所で 16.8℃、白石観測所で 16.8℃である。月別の平均気温の最高値は佐賀航空気象観測所で 8 月の 29.3℃、白石観測所で 8 月の 28.3℃であり、最低値は佐賀航空気象観測所で 1 月の 5.7℃、白石観測所で 1 月の 5.6℃である。柳川観測所では、気象調査は実施していない。

過去 10 年間における降水量は、佐賀航空気象観測所で 148.5mm、白石観測所で 177.0mm、柳川観測所で 154.6mm である。月平均降水量の最高値について、佐賀航空気象観測所で 7 月の 371.7mm、白石観測所で 7 月の 377.1mm、柳川観測所で 7 月の 403.1mm が最も多く、最低値について、佐賀航空気象観測所で 12 月の 43.6mm、白石観測所で 12 月の 51.4mm、柳川観測所で 12 月の 43.4mm が最も少ない。

過去 10 年間における最多風向は佐賀航空気象観測所で西北西(平均風速 3.3m/s)、白石観測所で西北西(平均風速 2.3m/s)である。柳川観測所では風向調査は実施していない。

表 3.1-1(1) 佐賀航空気象観測所における過去 10 年間の気象観測結果

月平均	平均気温	平均降水量	平均風速	最多風向
	[°C]	[mm]	[m/s]	(16 方位)
1 月	5.7	49.1	3.0	西北西
2 月	6.9	67.3	3.4	北西
3 月	10.7	101.4	3.4	西北西
4 月	15.3	137.6	3.4	南南西
5 月	19.6	162.4	3.3	南
6 月	23.2	253.3	3.4	南南西
7 月	27.1	371.7	3.9	南南西
8 月	29.3	263.0	3.5	北北東
9 月	24.6	182.4	3.2	北
10 月	18.8	83.5	3.2	北
11 月	13.2	67.1	2.7	西北西
12 月	7.3	43.6	2.8	西北西
平均	16.8	148.5	3.3	西北西

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

表 3.1-1(2) 白石観測所における過去 10 年間の気象観測結果

月平均	平均気温	平均降水量	平均風速	最多風向
	[°C]	[mm]	[m/s]	(16 方位)
1 月	5.6	73.5	2.2	西北西
2 月	6.8	90.1	2.4	西北西
3 月	10.7	115.1	2.4	西北西
4 月	15.5	171.8	2.5	西
5 月	19.9	208.6	2.5	西南西
6 月	23.5	363.9	2.6	南西
7 月	27.3	377.1	2.7	南西
8 月	28.3	306.3	2.4	西
9 月	24.6	210.0	2.1	北北東
10 月	18.9	88.5	2.1	北北東
11 月	13.2	68.0	1.9	西北西
12 月	7.3	51.4	2.1	西
平均	16.8	177.0	2.3	西北西

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

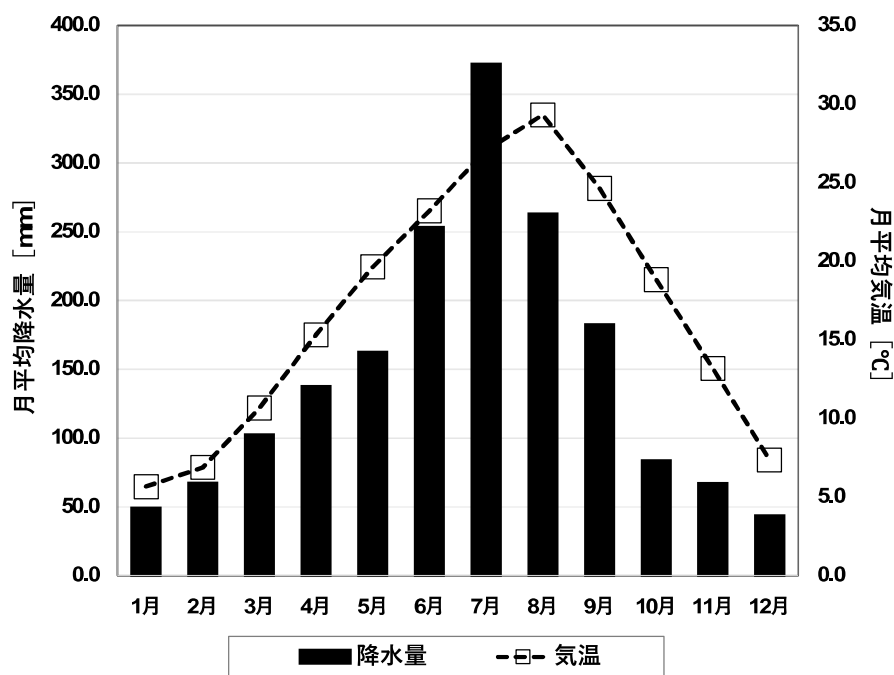
表 3.1-1 (3) 柳川観測所における過去 10 年間の気象観測結果

月平均	平均気温	平均降水量	平均風速	最多風向
	[°C]	[mm]	[m/s]	(16 方位)
1 月	—	49.3	—	—
2 月	—	69.4	—	—
3 月	—	111.3	—	—
4 月	—	141.7	—	—
5 月	—	162.7	—	—
6 月	—	277.5	—	—
7 月	—	403.1	—	—
8 月	—	279.3	—	—
9 月	—	174.0	—	—
10 月	—	79.0	—	—
11 月	—	64.4	—	—
12 月	—	43.4	—	—
平均	—	154.6	—	—

注 1. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

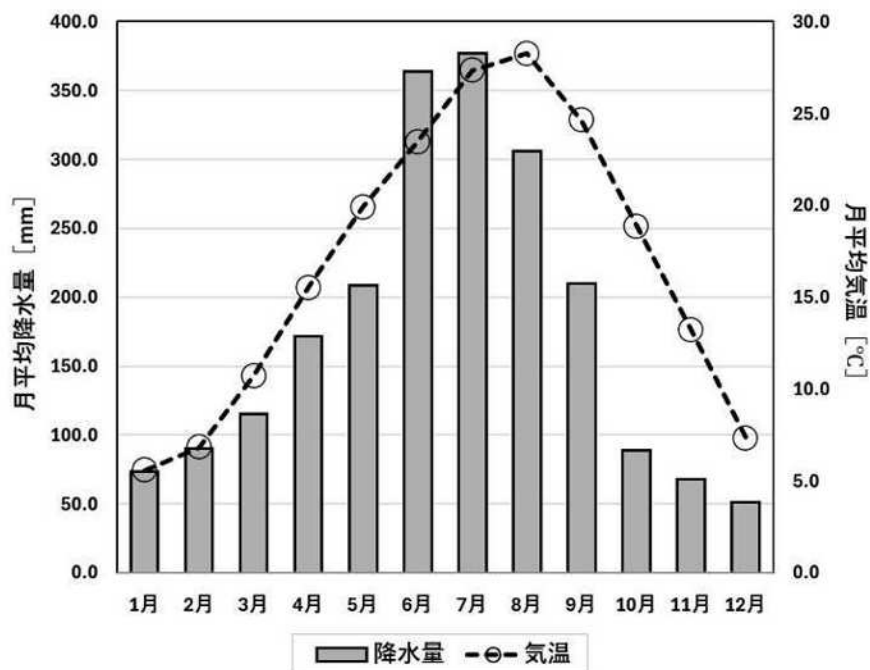
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

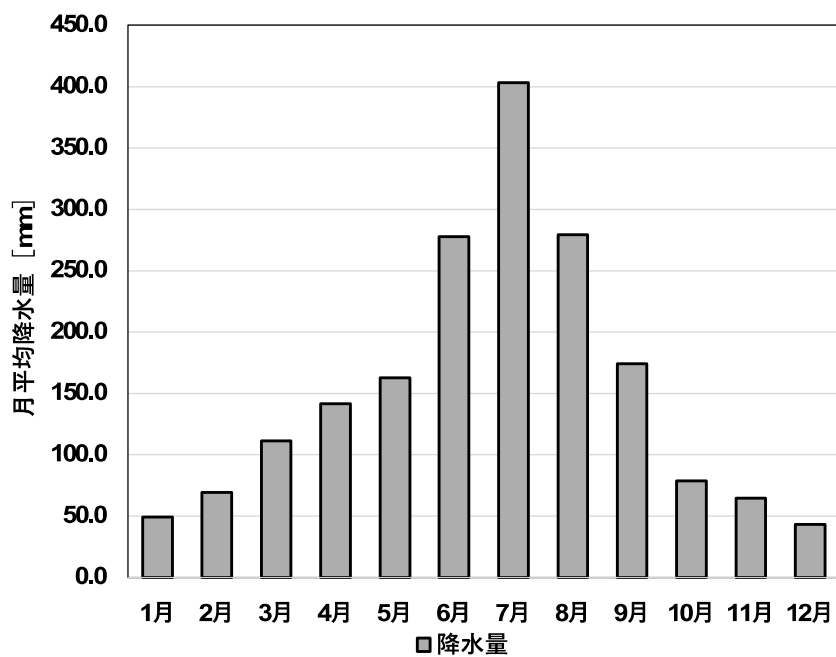
図 3.1-1 (1) 佐賀航空気象観測所における過去 10 年間の月平均降水量及び月平均気温



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

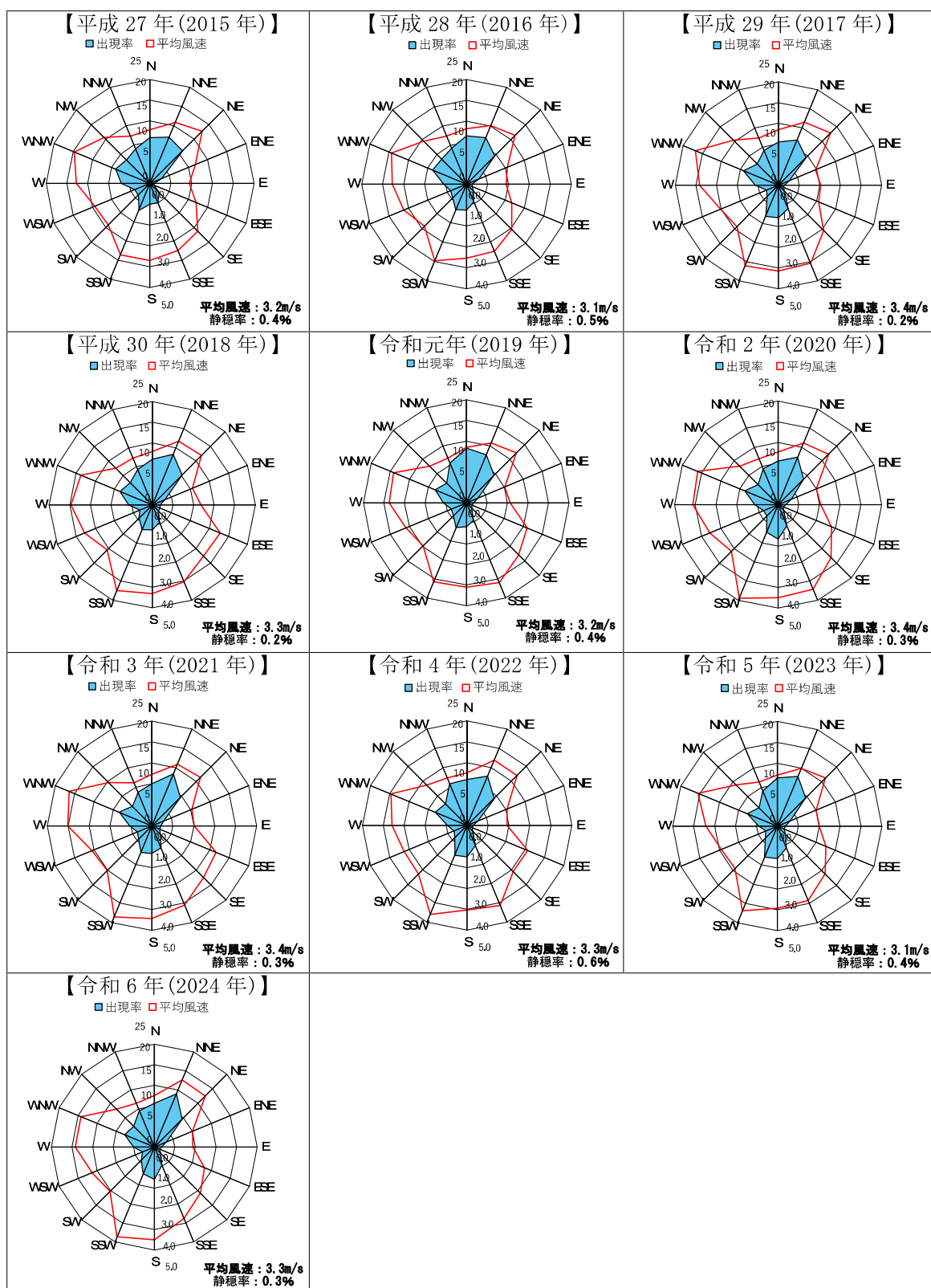
図 3.1-1 (2) 白石観測所における過去 10 年間の月平均降水量及び月平均気温



出典：「過去の気象データ検索」（気象庁ホームページ）

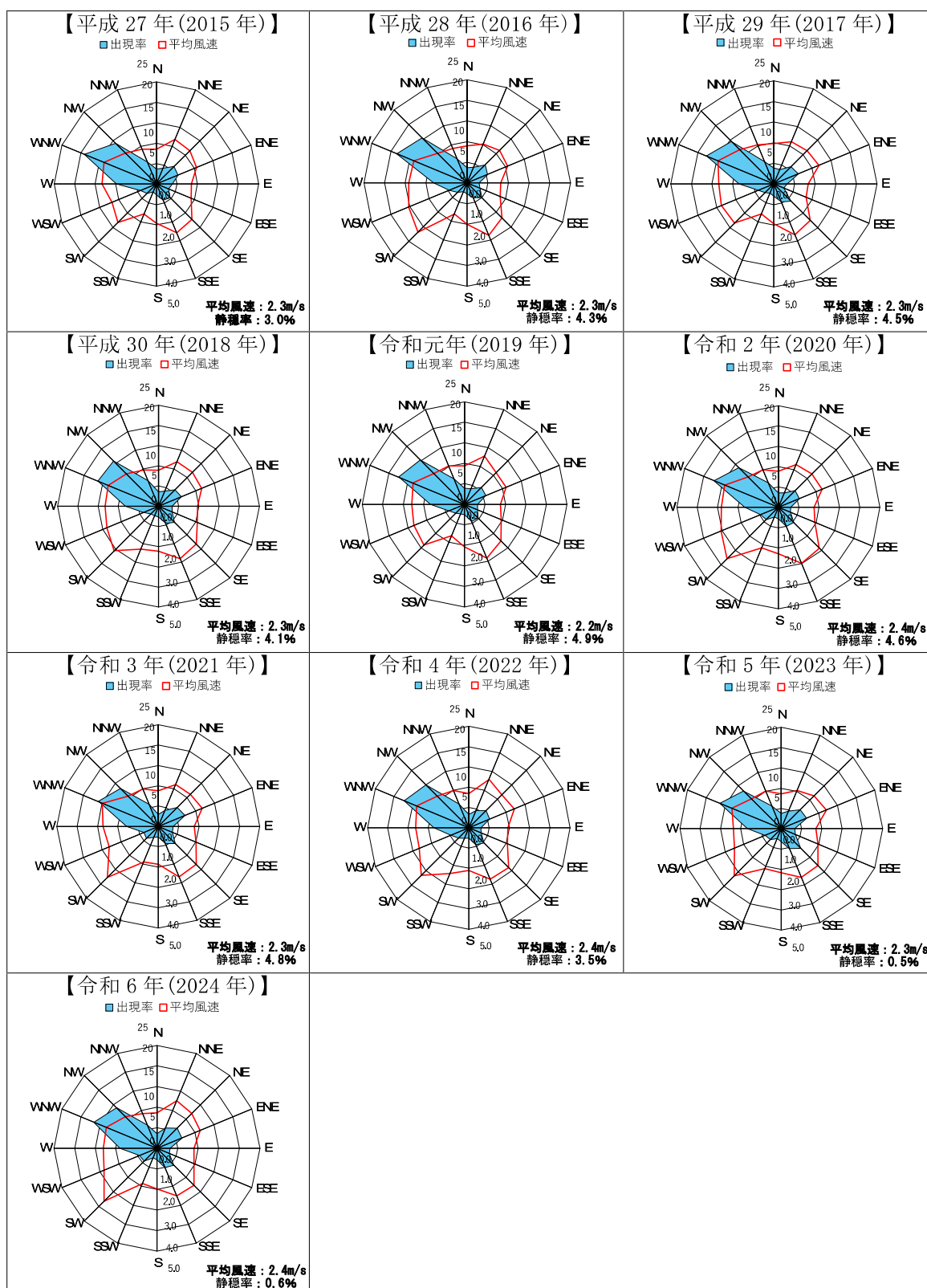
<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

図 3.1-1 (3) 柳川観測所における過去 10 年間の月平均降水量



出典:「過去の気象データ・ダウンロード」(気象庁ホームページ)
<https://www.data.jma.go.jp/risk/obsdl/index.php>

図 3.1-2(1) 佐賀航空気象観測所における気象の状況(風向風速)



出典:「過去の気象データ・ダウンロード」(気象庁ホームページ)
<https://www.data.jma.go.jp/risk/obsdl/index.php>

図 3.1-2(2) 白石観測所における気象の状況(風向風速)



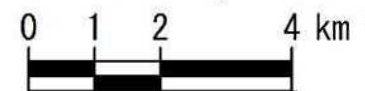
国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

- 対象事業実施区域
- 気象観測地点

図 3.1-3 気象観測施設位置図

1:110,000



出典

「地域気象観測システム(アメダス)」(気象庁ホームページ)

(2) 大気質

1) 佐賀県及び福岡県による調査

対象事業実施区域及びその周囲の5箇所において、佐賀県及び福岡県により大気質の測定を行っている。対象事業実施区域及びその周囲の観測地点は、一般環境大気測定局である佐賀局、白石局、鹿島局及び柳川局、自動車排出ガス測定局である兵庫局が実施している大気質の調査地点を含め、図 3.1-3 及び図 3.1-4 に示すとおりである。

大気質測定項目は表 3.1-2 に示すとおりであり、二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダント、非メタン炭化水素、ダイオキシン類、微小粒子状物質、有害大気汚染物質(ベンゼン・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタン)の測定が行われている。

表 3.1-2 各測定局における大気質測定項目

No.	測定局名称	局管理	区分	測定項目								
				二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	光化学オキシダント	非メタン炭化水素	ダイオキシン類	微小粒子状物質	有害大気汚染物質
1	佐賀	佐賀県	一般環境大気測定局	○	—	○	○	○	○	○	○	○
2	白石	佐賀県		○	—	○	○	—	—	—	○	—
3	柳川	福岡県		○	—	○	○	○	—	—	○	—
3'	柳川	福岡県	一般環境調査調査地点	—	—	—	—	—	—	○	—	—
4	兵庫	佐賀県	自動車排出ガス測定局	—	○	○	○	—	—	—	—	—
5	鹿島	佐賀県	一般環境大気測定局	○	—	○	○	○	—	—	○	—

注1. 「—」は測定されていない項目を示す。

出典：「令和5年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

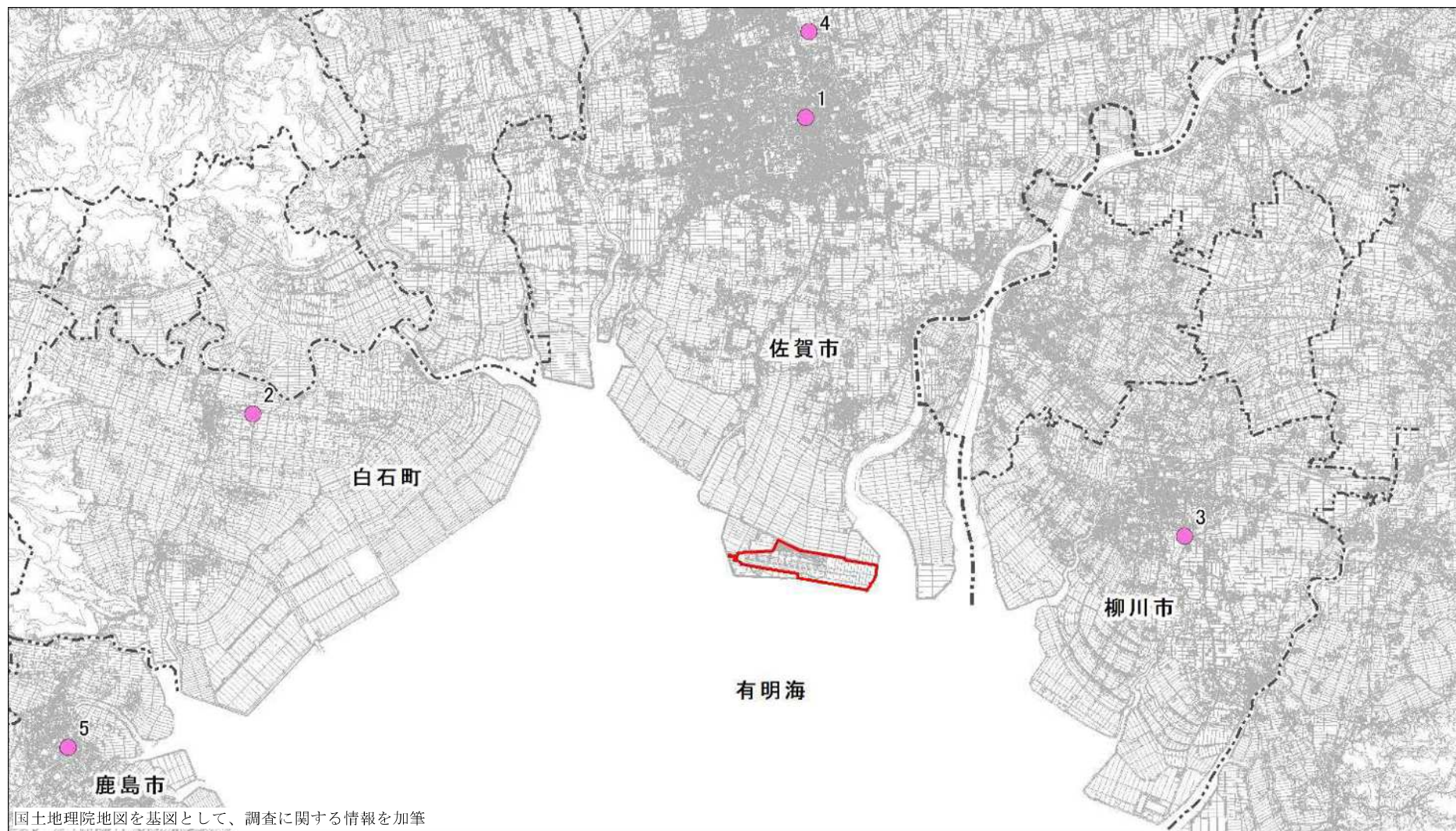
https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/3_110043_up_mmgz7o1w.pdf

「令和2年度ダイオキシン類環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

「公害関係測定結果(令和6年度版)」(福岡県ホームページ)

https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/763324_62439736_misc.pdf



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

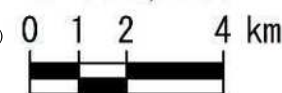
- 対象事業実施区域
- 大気質測定地点

図 3.1-4 大気質測定局位置図

出典

「佐賀県の大気環境(リアルタイム表示システム)」(佐賀県環境センター)
 「大気常時監視測定体制について」(福岡県ホームページ)
 「令和6年度 佐賀空港公害対策連絡協議会」(佐賀空港事務所)

1:150,000



7. 二酸化硫黄

二酸化硫黄の測定結果は表 3.1-3 に、過去 6 年間ににおける経年変化(年平均値)は表 3.1-4 及び図 3.1-5 に示すとおりである。日平均値の 2%除外値は、佐賀局において 0.002ppm、白石局において 0.002ppm、柳川局において 0.003ppm、鹿島局では 0.002ppm であり、いずれの地点においても環境基準(1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、1 時間値が 0.1ppm 以下)を満足している。

また、過去 6 年間ににおける経年変化(年平均値)においても、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、概ね横ばい傾向である。

表 3.1-3 二酸化硫黄の測定結果

No.	測定局	1 時間値 の最高 値	1 時間値が 0.1ppm を超 えた時間数と その割合		日平均値が 0.04ppm を超えた日数、その 割合及び 2 日以上連 続したことの有無			日平均値の 2%除外値	環境基準の長 期的評価によ る日平均値が 0.04ppm を 超えた日数
		ppm	時間	%	日	%	有無	ppm	日
1	佐賀	0.037	0	0.0	0	0.0	無	0.002	0
2	白石	0.015	0	0.0	0	0.0	無	0.002	0
3	柳川	0.034	0	0.0	0	0.0	無	0.003	0
5	鹿島	0.017	0	0.0	0	0.0	無	0.002	0

注 1. 令和 5 年度(2023 年度)の測定結果を示す。

出典：「令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/index.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryō/kougaisokutei06.html>

表 3.1-4 過去 6 年間ににおける二酸化硫黄の経年変化(年平均値)

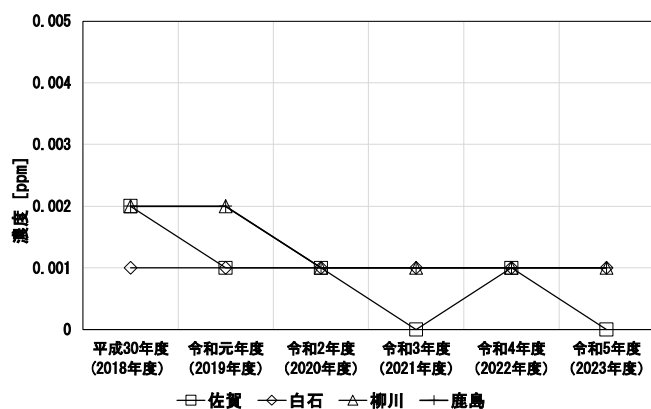
No.	測定局	年平均値[ppm]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.002	0.001	0.001	0.000	0.001	0.000
2	白石	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
3	柳川	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
5	鹿島	0.002	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryō/kougaisokutei06.html>



出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>

図 3.1-5 過去 6 年間における二酸化硫黄の経年変化(年平均値)

4. 一酸化炭素

一酸化炭素の測定結果は表 3.1-5 に、過去 6 年間ににおける経年変化(年平均値)は表 3.1-6 及び図 3.1-6 に示すとおりである。日平均値の 2%除外値は兵庫局において 0.4ppm であり、環境基準(1 時間値の 1 日平均値が 10ppm 以下であり、かつ、1 時間値の 8 時間平均値が 20ppm 以下)を満足している。

また、過去 6 年間ににおける経年変化(年平均値)においても、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、概ね横ばい傾向である。

表 3.1-5 一酸化炭素の測定結果

No.	測定局	1 時間値 の最高値	8 時間値が 20ppm を超えた回数と その割合		日平均値が 10ppm を 超えた日数、その割 合及び 2 日以上連続 したことの有無			日平均値の 2%除外値	環境基準の長期 的評価による日 平均値が 10ppm を超えた日数
		ppm	回	%	日	%	有無	ppm	日
4	兵庫	0.7	0	0.0	0	0.0	無	0.4	0

注 1. 令和 5 年度(2023 年度)の測定結果を示す。

出典：「令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

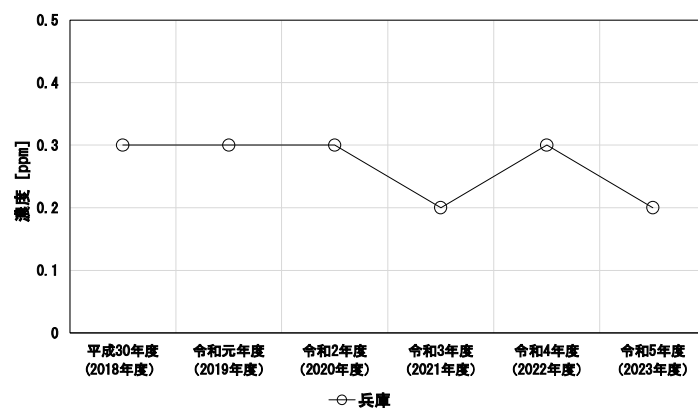
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/index.html>

表 3.1-6 過去 6 年間ににおける一酸化炭素の経年変化(年平均値)

No.	測定局	年平均値[ppm]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
4	兵庫	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>



出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」（佐賀県ホームページ）
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-6 過去 6 年間における一酸化炭素の経年変化（年平均値）

7. 浮遊粒子状物質

浮遊粒子状物質の測定結果は表 3.1-7 に、過去 6 年間における経年変化(年平均値)は表 3.1-8 及び図 3.1-7 に示すとおりである。日平均値の 2%除外値は、佐賀局において 0.030mg/m³、白石局において 0.034mg/m³、柳川局において 0.028mg/m³、兵庫局において 0.030mg/m³、鹿島局において 0.029mg/m³であり、柳川は環境基準(1 時間値が 0.20mg/m³ 以下)を超えた時間が見受けられる。

また、過去 6 年間における経年変化(年平均値)においても、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、概ね横ばいもしくは減少傾向である。

表 3.1-7 浮遊粒子状物質の測定結果

No.	測定局	1 時間 値の最 高値	1 時間値が 0.20mg/m ³ を 超えた時間数 とその割合		日平均値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数、その割合及 び 2 日以上連続したこと の有無			日平均値 の 2% 除外値	環境基準の長期的 評価による日平均 値が 0.10mg/m ³ を 超えた日数
		mg/m ³	時間	%	日	%	有無	mg/m ³	日
1	佐賀	0.078	0	0.0	0	0.0	無	0.030	0
2	白石	0.111	0	0.0	0	0.0	無	0.034	0
3	柳川	0.204	1	0.0	0	0.0	無	0.028	0
4	兵庫	0.113	0	0.0	0	0.0	無	0.030	0
5	鹿島	0.086	0	0.0	0	0.0	無	0.029	0

注 1. 令和 5 年度(2023 年度)の測定結果を示す。

出典：「令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji003110043/index.html

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>

表 3.1-8 過去 6 年間における浮遊粒子状物質の経年変化(年平均値)

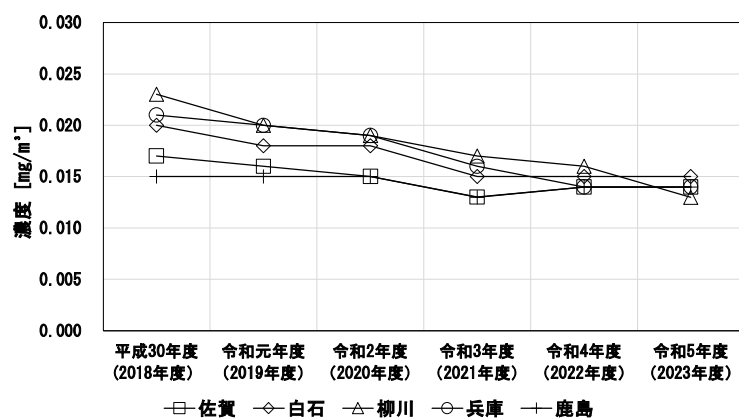
No.	測定局	年平均値[mg/m ³]					
		平成 30 年度 (2018 年)	令和元年度 (2019 年)	令和 2 年度 (2020 年)	令和 3 年度 (2021 年)	令和 4 年度 (2022 年)	令和 5 年度 (2023 年)
1	佐賀	0.017	0.016	0.015	0.013	0.014	0.014
2	白石	0.020	0.018	0.018	0.015	0.015	0.015
3	柳川	0.023	0.020	0.019	0.017	0.016	0.013
4	兵庫	0.021	0.020	0.019	0.016	0.014	0.014
5	鹿島	0.015	0.015	0.015	0.013	0.014	0.014

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>



出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>

図 3.1-7 過去 6 年間ににおける浮遊粒子状物質の経年変化(年平均値)

I. 二酸化窒素

二酸化窒素の測定結果は表 3.1-9 に、過去 6 年間ににおける経年変化(年平均値)は表 3.1-10 及び図 3.1-8 に示すとおりである。日平均値の 98%値は、佐賀局において 0.012ppm、白石局において 0.009ppm、柳川局において 0.011ppm、兵庫局において 0.014ppm であり、鹿島局において 0.007ppm、いずれの地点においても環境基準(1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下)を満足している。

また、過去 6 年間ににおける経年変化(年平均値)においても、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、概ね横ばいもしくは減少傾向である。

表 3.1-9 二酸化窒素の測定結果

No.	測定局	1 時間値の 最高値	日平均値が 0.06ppm を 超えた日数とその割合		日平均値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の日数と その割合		日平均値の 98%値
		ppm	日	%	日	%	ppm
1	佐賀	0.029	0	0.0	0	0.0	0.012
2	白石	0.019	0	0.0	0	0.0	0.009
3	柳川	0.028	0	0.0	0	0.0	0.011
4	兵庫	0.060	0	0.0	0	0.0	0.014
5	鹿島	0.019	0	0.0	0	0.0	0.007

注 1. 令和 5 年度(2023 年度)の測定結果を示す。

出典：「令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/index.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>

表 3.1-10 過去 6 年間ににおける二酸化窒素の経年変化(年平均値)

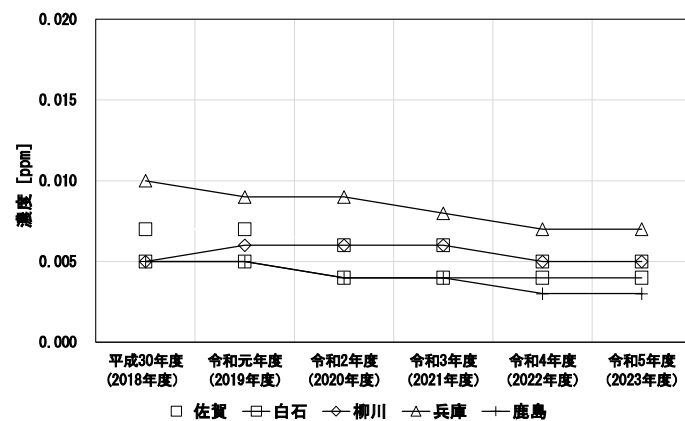
No.	測定局	年平均値[ppm]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.007	0.007	0.006	0.006	0.005	0.005
2	白石	0.005	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004
3	柳川	0.005	0.006	0.006	0.006	0.005	0.005
4	兵庫	0.010	0.009	0.009	0.008	0.007	0.007
5	鹿島	0.005	0.005	0.004	0.004	0.003	0.003

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>



出典：「平成30年度～令和5年度大気環境調査結果」（佐賀県ホームページ）
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>
「公害関係測定結果(令和6年度版)」（福岡県ホームページ）
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>
図 3.1-8 過去6年間における二酸化窒素の経年変化(年平均値)

ホ. 光化学オキシダント

光化学オキシダントの測定結果は表 3.1-11 に、過去 6 年間における経年変化(年平均値)は表 3.1-12 及び図 3.1-9 に示すとおりである。昼間の 1 時間値が 0.06ppm を超過した時間数は、佐賀局において 326 時間、柳川局において 226 時間、鹿島局において 282 時間であり、環境基準(1 時間値が 0.06ppm 以下)の値を超過している。

一方で、過去 6 年間における経年変化(年平均値)においては、環境基準の値を下回る範囲で推移しており、概ね横ばいである。

表 3.1-11 光化学オキシダントの測定結果

No.	測定局	年平均値 (昼間の 1 時間値)	昼間の 1 時間値 の最高値	昼間の 1 時間値が 0.06ppm を 超えた日数と時間数	
		ppm	ppm	日	時間
1	佐賀	0.035	0.087	59	326
3	柳川	0.043	0.086	44	226
5	鹿島	0.035	0.091	60	282

注 1. 令和 5 年度(2023 年度)の測定結果を示す。

出典：「令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/index.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>

表 3.1-12 過去 6 年間における光化学オキシダントの経年変化(年平均値)

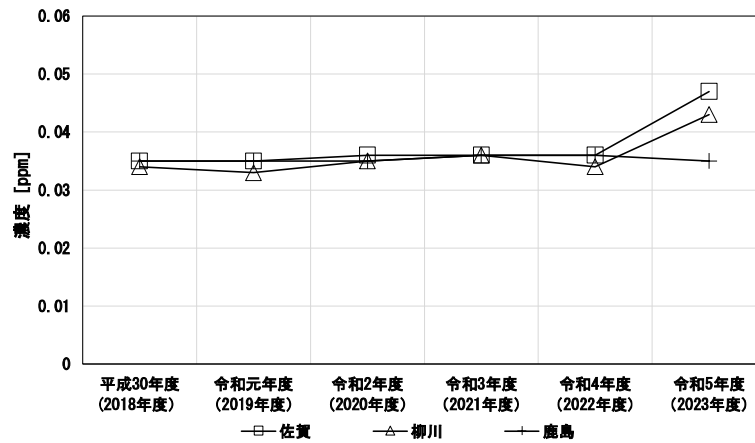
No.	測定局	年平均値(昼間の 1 時間値) [ppm]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.037	0.035	0.036	0.036	0.036	0.047
3	柳川	0.034	0.033	0.035	0.036	0.034	0.043
5	鹿島	0.035	0.035	0.035	0.036	0.036	0.035

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>



出典：「平成30年度～令和5年度大気環境調査結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

「公害関係測定結果(令和6年度版)」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>

図 3.1-9 過去6年間に於ける光化学オキシダントの経年変化(年平均値)

カ. 非メタン炭化水素

非メタン炭化水素の測定結果は表 3.1-13 に、過去 6 年間における経年変化(年平均値)は表 3.1-14 及び図 3.1-10 に示すとおりである。指針値(0.20ppmC ～0.31ppmC の範囲)を超えた日数は 0 日であり、過去 6 年間における経年変化(年平均値)においては、指針値の範囲を下回る値で推移している。

表 3.1-13 非メタン炭化水素の測定結果

No.	測定局	年平均値	6～9 時における 年平均値	6～9 時 3 時間 平均値の最高値	6～9 時 3 時間平均値が 0.31ppmC を超えた日数
		ppmC	ppmC	ppmC	日
1	佐賀	0.08	0.08	0.29	0

注 1. 令和 5 年度(2023 年度)の測定結果を示す。

出典：「令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

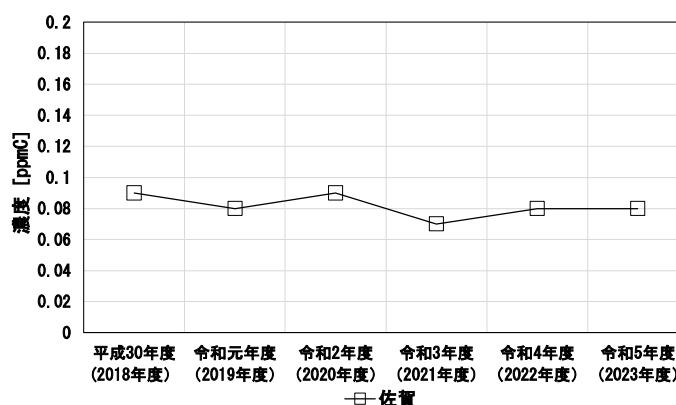
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/index.html>

表 3.1-14 過去 6 年間における非メタン炭化水素の経年変化(年平均値)

No.	測定局	年平均値 [ppmC]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.09	0.08	0.09	0.07	0.08	0.08

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/index.html>



出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/index.html>

図 3.1-10 過去 6 年間における非メタン炭化水素の経年変化(年平均値)

キ. ダイオキシン類

ダイオキシン類の測定結果は表 3.1-15 に、過去 7 年間ににおける経年変化(年平均値)は表 3.1-16 及び図 3.1-11 に示すとおりである。年平均値は、佐賀局において 0.0082pg-TEQ/m³、柳川局において 0.018pg-TEQ/m³ であり、いずれの地点においても環境基準(0.6pg-TEQ/m³ 以下)を満足している。また、過去 7 年間ににおける経年変化(年平均値)においても、環境基準の値を下回る範囲で推移している。

表 3.1-15 ダイオキシン類の測定結果

No.	測定局	第 1 回目	第 2 回目	年平均値
		pg-TEQ/m ³	pg-TEQ/m ³	pg-TEQ/m ³
1	佐賀	0.0033	0.013	0.0082
3	柳川	0.079	0.029	0.018

注 1. 佐賀局は令和 2 年度(2020 年度)、柳川局は令和 5 年度(2023 年度)の測定結果を示す。

出典：「令和 2 年度ダイオキシン類環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/3_50717_225411_up_c11s1k6v.pdf

「令和 5 年度ダイオキシン類調査結果について」(福岡県ホームページ)

https://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/659696_61508879_misc.pdf

表 3.1-16 過去 7 年間ににおけるダイオキシン類の経年変化(年平均値)

No.	測定局	年平均値[pg-TEQ/m ³]						
		平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.014	0.012	0.012	0.0082	—	—	—
3	柳川	0.019	0.016	0.015	0.030	0.018	0.018	0.018

注 1. 佐賀局は、令和 3 年度(2021 年度)～令和 5 年度(2023 年度)はローテーションにより実施している。

出典：「平成 29 年度～令和 2 年度ダイオキシン類環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

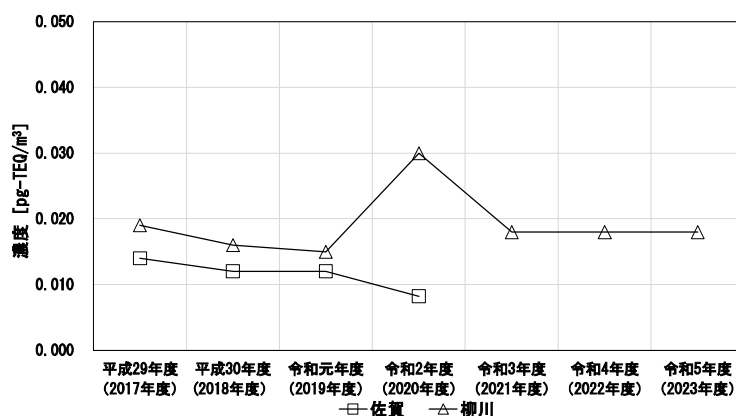
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

「平成 29 年度～令和元年度ダイオキシン類の調査結果について」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dioxintop.html>

「令和 2 年度～令和 5 年度ダイオキシン類の測定結果について」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dioxintop.html>



出典：「平成 29 年度～令和 2 年度ダイオキシン類環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

「平成 29 年度～令和元年度ダイオキシン類の調査結果について」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dioxintop.html>

「令和 2 年度～令和 5 年度ダイオキシン類の測定結果について」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dioxintop.html>

図 3.1-11 過去 7 年間ににおけるダイオキシン類の経年変化(年平均値)

7. 微小粒子状物質

微小粒子状物質の測定結果は表 3.1-17 に、過去 6 年間ににおける経年変化(年平均値)は表 3.1-18 及び図 3.1-12 に示すとおりである。年平均値は佐賀局において $10.1 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、白石局において $10.8 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、柳川局において $9.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ 、鹿島局において $10.4 \mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、日平均値の 98% 値が $35.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数は、佐賀局、白石局、柳川局、鹿島局でいずれも 0 日である。年間における経年変化(年平均値)をみると、いずれの測定局も減少傾向にあり、過去 6 年間ににおける経年変化(年平均値)においても環境基準を下回る範囲で推移している。

表 3.1-17 微小粒子状物質の測定結果

No.	測定局	年平均値	日平均値の 98% 値	日平均値の最高値	日平均値の 98% 値が $35.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数
		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日
1	佐賀	10.1	22.4	31.6	0
2	白石	10.8	23.8	36.2	0
3	柳川	9.0	21.5	-	0
5	鹿島	10.4	21.7	37.6	0

注 1. 令和 5 年度(2023 年度)の測定結果を示す。

出典：「令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003110043/index.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>

表 3.1-18 過去 6 年間ににおける微小粒子状物質の経年変化(年平均値)

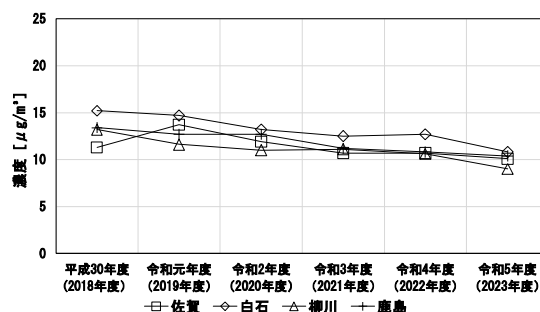
No.	測定局	年平均値[$\mu\text{g}/\text{m}^3$]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	11.3	13.7	11.9	10.7	10.7	10.1
2	白石	15.2	14.7	13.2	12.5	12.7	10.8
3	柳川	13.2	11.6	11.0	11.1	10.6	9.0
5	鹿島	13.4	12.7	12.7	11.2	10.8	10.4

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list00024.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>



出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/list00024.html>

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kougaisokutei06.html>

図 3.1-12 過去 6 年間ににおける微小粒子状物質の経年変化(年平均値)

7. 有害大気汚染物質

有害大気汚染物質(ベンゼン・トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタン)の過去 6 年間にける経年変化(年平均値)は表 3.1-19 から表 3.1-22 及び図 3.1-13 から図 3.1-16 に示すとおりである。ベンゼンについては、佐賀局において 0.00049～0.00067mg/m³で推移している。トリクロロエチレンについては、佐賀局において 0.00001～0.00003mg/m³で推移している。テトラクロロエチレンについては、佐賀局において 0.00002～0.00003mg/m³で推移しており、ジクロロメタンについては、佐賀局において 0.00083～0.00130mg/m³で推移している。

また、過去 6 年間にける、環境基準(ベンゼン：1 年平均値が 0.003mg/m³ 以下、トリクロロエチレン：1 年平均値が 0.13mg/m³ 以下、テトラクロロエチレン：1 年平均値が 0.2mg/m³ 以下、ジクロロメタン：1 年平均値が 0.15mg/m³ 以下)を下回る範囲で推移している。

表 3.1-19 過去 6 年間にける有害大気汚染物質(ベンゼン)の経年変化

No.	測定局	年平均値[mg/m ³]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.00067	0.00065	0.00054	0.00056	0.00054	0.00049

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度有害大気汚染物質調査」(佐賀県ホームページ)
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00352775/index.html>

表 3.1-20 過去 6 年間にける有害大気汚染物質(トリクロロエチレン)の経年変化

No.	測定局	年平均値[mg/m ³]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.00002	0.00003	0.00002	0.00001	0.00002	0.00002

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度有害大気汚染物質調査」(佐賀県ホームページ)
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00352775/index.html>

表 3.1-21 過去 6 年間にける有害大気汚染物質(テトラクロロエチレン)の経年変化

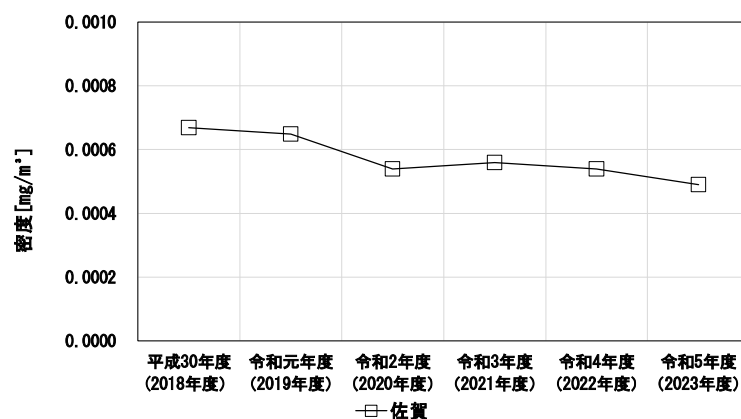
No.	測定局	年平均値[mg/m ³]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.00002	0.00003	0.00003	0.00003	0.00002	0.00003

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度有害大気汚染物質調査」(佐賀県ホームページ)
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00352775/index.html>

表 3.1-22 過去 6 年間にける有害大気汚染物質(ジクロロメタン)の経年変化

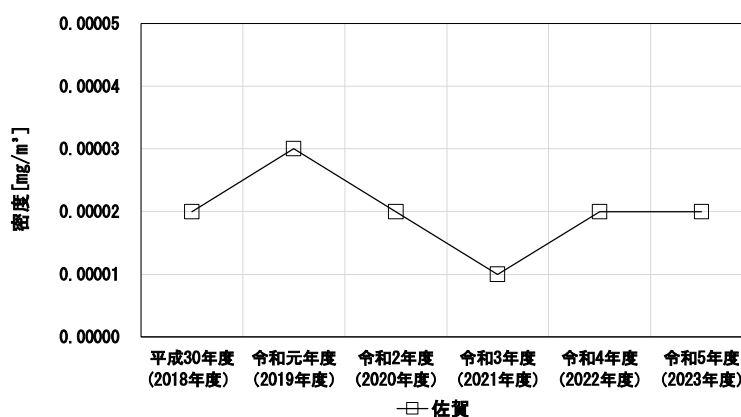
No.	測定局	年平均値[mg/m ³]					
		平成 30 年度 (2018 年度)	令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
1	佐賀	0.00130	0.00120	0.00087	0.00100	0.00090	0.00083

出典：「平成 30 年度～令和 5 年度有害大気汚染物質調査」(佐賀県ホームページ)
<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00352775/index.html>



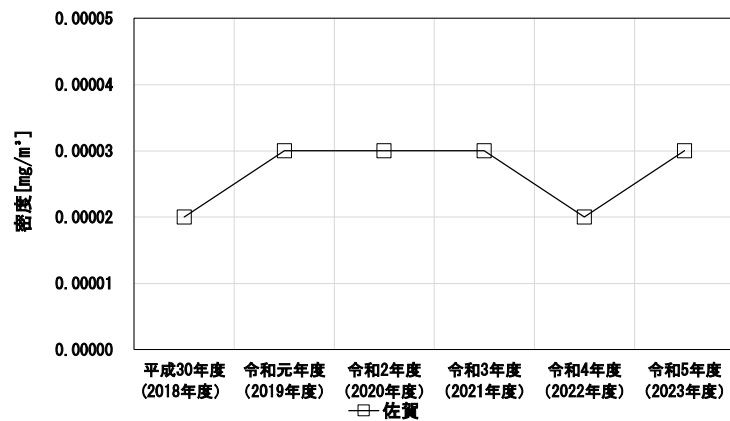
出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」（佐賀県ホームページ）
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-13 過去 6 年間に於ける有害大気汚染物質（ベンゼン）の経年変化



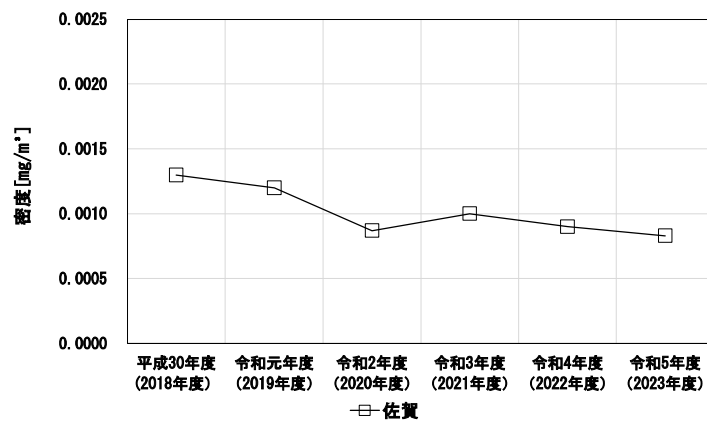
出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」（佐賀県ホームページ）
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-14 過去 6 年間に於ける有害大気汚染物質（トリクロロエチレン）の経年変化



出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-15 過去 6 年間に於ける有害大気汚染物質(テトラクロロエチレン)の経年変化



出典：「平成 30 年度～令和 5 年度大気環境調査結果」(佐賀県ホームページ)
<https://www.pref.saga.lg.jp/list02739.html>

図 3.1-16 過去 6 年間に於ける有害大気汚染物質(ジクロロメタン)の経年変化

2) 佐賀空港事務所による調査

佐賀空港事務所では空港の周囲 1 箇所において大気質の測定を不定期に行っており、その測定地点は図 3.1-22 に示すとおりである。

二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素及び光化学オキシダントの測定結果は表 3.1-23、過去 5 年間ににおける経年変化(年平均値)は、表 3.1-24 及び図 3.1-17 から図 3.1-21 に示すとおりである。なお、参考値となるがいずれの項目においても環境基準を下回っている。

表 3.1-23 佐賀空港事務所による大気質調査結果(令和 5 年度(2023 年度))

地点名	調査項目	単位	期間平均値	最大値	最小値
空港公園北 (4-1)	二酸化硫黄	ppm	0.001	0.003	0
	一酸化炭素		0.2	0.3	0.1
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.015	0.026	0.002
	二酸化窒素	ppm	0.005	0.009	0.001
	光化学オキシダント		0.026	0.035	0

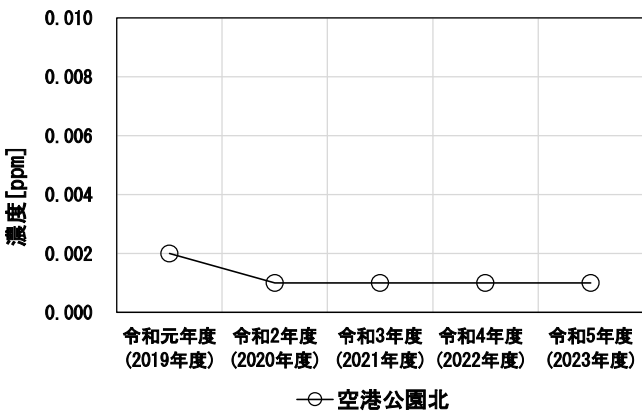
注 1. 令和 5 年度(2023 年度)の調査は令和 5 年(2023 年)10 月 31 日～11 月 13 日、令和 6 年(2024 年)2 月 16 日～2 月 21 日、令和 6 年(2024 年)2 月 23 日～3 月 1 日の間で実施されている。

出典：「佐賀空港事務所提供資料」

表 3.1-24 過去 5 年間ににおける大気質の経年変化

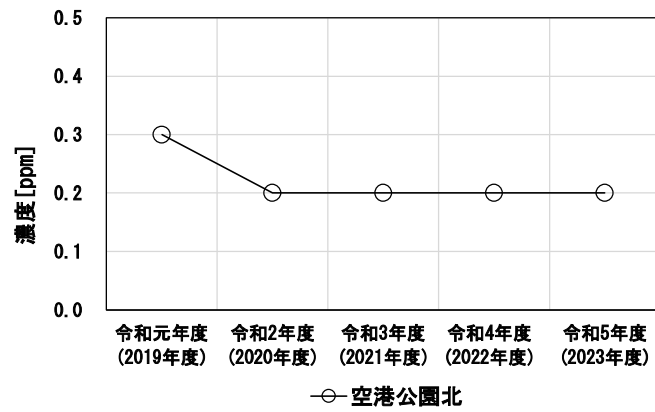
地点名	調査項目	単位	期間平均値				
			令和元年度 (2019 年度)	令和 2 年度 (2020 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 5 年度 (2023 年度)
空港公園北 (4-1)	二酸化硫黄	ppm	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001
	一酸化炭素		0.3	0.2	0.2	0.2	0.2
	浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.013	0.018	0.019	0.017	0.015
	二酸化窒素	ppm	0.005	0.005	0.007	0.007	0.005
	光化学 オキシダント		0.033	0.023	0.029	0.031	0.026

出典：「佐賀空港事務所提供資料」



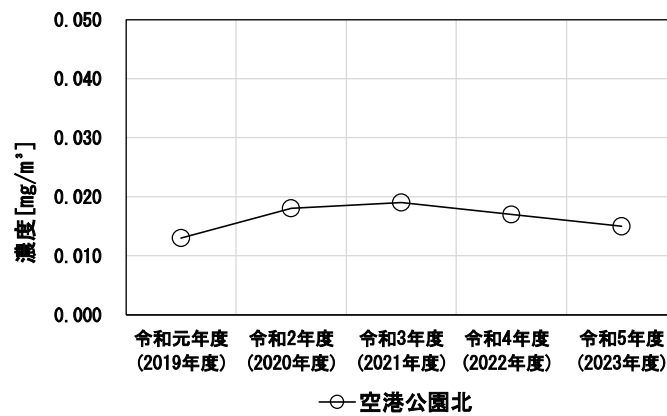
出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-17 過去 5 年間ににおける二酸化硫黄の経年変化(年平均値)



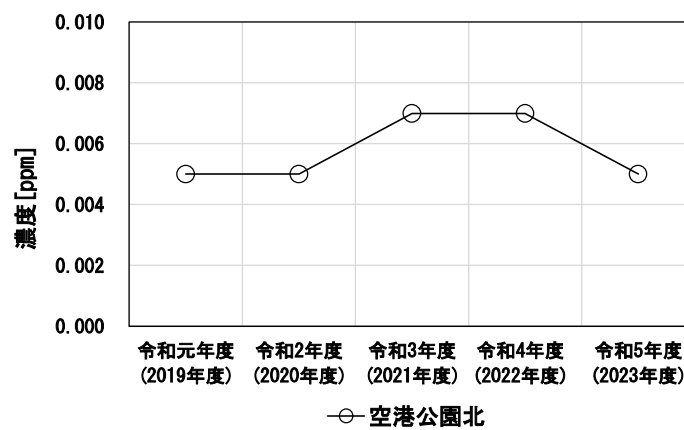
出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-18 過去 5 年間ににおける一酸化炭素の経年変化(年平均値)



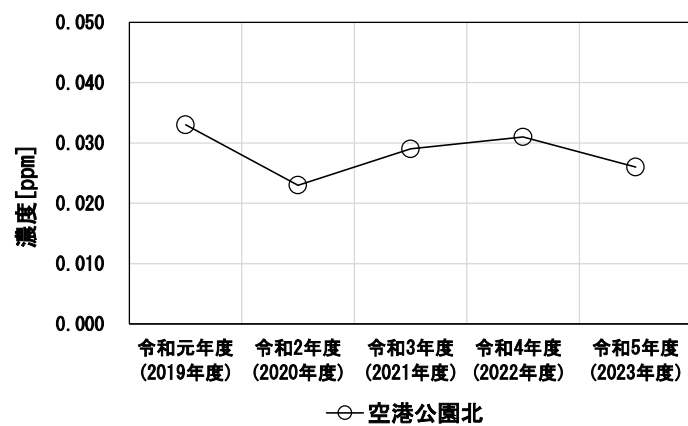
出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-19 過去 5 年間ににおける浮遊粒子状物質の経年変化(年平均値)



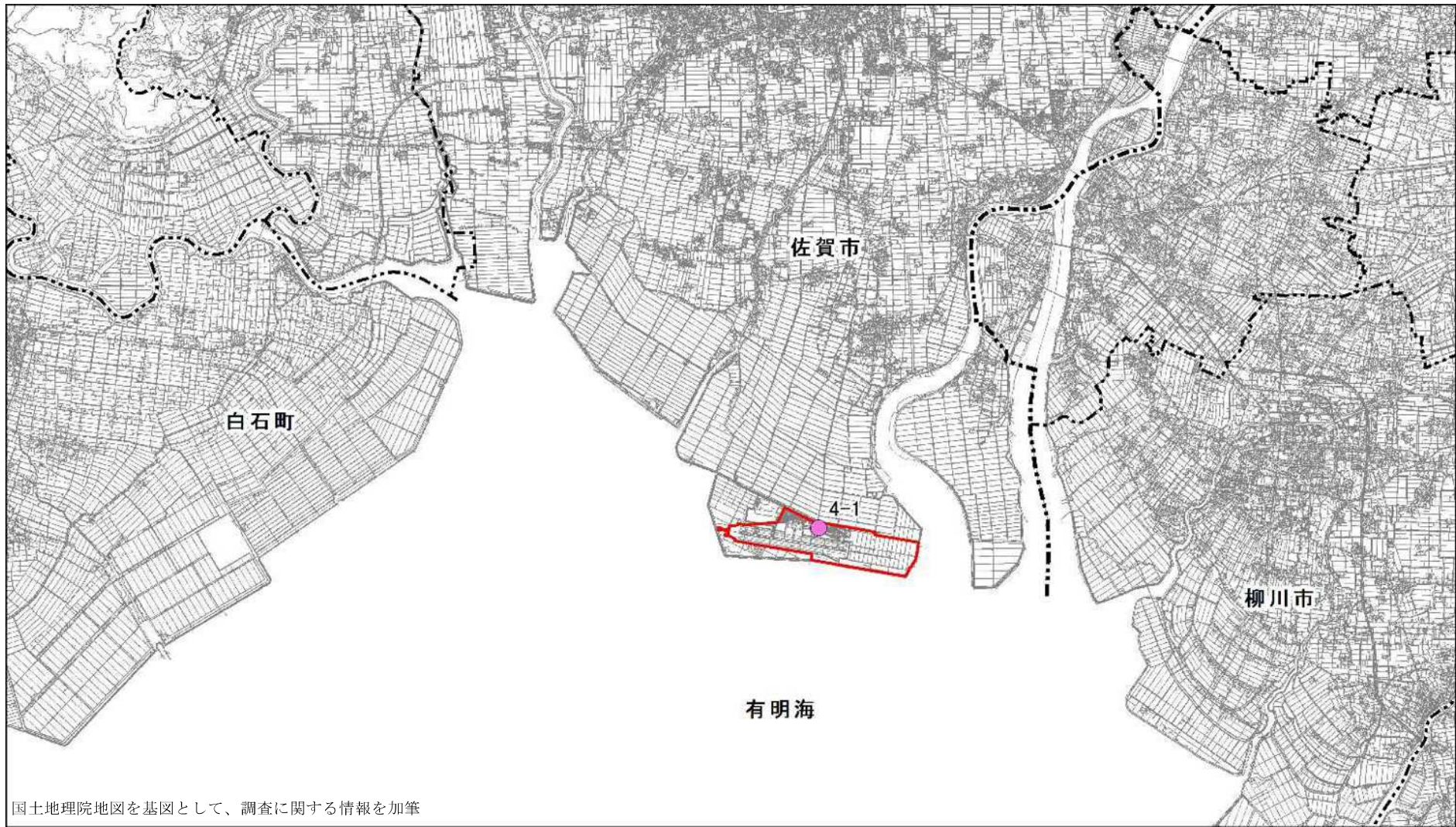
出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-20 過去 5 年間ににおける二酸化窒素の経年変化(年平均値)



出典：「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-21 過去5年間に於ける光化学オキシダントの経年変化(年平均値)



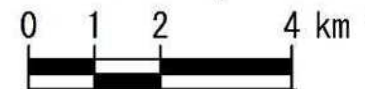
国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

- 対象事業実施区域
- 大気質測定地点

図 3.1-22 大気質測定地点図

1:110,000



出典

「佐賀空港事務所提供資料」

(3) 騒音及び低周波音

1) 航空機騒音

7. 佐賀空港周辺地域における航空機騒音の測定結果

佐賀県では、佐賀空港周辺地域において航空機騒音の測定を行っており、過去7年間の測定結果(平成30年度(2018年度)から令和6年度(2024年度))は表3.1-25、観測地点は図3.1-23に示すとおりである。

測定は、空港周囲(3地点)と福岡県柳川市(2地点)では毎年、佐賀県佐賀市と杵島郡白石町では4地点から毎年2地点を抽出して実施しており、平成30年度(2018年度)から令和6年度(2024年度)までの評価値 L_{den} は25～60dBである。

表 3.1-25 航空機騒音測定結果

No.	地点	評価値 L_{den} [dB]							地域の 類型
		平成 30年度 (2018年度)	令和 元年度 (2019年度)	令和 2年度 (2020年度)	令和 3年度 (2021年度)	令和 4年度 (2022年度)	令和 5年度 (2023年度)	令和 6年度 (2024年度)	
1	国造堀西堤防 (5-1)	60	59	50	52	56	60	57	無し
2	大詫間南 (5-2)	53	53	42	45	49	50	51	
3	川副西干拓 (5-3)	40	34	29	39	35	37	43	
4	佐賀市川副町 小々森	—	36	—	32	—	35	集計中	
5	佐賀市川副町 犬井道	35	—	29	—	30	—	集計中	
6	佐賀市川副町 大詫間	—	36 ^{注1)}	—	32	—	32	集計中	
7	杵島郡白石町 八平	43 ^{注1)}	—	29	—	25	—	集計中	
8	柳川市大浜町	42	39	31	32	37	37	37	
9	柳川市吉富町	35	35	29	30	30	33	30	

注1. 連続7日間の測定のうち欠測期間があったため、参考値を示す。

注2. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

注3. 環境基準は、いずれの調査地点とも「航空機騒音に係る環境基準」の地域の類型は指定されていないが、類型Ⅰの基準値(57dB以下)を参考値として用いた。

注4. 「—」は測定が行われていないことを示す。

注5. 「No.」は図3.1-23に対応している。

出典：「令和5年度佐賀空港周辺地域における航空機騒音の調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00313742/index.html>

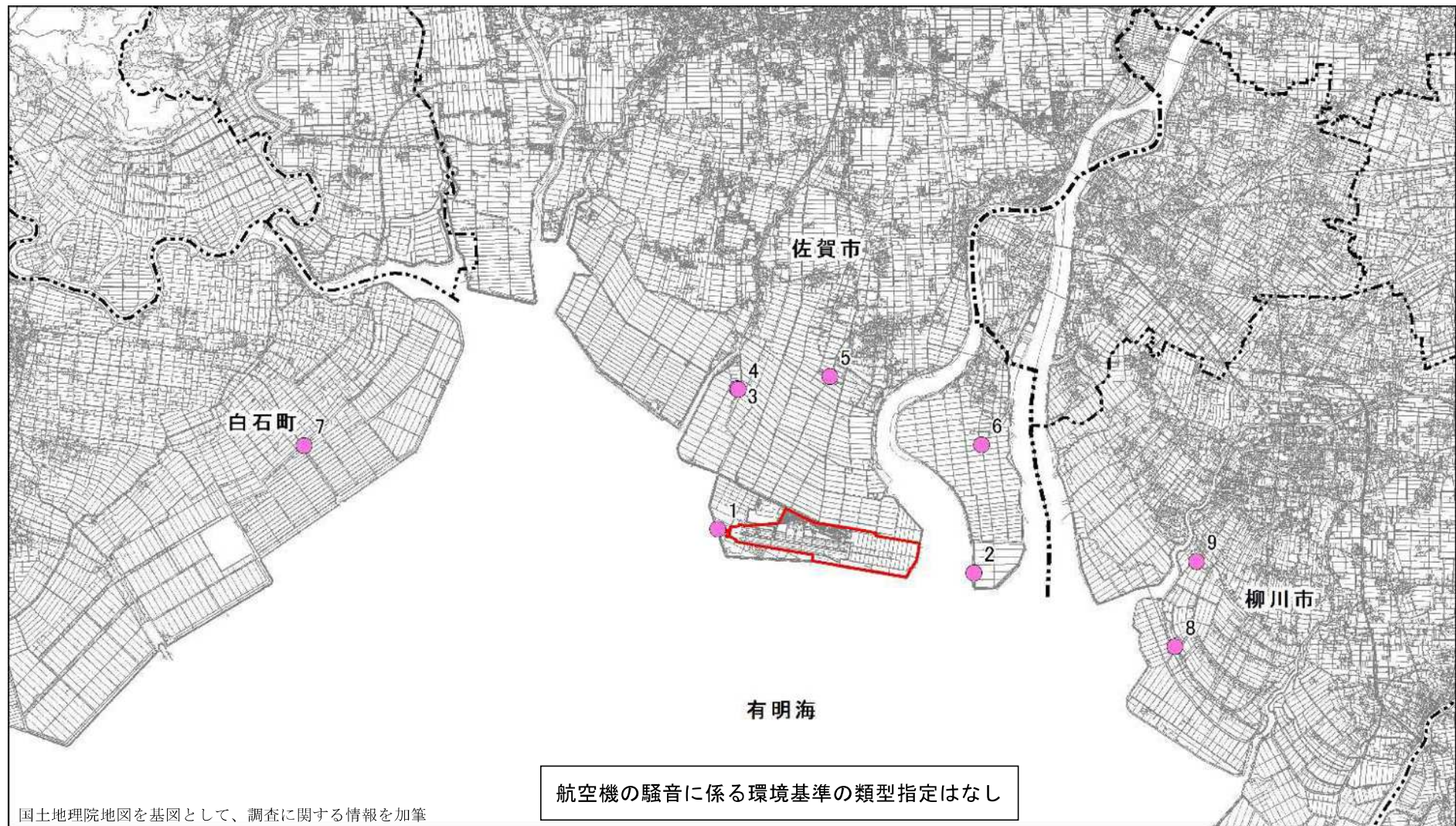
「令和5年度 佐賀空港環境保全対策委託(騒音測定調査)」(令和6年3月、佐賀県)

「令和6年度 佐賀空港環境保全対策委託(騒音測定調査)」(令和7年3月、佐賀県)

「佐賀空港事務所提供資料」

4. 低周波音

対象事業実施区域及びその周囲において、低周波音の測定は実施していない。



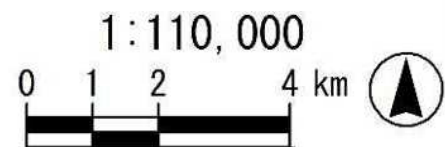
凡例

- 対象事業実施区域
- 航空機騒音観測地点

出典

「令和5年度佐賀空港周辺地域における航空機騒音に関する調査結果」(佐賀県ホームページ)
 「令和5年度 佐賀空港環境保全対策委託(騒音測定調査)」(令和6年3月 佐賀県)
 「令和6年度 佐賀空港環境保全対策委託(騒音測定調査)」(令和7年3月 佐賀県)
 「佐賀空港事務所提供資料」

図 3.1-23 航空機騒音観測地点図



【参考資料】 飛行経路の変更に伴う航空機騒音の推移について

(1) 飛行経路について

令和元年度(2019年度)末から、有明海上空を飛行する飛行経路の変更により、柳川市上空を通過する ILS を使用する航空機の数が増加している。

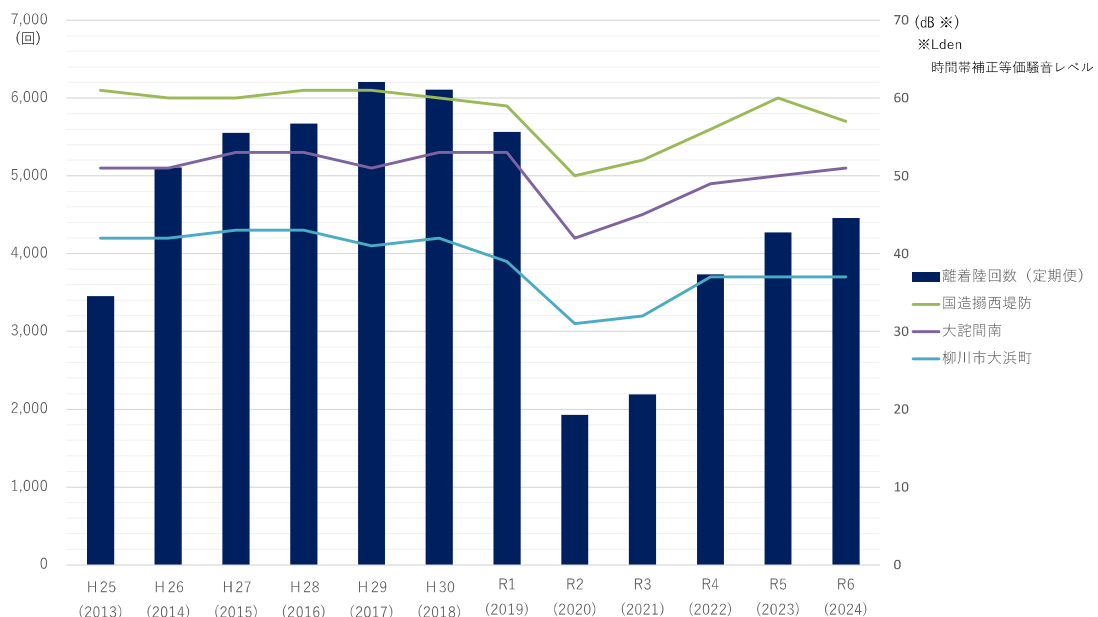
(2) 離着陸回数(定期便のみ)

平成 25 年度(2013 年度)以降は概ね増加傾向で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、令和 2 年度(2020 年度)はピーク時の約 1/3 まで落ち込んだ。令和 4 年度(2022 年度)以降は回復基調にある。

(3) 騒音値の推移

令和 4 年度(2022 年度)から令和 6 年度(2024 年度)の離着陸回数は、平成 25 年度(2013 年度)より多いが、柳川市大浜町の騒音値(評価値 Lden)は低下している。令和元年度末(2019 年度)の飛行経路の変更による騒音低減の効果が発現している。

(※国造堀西堤防及び大詫間南は、滑走路延長上のため大きな変化はない。)



(参考) 図-1 離着陸回数と騒音値の推移 (年度毎)



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

(参考) 図-2 騒音値の測定箇所

2) 自動車騒音

対象事業実施区域及びその周囲における自動車騒音調査結果の概要は表 3.1-26(1)及び(2)に、観測地点の位置(起点のみ)を図 3.1-24 に示す。

対象事業実施区域及びその周囲での測定地点は計 33 地点あり、昼間・夜間ともに基準値以下の路線は 29 地点ある。

表 3.1-26(1) 自動車騒音調査結果の概要(面的評価)

No.	路線名	評価区間		測定 年度	評価 区間 延長 [km]	評価 対象 戸数 [戸]	昼夜間 基準以下	
		起点	終点				[戸]	[%]
1	一般国道 444 号	杵島郡白石町 大字福富	杵島郡白石町 大字福富下分	2023	0.4	32	32	100.0
2	一般国道 444 号	杵島郡白石町 大字福富下分	杵島郡白石町 大字福富下分	2023	1.7	116	116	100.0
3	一般国道 207 号	杵島郡白石町 大字東郷	杵島郡白石町 大字福田	2023	1.0	51	51	100.0
4	一般国道 207 号	杵島郡白石町 大字福田	杵島郡白石町 大字廿治	2023	0.4	38	38	100.0
5	一般国道 207 号	杵島郡白石町 大字廿治	杵島郡白石町 大字横手	2023	1.3	57	56	98.2
6	一般国道 207 号	杵島郡白石町 大字横手	杵島郡白石町 大字戸ヶ里	2023	1.6	11	11	100.0
7	一般国道 207 号	佐賀市嘉瀬町 大字中原	佐賀市嘉瀬町 大字荻野	2023	0.5	69	69	100.0
8	一般国道 207 号	佐賀市久保田町 大字徳万	佐賀市久保田町 大字徳万	2023	0.2	20	20	100.0
9	一般国道 208 号	佐賀市諸富町 大字徳富	佐賀市諸富町 大字諸富津	2023	1.1	57	57	100.0
10	一般国道 208 号	佐賀市諸富町 大字諸富津	佐賀市諸富町 大字諸富津	2023	0.5	48	48	100.0
11	一般国道 208 号	佐賀市南佐賀 1 丁目 12	佐賀市西与賀町 大字厘外	2023	3.2	797	796	99.9

注 1. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

注 2. 環境基準は、昼間(6～22 時)70dB 以下、夜間(22 時～翌 6 時)65dB 以下である。

注 3. 「No.」は図 3.1-24 に対応している。

出典：「令和 6 年版佐賀県環境白書」(令和 7 年 7 月、佐賀県)

「公害関係測定結果(令和 5 年度版)」(令和 6 年 1 月、福岡県)

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(令和 7 年 3 月、福岡県)

表 3.1-26(2) 自動車騒音調査結果の概要(面的評価)

No.	路線名	評価区間		測定 年度	評価 区間延長	評価 対象戸数	昼夜間 基準以下	
		起点	終点		[km]	[戸]	[戸]	[%]
12 (12-1)	一般国道 208 号	柳川市大和町中島	柳川市大和町中島	2020	0.7	129	129	100.0
12 (12-2)	一般国道 208 号	柳川市大和町中島	柳川市大和町中島	2020	0.2	6	6	100.0
12 (12-3)	一般国道 208 号	柳川市大和町中島	柳川市大和町豊原	2020	1.8	103	78	75.7
13	一般国道 208 号	柳川市大和町豊原	柳川市大和町徳益	2019	1.6	108	108	100.0
14	一般国道 208 号	柳川市大和町徳益	柳川市三橋町下百町	2019	1.5	115	115	100.0
15	一般国道 443 号	柳川市三橋町 下百町	柳川市三橋町蒲船津	2021	0.6	96	96	100.0
16 (16-1)	一般国道 443 号	柳川市三橋町 蒲船津	柳川市三橋町蒲船津	2021	0.5	59	59	100.0
16 (16-2)	一般国道 443 号	柳川市三橋町 蒲船津	柳川市三橋町蒲船津	2021	0.2	20	20	100.0
16 (16-3)	一般国道 443 号	柳川市三橋町 蒲船津	柳川市三橋町白鳥	2021	0.8	62	62	100.0
17 (17-1)	久留米柳川線	柳川市蒲生	柳川市金納	2017	0.8	100	100	100.0
17 (17-2)	久留米柳川線	柳川市蒲生	柳川市金納	2022	0.9	147	147	100.0
18 (18-1)	久留米柳川線	柳川市金納	柳川市矢加部	2017	1.3	85	85	100.0
18 (18-2)	久留米柳川線	柳川市金納	柳川市矢加部	2022	0.6	31	31	100.0
19 (19-1)	久留米柳川線	柳川市矢加部	柳川市矢加部	2022	0.7	48	48	100.0
19 (19-2)	久留米柳川線	柳川市矢加部	柳川市辻町	2022	1.5	241	241	100.0
20	久留米柳川線	柳川市矢加部	柳川市三橋町柳河	2017	0.4	28	28	100.0
21 (21-1)	久留米柳川線	柳川市三橋町柳河	柳川市三橋町柳河	2017	0.3	27	27	100.0
21 (21-2)	久留米柳川線	柳川市三橋町柳河	柳川市三橋町柳河	2017	0.1	5	5	100.0
21 (21-3)	久留米柳川線	柳川市三橋町柳河	柳川市保加町	2017	0.1	11	11	100.0
22	久留米柳川線	柳川市保加町	柳川市辻町	2017	0.6	127	126	99.2
23	橋本辻町線	柳川市上宮永町	柳川市本城町	2023	0.4	61	61	100.0
24	橋本辻町線	柳川市本城町	柳川市片原町	2023	0.9	42	42	100.0

注 1. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

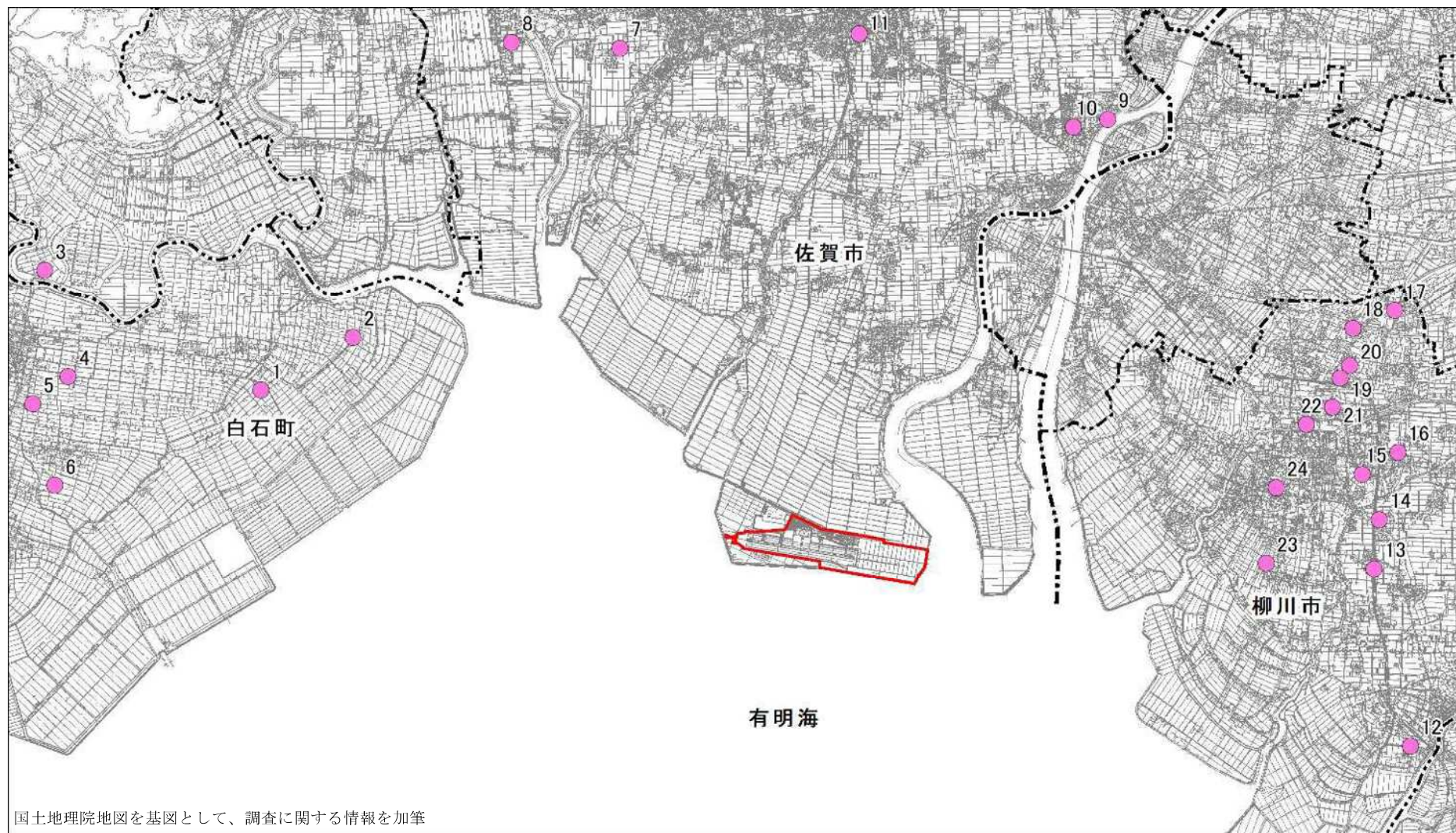
注 2. 環境基準は、昼間(6～22 時)70dB 以下、夜間(22 時～翌 6 時)65dB 以下である。

注 3. 「No.」は図 3.1-24 に対応している。

出典：「令和 6 年版佐賀県環境白書」(令和 7 年 7 月、佐賀県)

「公害関係測定結果(令和 5 年度版)」(令和 6 年 1 月、福岡県)

「公害関係測定結果(令和 6 年度版)」(令和 7 年 3 月、福岡県)



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

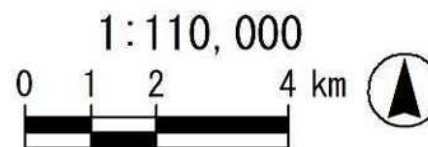
凡例

- 対象事業実施区域
- 自動車騒音調査地点

出典

「令和6年版 佐賀県環境白書」(令和7年7月 佐賀県)
 「公害関係測定結果(令和5年度版)」(令和6年1月 福岡県)
 「公害関係測定結果(令和6年度版)」(令和7年3月 福岡県)

図 3.1-24 自動車騒音観測地点図



(4) 振動

佐賀市における令和 5 年度(2023 年度)の道路交通振動測定結果は表 3.1-27、測定地点の位置は図 3.1-25 に示すとおりである。また、佐賀市が実施した道路交通振動測定結果において、要請限度(第 1 種：昼間 65dB、夜間 60dB、第 2 種：昼間 70dB、夜間 65dB)を超過した地点はない。

表 3.1-27 佐賀市における令和 5 年度(2023 年度)道路交通振動測定結果

No.	測定地点	区域区分	道路名	測定期間	振動レベル[dB]	
					8～19 時	19～翌 8 時
1	城南中学校	第 2 種	国道 208 号	令和 5 年 12 月 21～22 日	38	34
					(70)	(65)
2	厘外西公民館	第 1 種	県道西与賀佐賀線	令和 5 年 12 月 21～22 日	45	41
					(65)	(60)
3	J A さが諸富 野菜集荷場	第 1 種	佐賀外環状線	令和 5 年 12 月 21～22 日	39	34
					(65)	(60)

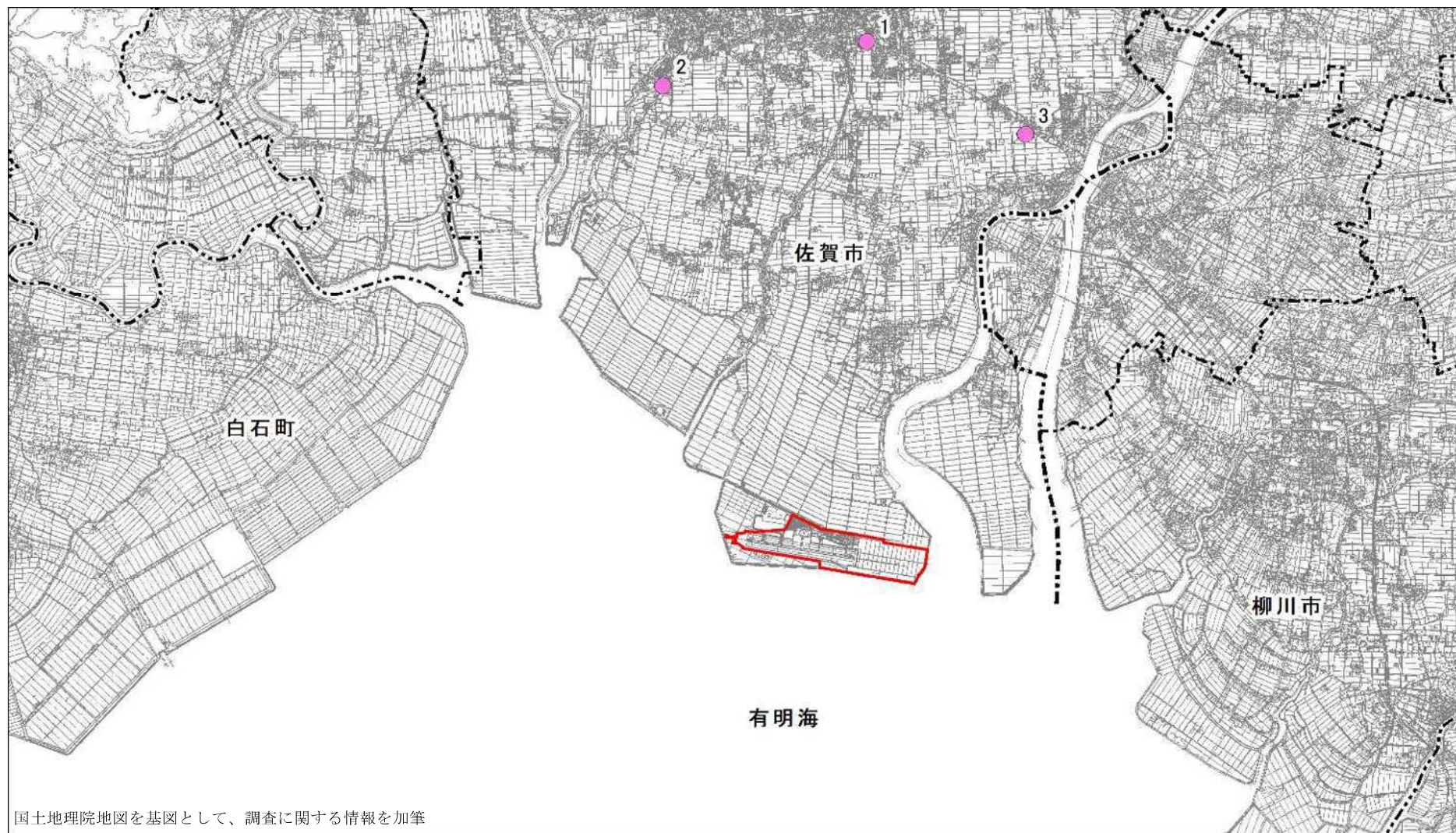
注 1. ()内の数値は要請限度を示す。

注 2. 要請限度は、第 1 種で昼間(8～19 時)65dB 以下、夜間(19～翌 8 時)60dB 以下、第 2 種で昼間(8～19 時)70dB 以下、夜間(19～翌 8 時)65dB 以下である。

注 3. 「No.」は図 3.1-25 に対応している。

出典：「佐賀市内の騒音・振動の状況(令和 5 年度調査)」(佐賀市エコプラザホームページ)

<https://www.saga-ecoplaza.jp/sokuteikekka>



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

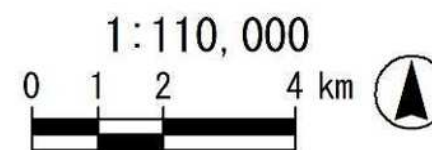
凡例

- 対象事業実施区域
- 道路交通振動測定地点

出典

「佐賀市内の騒音・振動の状況佐賀市内の騒音・振動の状況」（令和5年度調査）
 (佐賀市エコプラザホームページ <https://www.saga-ecoplaza.jp/sokuteikekka>)

図 3.1-25 道路交通振動測定地点図



(5) 悪臭

佐賀県及び佐賀市では「悪臭防止法に基づく規制地域及び規制基準」により、工場その他の事業場における事業活動に伴って発生する悪臭原因物の排出を規制する地域を指定し、当該規制地域内における特定悪臭物質の排出に係る規制基準を定めている。対象事業実施区域及びその周囲における規制地域は、佐賀県佐賀市及び杵島郡白石町、福岡県柳川市の全域において指定されており、事業所に対する規制を行っている。

なお、令和6年版佐賀県環境白書によると、令和5年度(2023年度)の悪臭の苦情件数は佐賀県佐賀市で11件、杵島郡白石町で1件となっている。

3.1.2. 水環境の状況

(1) 水象

対象事業実施区域及びその周囲を流れる主な河川は表 3.1-28 及び図 3.1-26 に示しておりである。一級河川としては筑後川水系、六角川水系、嘉瀬川水系、矢部川水系の河川があるほか、二級河川としては福所江水系、只江川水系の河川があり、いずれも有明海に流出している。

表 3.1-28 対象事業実施区域及びその周囲における主要な河川の概要

No.	河川名	水系名	水系総延長[km]	河川区分
1	筑後川	筑後川	143	一級河川
2	花宗川			
3	黒津江川			
4	佐賀江川			
5	新橋川			
6	新川			
7	早津江川			
8	大五川			
9	別段川			
10	六角川	六角川	47	
11	牛津川			
12	古川			
13	戸崎川			
14	三条川			
15	惣領分川			
16	直江川			
17	白石川			
18	緑郷川			
19	嘉瀬川	嘉瀬川	57	
20	古江湖川			
21	多布施川			
22	得仏川			
23	八田江			
24	戊辰川			
25	本庄江			
26	本庄川			
27	矢部川	矢部川	61	
28	塩塚川			
29	沖端川			
30	楠田川			
31	二ツ川			
32	二ツ川放水路			
33	飯江川			
34	福所江	福所江	7	二級河川
35	芦新川			
36	只江川	只江川	6	

注1. 「No.」は図 3.1-26 に対応している。

出典：「国土数値情報 河川データ」（平成 19 年、国土交通省）

<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/jpgis/datalist/KsjTmplt-W05.html>

「筑後川水系河川整備計画(変更)」（令和 4 年 9 月、国土交通省九州地方整備局）

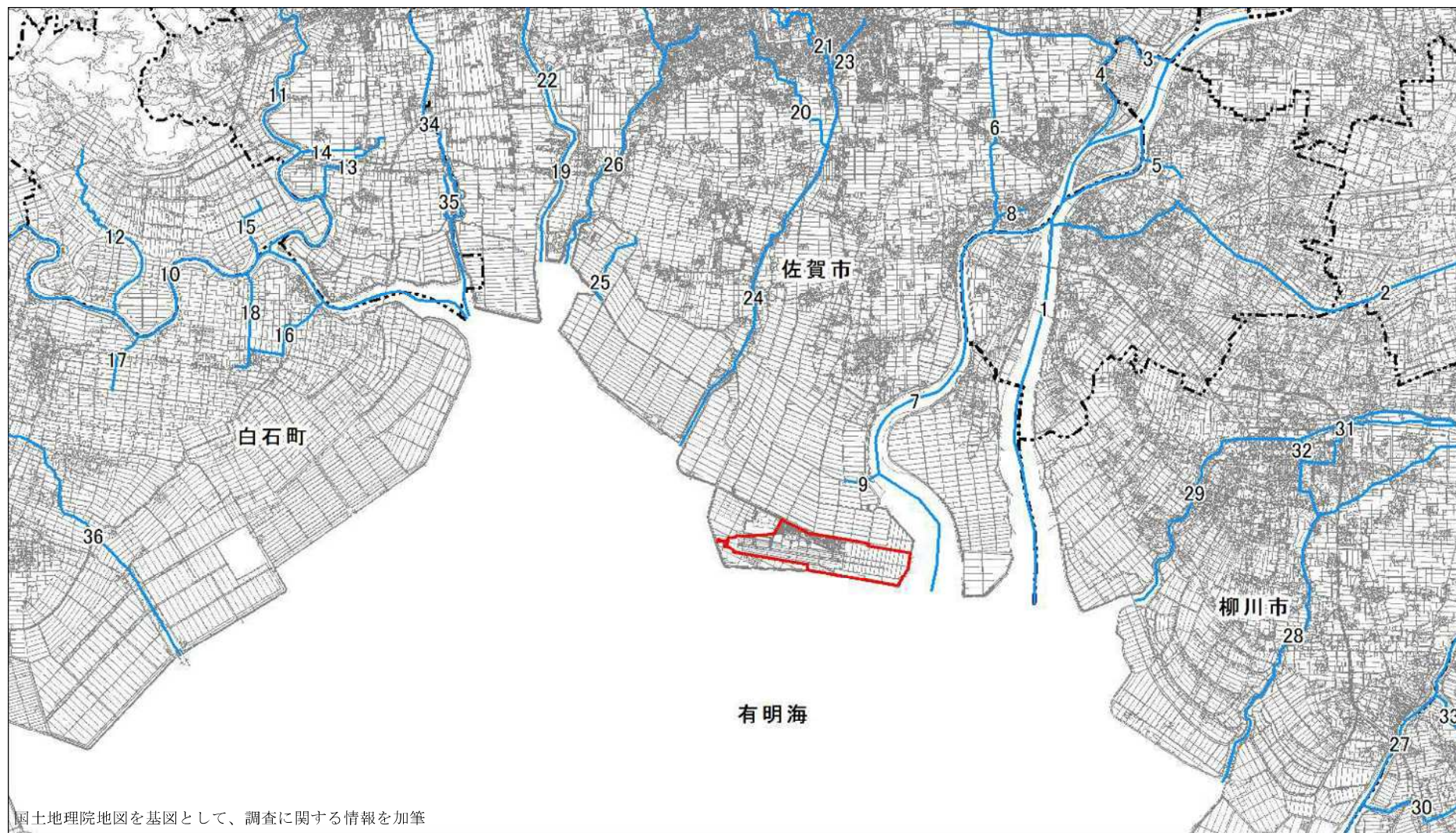
「六角川水系河川整備計画(変更)」（令和 2 年 7 月、国土交通省九州地方整備局）

「嘉瀬川水系河川整備計画」（平成 19 年 10 月、国土交通省九州地方整備局）

「矢部川水系河川整備計画(変更)」（平成 28 年 11 月、国土交通省九州地方整備局）

「福所江水系河川整備基本方針」（令和 2 年 3 月、佐賀県）

「只江川水系河川整備基本方針」（平成 3 年 4 月、佐賀県）



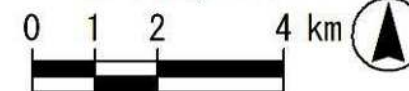
国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

- 対象事業実施区域
- 河川

図 3.1-26 河川位置図

1:115,000



出典

「国土数値情報 河川データ」(平成 19 年 国土交通省ホームページ)

(2) 水質

1) 佐賀県及び福岡県による調査

佐賀県及び福岡県では水質汚濁防止法に基づき、公共用水域の水質汚濁の状況を把握するために「公共用水域の水質の測定計画」を作成し、常時監視を実施している。なお、対象事業実施区域及びその周囲には環境基準測定点を有する湖沼はない。

7. 河川

対象事業実施区域及びその周囲の河川における環境基準測定点は表 3.1-29、生活環境項目測定結果は表 3.1-30(1)から(3)、健康項目測定結果は表 3.1-31、環境基準測定点の位置は図 3.1-27 に示すとおりである。

生活環境項目について、pH は酒見橋、晴天大橋、磯鳥堰を除く地点において環境基準を満足している。溶存酸素量(DO)は、三丁井樋、磯鳥堰を除く地点において環境基準を満足している。生物化学的酸素要求量(BOD)75%値は酒見橋、晴天大橋、磯鳥橋を除く地点において環境基準を満足している。また、浮遊物質質量(SS)は六角橋、久保田橋、本庄江橋、中島橋、三明橋、晴天大橋、浦島橋、磯鳥堰を除く地点において環境基準を満足している。大腸菌群数は新郷橋で環境基準を超過している。健康項目についてはすべての項目に関して環境基準を満足している。

表 3.1-29 環境基準測定点一覧 河川

No.	都道府県	水系名	水域名	地点名	類型	健康項目の測定の有無
1	佐賀県	六角川	六角川中流	六角橋	D	有
2			六角川下流	住ノ江橋	E	有
3			福所江	三丁井樋	E	有
4		嘉瀬川	嘉瀬川下流	久保田橋	D	無
5			多布施川下流	新郷橋	B	無
6			本庄江	本庄江橋	C	無
7			八田江	中島橋	C	無
8	福岡県	筑後川	花宗川	酒見橋	C	有
9		矢部川	沖端川下流	三明橋	C	無
10			塩塚川	晴天大橋	B	有
11			矢部川下流	浦島橋	B	無
12			沖端川上流	磯鳥堰	A	有

注1. 「No.」は図 3.1-27 に対応している。

出典：「公共用水域及び地下水の水質測定結果平成 28 年佐賀県告示第 112 号(公共用水域が該当する水質汚濁に係る環境基準の水域類型の指定)」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-30(1) 生活環境項目測定結果 河川

No.	地点名	pH				DO				
		最小	最大	m/n	環境基準値	[mg/L]				
						最小	最大	平均	m/n	環境基準値
1	六角橋 (D)	7.3	7.8	0/12	6.0mg/L 以上 8.5mg/L 以下	3.8	8.6	6.2	0/12	2mg/L 以上
2	住ノ江橋 (E)	7.5	8.1	0/12		5.6	10.0	7.7	0/12	
3	三丁井樋 (E)	6.9	7.4	0/12		1.9	9.6	7.1	1/12	
4	久保田橋 (D)	7.2	7.6	0/12		5.3	10.0	7.9	0/12	
5	新郷橋 (B)	6.8	8.0	0/12	6.5mg/L 以上 8.5mg/L 以下	5.0	12.0	8.9	0/12	5mg/L 以上
6	本庄江橋 (C)	7.0	7.6	0/12		5.0	9.5	7.2	0/12	
7	中島橋 (C)	7.1	7.6	0/12		5.1	11.0	7.5	0/12	
8	酒見橋 (C)	8.2	9.5	10/12		6.9	17.0	13.0	0/11	
9	三明橋 (C)	7.5	8.0	0/4		5.2	10.0	7.5	0/4	
10	晴天大橋 (B)	7.5	8.7	1/11		6.2	12.0	9.1	0/11	
11	浦島橋 (B)	7.4	8.0	0/12		5.3	9.6	7.8	0/12	
12	磯島堰 (A)	7.4	8.7	1/11		7.0	10.0	9.2	1/11	7.5mg/L 以上

注1. m は環境基準の値を超過した検体数、n は総検体数を示す。

注2. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

注3. 「No.」は図 3.1-27 に対応している。

出典：「令和3年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和5年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-30(2) 生活環境項目測定結果 河川

No.	地点名	BOD						SS				
		[mg/L]						[mg/L]				
		最小	最大	平均	75%値	m/n	環境基準値	最小	最大	平均	m/n	環境基準値
1	六角橋(D)	0.5	2.0	1.2	1.4	0/12	8mg/L以下	15	250	91	3/12	100mg/L以下
2	住ノ江橋(E)	0.5	2.7	1.5	1.6	0/12	10mg/L以下	11	120	44	—/12	ごみ等の浮遊が認められないこと。
3	三丁井樋(E)	2.3	9.2	5.7	7.7	0/12		6	34	16	—/12	
4	久保田橋(D)	0.5	11	3.4	3.3	2/12	8mg/L以下	19	7400	860	6/12	100mg/L以下
5	新郷橋(B)	0.5	1.2	0.8	0.9	0/12	3mg/L以下	2	11	6	0/12	25mg/L以下
6	本庄江橋(C)	0.8	2.8	1.7	2.1	0/12	5mg/L以下	150	2300	770	12/12	50mg/L以下
7	中島橋(C)	0.6	3.0	1.4	1.6	0/12		50	770	210	11/12	
8	酒見橋(C)	3.9	13.0	6.6	8.1	7/11		9	40	20	0/11	
9	三明橋(C)	2.1	4.3	2.8	2.7	0/4		29	220	150	3/4	
10	晴天大橋(B)	2.6	5.5	4.1	5.1	9/11	3mg/L以下	43	170	74	11/11	25mg/L以下
11	浦島橋(B)	<0.5	1.7	1.0	1.2	1/12		10	43	19	1/12	
12	磯島堰(A)	1.4	4.4	2.7	3.4	7/11	2mg/L以下	2	40	12	2/11	

注 1. m は環境基準の値を超過した検体数、n は総検体数を示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

注 3. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

注 4. 「No.」は図 3.1-27 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-30(3) 生活環境項目測定結果 河川

No.	地点名	大腸菌群数			全窒素		全磷	
		[MPN/100mL]			[mg/L]		[mg/L]	
		平均	m/n	環境基準値	平均	m/n	平均	m/n
1	六角橋 (D)	—	—	—	2.3	—/4	0.32	—/4
2	住ノ江橋 (E)	—	—		1.5	—/4	0.24	—/4
3	三丁井樋 (E)	—	—		2.5	—/2	0.27	—/2
4	久保田橋 (D)	—	—		2.0	—/4	0.31	—/4
5	新郷橋 (B)	8500	5/12	5,000MPN/ 100mL 以下	0.50	—/2	0.085	—/2
6	本庄江橋 (C)	—	—	—	4.3	—/2	1.6	—/2
7	中島橋 (C)	—	—		1.7	—/2	0.30	—/2
8	酒見橋 (C)	16	—/1		—	—	—	—
9	三明橋 (C)	—	—		—	—	—	—
10	晴天大橋 (B)	86	0/2	5,000MPN/ 100mL 以下	—	—	—	—
11	浦島橋 (B)	43	0/4		—	—	—	—
12	磯島堰 (A)	15	0/2	1,000MPN/ 100mL 以下	—	—	—	—

注 1. m は環境基準の値を超過した検体数、n は総検体数を示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目又は環境基準が設けられていない地点を示す。

注 3. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

注 4. 「No.」は図 3.1-27 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

表 3.1-31 健康項目測定結果 河川

No.	地点名 (類型)	単位	鉛	砒素	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	ふっ素
			[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]
1	六角橋 (D)	平均値	—	—	1.4	—
		m/n	—	—	0/4	—
2	住ノ江橋 (E)	平均値	—	0.002	0.88	—
		m/n	—	0/1	0/4	—
3	三丁井樋 (E)	平均値	—	—	1.2	—
		m/n	—	—	0/1	—
4	久保田橋 (D)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
5	新郷橋 (B)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
6	本庄江橋 (C)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
7	中島橋 (C)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
8	酒見橋 (C)	平均値	<0.005	0.005	0.8	0.12
		m/n	0/1	0/1	0/1	0/1
9	三明橋 (C)	平均値	<0.005	<0.005	0.9	<0.08
		m/n	0/1	0/1	0/1	0/1
10	晴天大橋 (B)	平均値	<0.005	<0.005	0.7	0.08
		m/n	0/1	0/1	0/1	0/1
11	浦島橋 (B)	平均値	—	—	—	—
		m/n	—	—	—	—
12	磯島堰 (A)	平均値	<0.005	<0.005	0.9	<0.08
		m/n	0/1	0/1	0/1	0/1
環境基準値(mg/L)			0.01mg/L 以下	0.01mg/L 以下	10mg/L 以下	0.8mg/L 以下

注 1. m は環境基準の値を超過した検体数、n は総検体数を示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

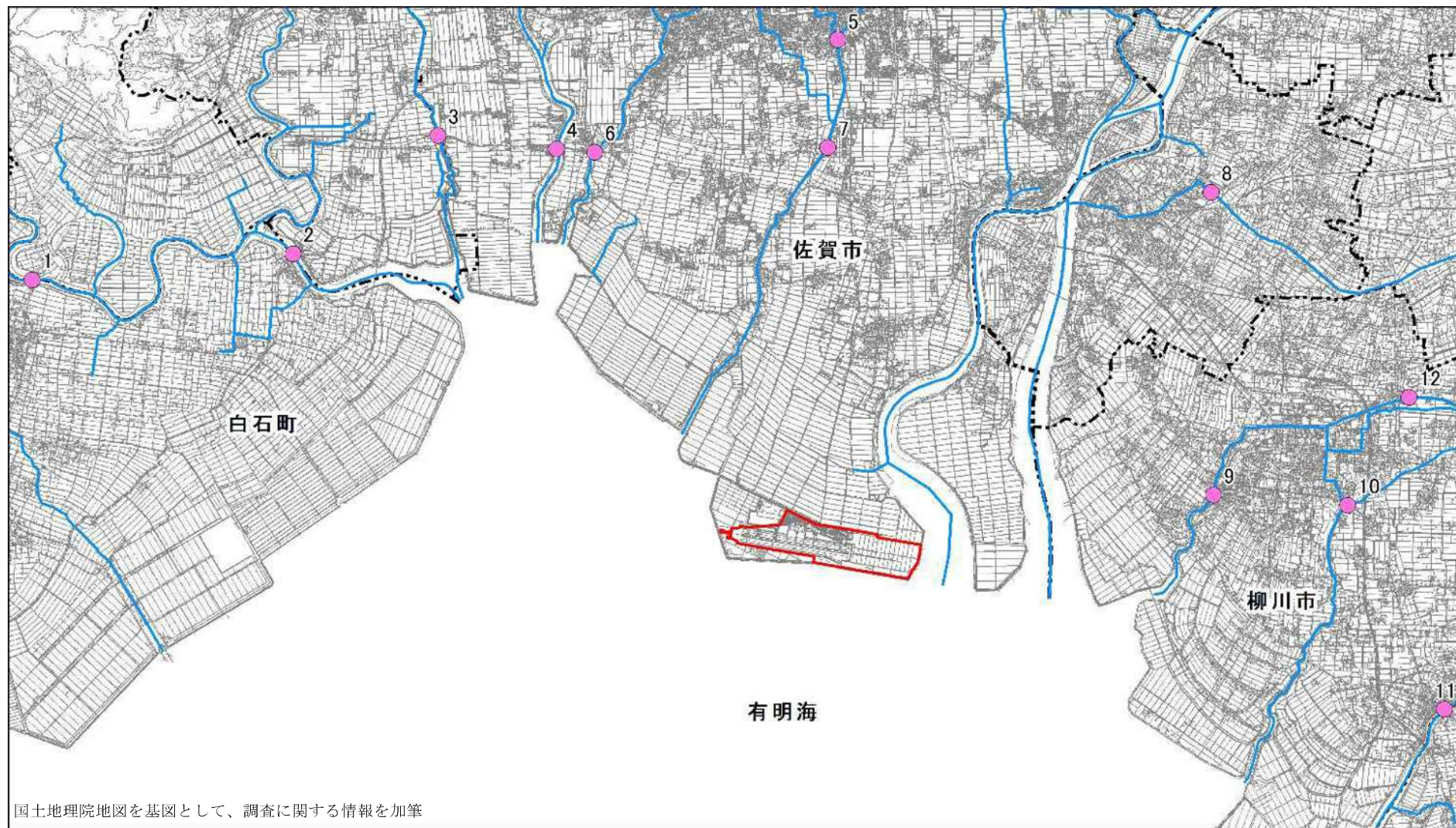
注 3. 「No.」は図 3.1-27 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00314004/index.html

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

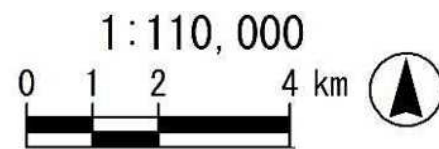
- 対象事業実施区域
- 環境基準測定地点
- 河川

図 3.1-27 水質測定地点図(河川)

出典

「水環境総合情報サイト 公共用水域」

(環境省ホームページ 令和7年6月20日 閲覧)



4. 海域

対象事業実施区域及びその周囲の海域における環境基準測定点は表 3.1-32、一般項目測定結果は表 3.1-33、生活環境項目測定結果は表 3.1-34(1)から(3)、健康項目測定結果は表 3.1-35、環境基準測定点は図 3.1-28 に示すとおりである。

一般項目については、水温は 8.0～31.7℃の間で確認され平均値が 18.7～20.1℃で確認される。塩化物イオンは、7,200～95,000mg/L の間で確認され、平均値が 13,833～20,692mg/L で確認される。塩分は、22.8～34.1‰で確認される。

生活環境項目については、pH が C、多比良港、小長井港、島原沖の地点において環境基準を満足している。溶存酸素量(DO)は C、B-2、B-3、St-6、多比良港、小長井港の地点において環境基準を満足している。化学的酸素要求量(COD)75%値は A-1、A-2、St-5、St-7、島原沖を除く地点において環境基準を満足している。SS は、1～85mg/L で確認され、平均値が 4～49mg/L で確認される。また、大腸菌群数はすべての地点において環境基準を満足している。全窒素は B-2、B-3、B-5、A-1、St-6、St-8、St-5、多比良港で環境基準を満足しており、全磷は St-5 で環境基準値を満足している。

健康項目については、すべての地点において環境基準を満足している。

表 3.1-32 環境基準測定点一覧 海域

No.	都道府県	水域名	地点名	類型	健康項目の 測定の有無
1	佐賀県	有明海(1)	C	C	有
2		有明海(4)	B - 2	B	有
3		有明海(4)	B - 3	B	有
4		有明海(4)	B - 4	B	有
5		有明海(4)	B - 5	B	有
6		有明海(15)	A - 1	A	有
7		有明海(15)	A - 2	A	有
8	福岡県	有明海(4)	St - 6	B	有
9		有明海(4)	St - 7	B	有
10		有明海(15)	St - 8	A	有
11	熊本県	有明海(15)	St - 5	A	有
12		有明海(15)	St - 7	A	有
13	長崎県	有明海(13)	多比良港	C	有
14		有明海(14)	小長井港	C	有
15		有明海(15)	島原沖	A	有

注 1. 「No.」は図 3.1-28 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

「令和 5 年度(2023 年度)水質調査報告書」（熊本県ホームページ）

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/224308.html>

「令和 5 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（長崎県ホームページ）

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kankyokanshi/mizu-kankyokanshi/595331.html>

表 3.1-33 一般項目測定結果 海域

No.	地点名	水温			塩化物イオン			塩分
		[℃]			[mg/L]			[‰]
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	
1	C	8.0	31.4	19.7	9,300	16,000	13,567	34.1
2	B - 2	8.0	29.8	18.9	6,000	18,000	15,167	25.0
3	B - 3	8.7	31.7	20.0	11,000	17,000	15,583	25.7
4	B - 4	8.3	30.7	19.6	9,300	17,000	15,442	25.4
5	B - 5	8.5	30.6	19.5	11,000	17,000	15,583	25.8
6	A - 1	8.3	30.7	19.2	12,000	18,000	15,750	26.0
7	A - 2	8.2	29.3	18.7	7,200	18,000	14,933	24.6
8	St - 6	—	—	—	—	—	—	—
9	St - 7	—	—	—	—	—	—	—
10	St - 8	—	—	—	—	—	—	—
11	St - 5	—	—	—	—	—	—	—
12	St - 7	—	—	—	—	—	—	—
13	多比良港	11.5	28.5	19.6	13,000	17,000	15,833	26.1
14	小長井港	9.5	29.0	19.2	10,000	16,000	13,833	22.8
15	島原沖	13.0	27.5	20.1	14,000	18,000	16,750	27.6

注 1. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

注 2. 「No.」は図 3.1-28 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

「令和 5 年度(2023 年度)水質調査報告書」（熊本県ホームページ）

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/224308.html>

「令和 5 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（長崎県ホームページ）

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kankyokanshi/mizu-kankyokanshi/595331.html>

表 3.1-34(1) 生活環境項目測定結果 海域

No.	地点名	pH				D0				
		最小	最大	m/n	環境基準値	[mg/L]				
						最小	最大	平均	m/n	環境基準値
1	C	7.7	8.3	0/12	7.0 以上 8.3 以下	4.7	10.0	7.6	0/12	2mg/L 以上
2	B - 2	7.8	8.8	3/12	7.8 以上 8.3 以下	6.0	11.0	8.8	0/12	5mg/L 以上
3	B - 3	7.9	8.5	1/12		6.3	10.0	8.3	0/12	
4	B - 4	7.8	8.4	1/12		4.4	10.0	7.6	1/12	
5	B - 5	7.8	8.4	1/12		4.2	9.8	7.4	1/12	
6	A - 1	8.0	8.7	6/24		1.3	10.0	7.9	10/36	7.5mg/L 以上
7	A - 2	7.8	8.8	3/24		2.4	10.0	7.6	13/36	
8	St - 6	8.3	9.3	22/24		5.0	9.6	7.6	0/24	5mg/L 以上
9	St - 7	8.2	9.2	13/24		4.9	9.4	7.4	1/24	
10	St - 8	8.3	9.3	21/24		4.0	9.0	7.4	10/24	7.5mg/L 以上
11	St - 5	8.1	9.2	3/12		5.3	10.0	8.5	4/15	
12	St - 7	8.0	8.6	2/12		5.7	10.0	8.0	5/12	
13	多比良港	7.8	8.2	0/12	7.0 以上 8.3 以下	6.3	9.1	7.9	0/12	2mg/L 以上
14	小長井港	7.8	8.2	0/6		6.3	9.8	8.1	0/6	
15	島原沖	7.9	8.2	0/12	7.8 以上 8.3 以下	6.2	9.0	7.7	4/12	7.5mg/L 以上

注 1. m は環境基準の値を超過した検体数、n は総検体数を示す。

注 2. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

注 3. 「No.」は図 3.1-28 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

「令和 5 年度(2023 年度)水質調査報告書」（熊本県ホームページ）

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/224308.html>

「令和 5 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（長崎県ホームページ）

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kankyokanshi/mizu-kankyokanshi/595331.html>

表 3.1-34 (2) 生活環境項目測定結果 海域

No.	地点名	COD						SS			
		[mg/L]						[mg/L]			
		最小	最大	平均	75%値	m/n	環境基準値	最小	最大	平均	m/n
1	C	3.1	7.9	5.1	5.3	0/12	8mg/L以下	18	85	49	—/12
2	B - 2	0.8	3.3	1.7	1.7	1/12	3mg/L以下	3	50	20	—/12
3	B - 3	0.7	7.3	1.7	1.3	1/12		3	38	19	—/12
4	B - 4	0.7	4.1	1.5	1.4	1/12		7	39	24	—/12
5	B - 5	0.6	5.1	1.3	1.1	1/12		7	55	20	—/12
6	A - 1	2.3	4.4	3.2	3.4	12/12	2mg/L以下	1	18	8	—/24
7	A - 2	2.7	7.3	3.9	4.1	12/12		3	60	25	—/24
8	St - 6	1.0	4.0	1.7	1.9	1/12	3mg/L以下	6	50	21	—/24
9	St - 7	1.1	3.8	1.9	2.1	1/12		12	60	32	—/24
10	St - 8	1.1	2.7	1.6	1.7	2/12	2mg/L以下	7	37	16	—/24
11	St - 5	1.9	4.4	2.5	2.6	7/12		1	18	4	—/12
12	St - 7	1.6	3.8	2.5	2.8	7/12		2	22	12	—/12
13	多比良港	2.0	3.3	2.6	2.9	0/6	8mg/L以下	—	—	—	—
14	小長井港	2.5	3.7	3.2	3.5	0/6		—	—	—	—
15	島原沖	1.7	2.6	2.2	2.4	4/6	2mg/L以下	—	—	—	—

注 1. m は環境基準の値を超過した検体数、n は総検体数を示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

注 3. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

注 4. 「No.」は図 3.1-28 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

「令和 5 年度(2023 年度)水質調査報告書」（熊本県ホームページ）

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/224308.html>

「令和 5 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（長崎県ホームページ）

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kankyokanshi/mizu-kankyokanshi/595331.html>

表 3.1-34 (3) 生活環境項目測定結果 海域

No.	地点名	大腸菌群数		全窒素				全燐				n-ヘキサン抽出物質(油分等)	
		[MPN/100mL]		[mg/L]				[mg/L]				[mg/L]	
		平均	m/n	最小	最大	平均	m/n	最小	最大	平均	m/n	平均	m/n
1	C	—	0/6	0.65	1.30	0.90	6/6	0.100	0.26	0.18	6/6	<0.5	0/6
2	B - 2	—	0/6	0.31	0.59	0.45	0/6	0.055	0.12	0.084	6/6	<0.5	0/6
3	B - 3	—	0/6	0.27	0.57	0.41	0/12	0.040	0.18	0.090	10/12	<0.5	0/6
4	B - 4	—	0/6	0.33	0.76	0.53	4/12	0.047	0.14	0.096	11/12	<0.5	0/6
5	B - 5	—	0/6	0.23	0.58	0.40	0/12	0.039	0.12	0.087	10/12	<0.5	0/6
6	A - 1	15	0/6	0.21	0.48	0.35	0/12	0.029	0.092	0.058	7/12	<0.5	0/6
7	A - 2	18	0/6	0.25	0.71	0.45	2/12	0.040	0.15	0.093	11/12	<0.5	0/6
8	St - 6	—	—	0.22	0.56	0.33	0/12	0.037	0.085	0.055	6/12	<0.5	0/1
9	St - 7	—	—	0.31	0.75	0.48	2/12	0.060	0.12	0.086	12/12	<0.5	0/1
10	St - 8	—	—	0.13	0.52	0.25	0/12	0.026	0.056	0.038	1/12	<0.5	0/1
11	St - 5	—	—	0.18	0.35	0.24	0/12	0.015	0.049	0.029	0/12	—	—
12	St - 7	4	0/4	0.26	0.72	0.37	1/12	0.017	0.071	0.040	2/12	—	—
13	多比良港	—	—	0.16	0.49	0.29	5/6	0.021	0.088	0.043	3/6	<0.5	0/6
14	小長井港	—	—	0.25	0.78	0.51	2/6	0.013	0.13	0.075	6/6	<0.5	0/6
15	島原沖	—	—	0.15	0.66	0.31	2/6	0.019	0.093	0.039	3/6	<0.5	0/6
環境基準値		1,000MPN/100mL 以下		0.6 mg/L 以下				0.05 mg/L 以下				検出されないこと	

注 1. m は環境基準の値を超過した検体数、n は総検体数を示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

注 3. 大腸菌群数は、A 類型の「A-1」、「A-2」、「St-8」、「St-5」、「St-7」「島原沖」のみ設けられている。

注 4. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

注 5. 「No.」は図 3.1-28 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 5 年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

「令和 5 年度(2023 年度)水質調査報告書」（熊本県ホームページ）

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/224308.html>

「令和 5 年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（長崎県ホームページ）

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kankyokanshi/mizu-kankyokanshi/595331.html>

表 3.1-35 健康項目測定結果 海域

No.	地点名	砒素	硫酸性窒素及び 亜硝酸性窒素
		[mg/L]	[mg/L]
1	C	—	0.27
2	B - 2	0.001	0.03
3	B - 3	—	0.06
4	B - 4	—	0.11
5	B - 5	0.001	0.09
6	A - 1	—	0.03
7	A - 2	—	0.08
8	St - 6	<0.005	<0.40
9	St - 7	<0.005	<0.40
10	St - 8	<0.005	<0.40
11	St - 5	—	0.030
12	St - 7	<0.005	0.067
13	多比良港	—	0.22
14	小長井港	0.002	0.08
15	島原沖	—	0.06
環境基準値 (mg/L)		0.01mg/L 以下	10mg/L 以下

注1. 表中の「—」は測定を行っていない項目を示す。

注2. 「No.」は図 3.1-28 に対応している。

出典：「令和3年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和5年度公共用水域水質測定結果」（福岡県ホームページ）

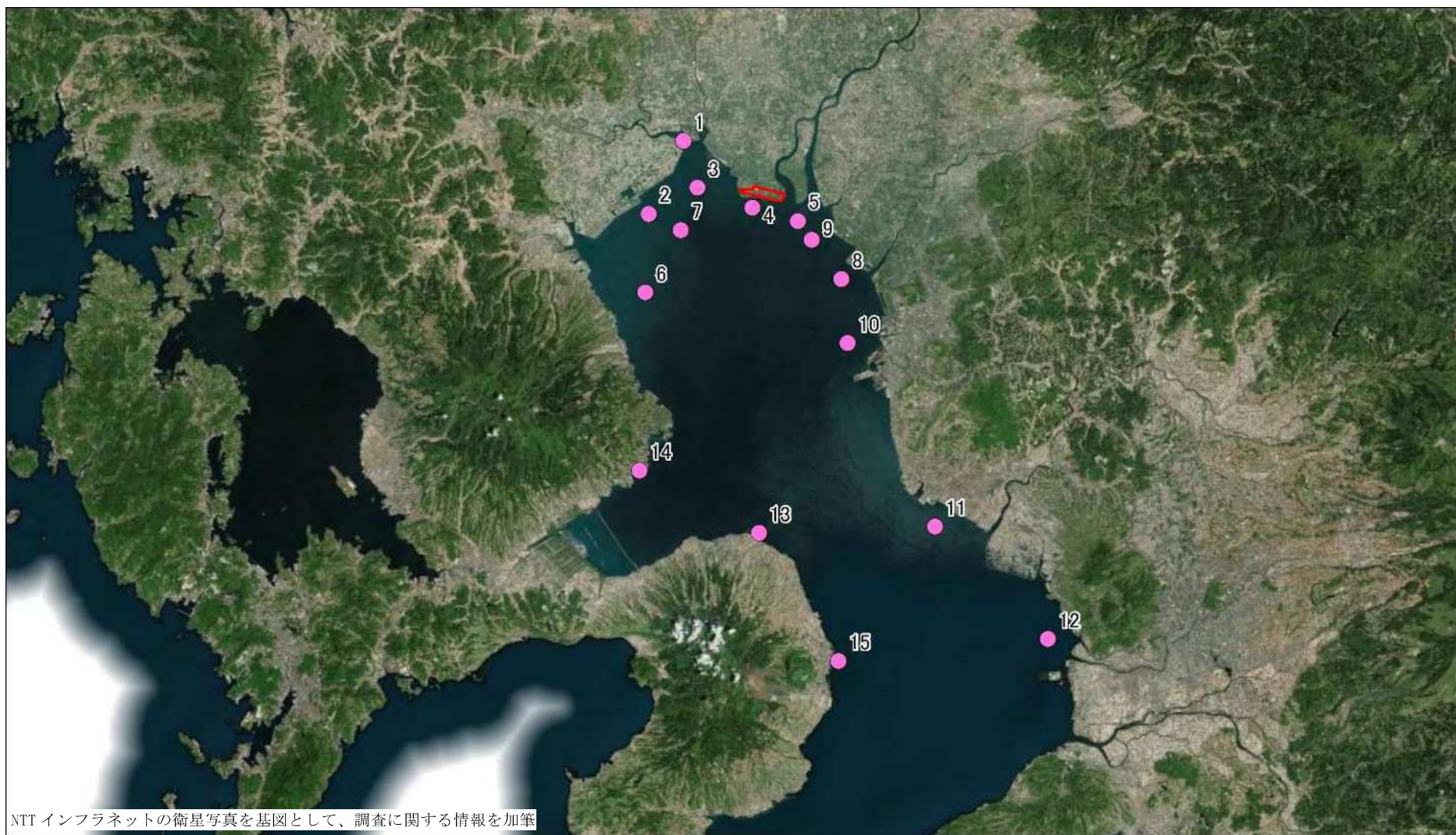
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/05koukyouyousuiiki.html>

「令和5年度(2023年度)水質調査報告書」（熊本県ホームページ）

<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/51/224308.html>

「令和5年度公共用水域及び地下水の水質測定結果」（長崎県ホームページ）

<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/kankyohozen-ondankataisaku/kankyokanshi/mizu-kankyokanshi/595331.html>



NTT インフラネットの衛星写真を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

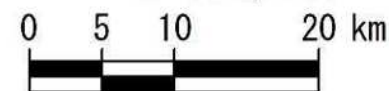
- 対象事業実施区域
- 環境基準測定地点

出典

「水環境総合情報サイト 公共用水域」(環境省修正ホームページ 令和7年6月20日 閲覧)

図 3.1-28 水質測定地点図(海域)

1:500,000



ウ. クリーク

対象事業実施区域及びその周囲のクリークにおける水質測定結果は表 3.1-36 及び表 3.1-37 に、測定点の位置は図 3.1-29 に示すとおりである。なお、全ての地点において、環境基準に係る類型の指定はない。

表 3.1-36 環境測定点一覧 クリーク

No.	水域名	地点名	類型	健康項目の 測定の有無
1	下早樋管クリーク	下早樋管	—	無
2	南第 15 区クリーク	南 15 区福地石油東		無
3	南 12 区クリーク	南 12 区高祖薬局前		無

注 1. 「No.」は図 3.1-29 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

表 3.1-37 生活環境項目測定結果 クリーク

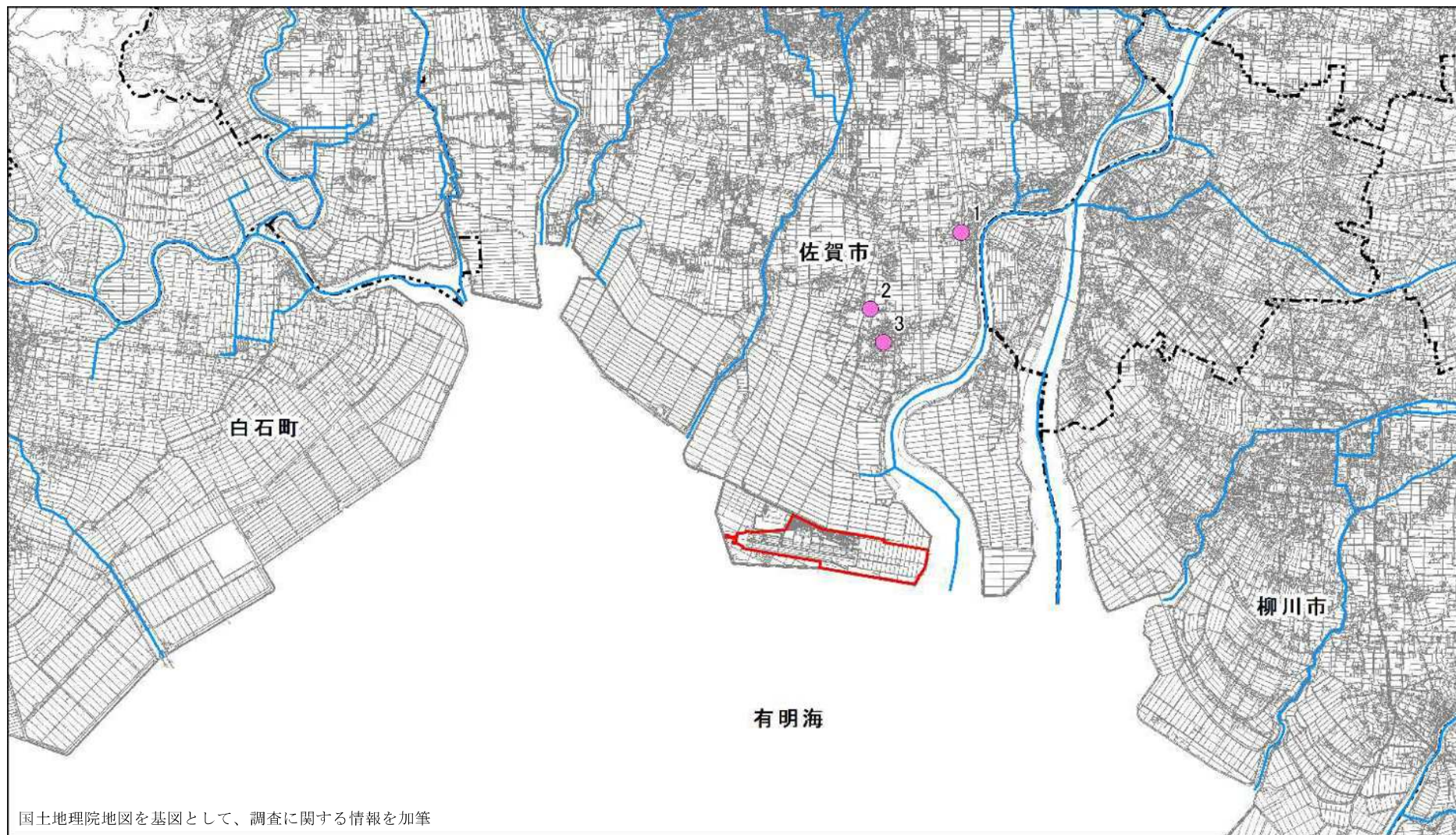
No.	海域名等	地点名	単位	pH	DO	COD	SS	大腸菌群数	全窒素	全磷
					[mg/L]			[MPN/100mL]	[mg/L]	
1	下早樋管クリーク	下早樋管	最大	9.4	16	13	72	—	4.3	0.13
2	南第 15 区クリーク	南第 15	最大	8.8	18	31	48	—	3.4	0.25
3	南 12 区クリーク	南 12 区	最大	7.9	8.2	12	51	—	3.9	0.39

注 1. 表中の「—」は測定を行っていない項目を示す。

注 2. 「No.」は図 3.1-29 に対応している。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」（佐賀県ホームページ）

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

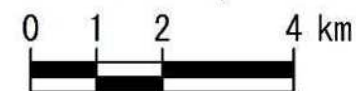
- 対象事業実施区域
- 環境基準測定地点
- 河川

出典

「水環境総合情報サイト 公共用水域」(環境省ホームページ 令和7年6月20日 閲覧)

図 3.1-29 水質測定地点図(クリーク)

1:110,000



2) 佐賀空港事務所による調査

佐賀空港事務所では、空港の周囲及び海域において水質の測定を行っている。

7. 排水処理施設

ターミナルビル排水処理施設における水質測定結果は表 3.1-38 に、測定位置は図 3.1-30 に示すとおりである。

すべての項目に関して排水基準を下回っている。

表 3.1-38 排水処理施設における水質測定結果

No.	地点名	単位	年度	pH	BOD	SS	大腸菌群数
					[mg/L]	[mg/L]	[個/cm ³]
1-3	ターミナルビル排水処理施設出口	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	7.2	3.1	3.8	0
			令和2年度 (2020 年度)	6.9	1.6	1.4	0
			令和3年度 (2021 年度)	7.0	1.3	1.6	0
			令和4年度 (2022 年度)	7.0	4.8	5.3	0
			令和5年度 (2023 年度)	7.2	2.0	1 未満	0
			令和6年度 (2024 年度)	7.1	3.8	2.3	0.5
排水基準で定める許容限度				5.8 以上 8.6 以下	50 (日間平均：30)	100 (日間平均：70)	3000 (日間平均)

注 1. 番号は図 3.1-30 に対応している。

出典：「佐賀空港事務所提供資料」

4. 佐賀空港周辺の樋門・水路及び海域

佐賀空港周辺の樋門・水路における水質測定結果は表 3.1-39 に、海域における水質測定結果は表 3.1-40 に、水質自動測定装置による樋門の水質測定結果は表 3.1-41 に、測定位置は図 3.1-30 に示すとおりである。

表 3.1-39 樋門・水路における水質測定結果

No.	地点名	単位	年度	pH	COD	SS	油分
					[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]
1-1	国造堀樋門	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	8.6	8.1	42.0	ND
			令和2年度 (2020 年度)	8.3	6.7	27.7	ND
			令和3年度 (2021 年度)	8.5	7.1	47.1	1 未満
			令和4年度 (2022 年度)	8.4	7.9	67.6	1 未満
			令和5年度 (2023 年度)	8.5	6.3	38.1	ND
			令和6年度 (2024 年度)	8.3	6.6	31.9	1 未満
1-2	国造堀内水路	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	8.6	9.0	63.8	ND
			令和2年度 (2020 年度)	8.3	6.6	50.8	ND
			令和3年度 (2021 年度)	8.5	7.3	68.1	ND
			令和4年度 (2022 年度)	8.4	8.1	69.7	ND
			令和5年度 (2023 年度)	8.5	7.1	65.2	ND
			令和6年度 (2024 年度)	8.2	6.8	44.9	1 未満
1-4	平和堀樋門	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	8.8	8.7	59.8	1 未満
			令和2年度 (2020 年度)	8.5	7.6	52.5	1 未満
			令和3年度 (2021 年度)	8.8	7.8	60.6	ND
			令和4年度 (2022 年度)	8.7	8.8	56.8	ND
			令和5年度 (2023 年度)	8.8	7.5	42.4	1 未満
			令和6年度 (2024 年度)	8.9	6.8	40.4	1 未満

注 1. ND は検出限界以下を示す。

注 2. 「No.」は図 3.1-30 に対応している。

出典：「佐賀空港事務所提供資料」

表 3.1-40 海域における水質測定結果

No.	地点名	単位	年度	pH	COD	SS	油分	塩化物イオン	比重
					[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]	[mg/L]	—
2-1	国造搦樋門南	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	7.9	1.2	37.3	ND	14,833	19.9
			令和2年度 (2020 年度)	7.9	1.5	30.8	ND	13,367	17.7
			令和3年度 (2021 年度)	8.0	1.9	29.3	ND	14,917	20.0
			令和4年度 (2022 年度)	8.1	1.8	28.1	0.5 未満	14,917	20.0
			令和5年度 (2023 年度)	8.0	2.0	22.3	0.5 未満	14,767	19.5
			令和6年度 (2024 年度)	8.0	1.7	25.2	ND	14,333	19.1
2-2	平和搦樋門南	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	7.9	1.4	47.0	ND	14,500	19.3
			令和2年度 (2020 年度)	7.9	1.5	46.7	ND	12,733	16.8
			令和3年度 (2021 年度)	8.0	1.7	37.9	ND	13,558	18.1
			令和4年度 (2022 年度)	8.0	1.8	39.2	0.5 未満	14,658	19.5
			令和5年度 (2023 年度)	8.0	1.8	33.8	0.5 未満	14,125	18.8
			令和6年度 (2024 年度)	7.9	1.8	32.5	ND	13,583	18.0
2-3	空港南海域	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	8.0	1.3	32.2	ND	15,333	—
			令和2年度 (2020 年度)	7.9	0.9	26.0	ND	15,433	—
			令和3年度 (2021 年度)	8.0	1.3	20.4	ND	15,583	—
			令和4年度 (2022 年度)	8.0	1.1	41.4	ND	17,417	—
			令和5年度 (2023 年度)	8.1	1.9	21.6	ND	14,275	—
			令和6年度 (2024 年度)	8.0	1.1	26.4	ND	14,908	—

注 1. ND は検出限界以下を示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

注 3. 「No.」は図 3.1-30 に対応している。

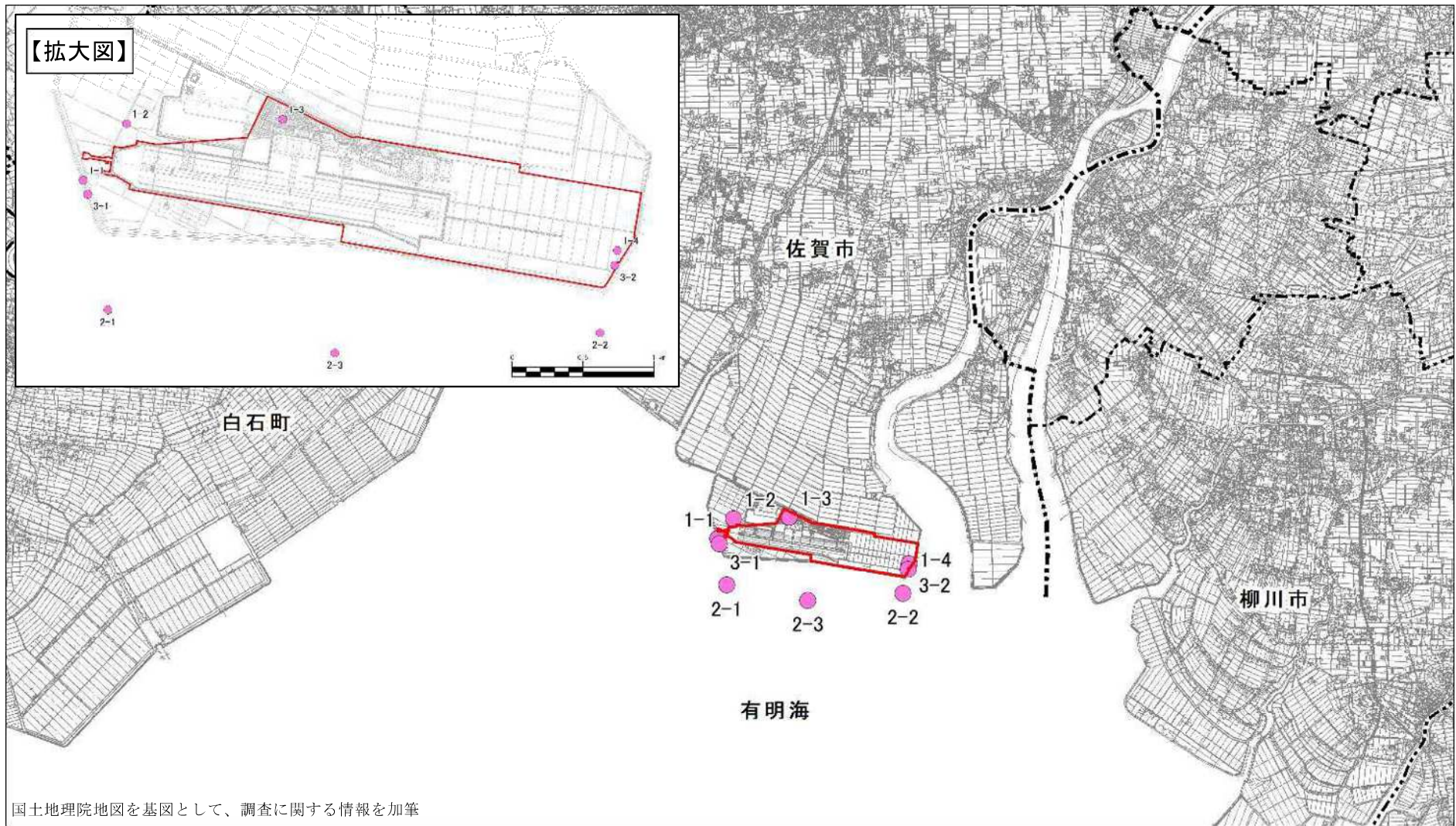
出典：「佐賀空港事務所提供資料」

表 3.1-41 水質自動測定装置による樋門の水質測定結果

No.	地点名	単位	年度	pH	濁度	電気伝導度
					[mg/L]	[mS/cm]
3-1	国造堀樋門	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	8.2	43.4	6.8
			令和2年度 (2020 年度)	8.2	46.1	4.8
			令和3年度 (2021 年度)	8.2	37.6	6.4
			令和4年度 (2022 年度)	8.2	36.3	3.9
			令和5年度 (2023 年度)	8.0	55.2	8.0
			令和6年度 (2024 年度)	7.9	48.4	6.3
3-2	平和堀樋門	年平均値	令和元年度 (2019 年度)	8.3	45.3	6.8
			令和2年度 (2020 年度)	8.5	58.6	6.1
			令和3年度 (2021 年度)	8.6	38.9	6.9
			令和4年度 (2022 年度)	8.6	34.3	7.2
			令和5年度 (2023 年度)	8.2	53.5	8.2
			令和6年度 (2024 年度)	8.0	45.9	7.5

注 1. 「No.」は図 3.1-30 に対応している。

出典：「佐賀空港事務所提供資料」



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

- 対象事業実施区域
- 水質測定地点

図 3.1-30 水質測定地点図

1:110,000



出典

「佐賀空港事務所提供資料」

(3) 地下水の水質及び水位

1) 地下水の水質

対象事業実施区域及びその周囲における地下水の水質測定結果は表 3.1-42(1)から(4)に示すとおりである。砒素に関しては柳川市の 8 地点で環境基準(0.01mg/L 以下)を超過しているが、その他の地点と測定項目においては環境基準を満足している。なお、測定位置については住所を公開していないため図示しない。

表 3.1-42(1) 地下水の水質測定結果

No.	県・市町	地区名	カドミウム	全シアン	鉛	六価 クロム	砒素	総水銀	アルキル 水銀
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1	佐賀県 佐賀市	北川副町新郷 (0007-700300)	—	—	—	—	<0.001	—	—
2		末広 (0033-700200)	—	—	—	—	<0.001	—	—
3	佐賀県 杵島郡 白石町	新拓 (0050-800100)	—	—	—	—	—	—	—
4		新拓 (0050-800200)	—	—	—	—	—	—	—
5		福田 (0090-800100)	—	—	—	—	—	—	—
6		福田 (0090-800200)	—	—	—	—	—	—	—
7		福富 (6020-800100)	—	—	—	—	—	—	—
8		福富 (6020-800200)	—	—	—	—	—	—	—
9		新明 (7040-800100)	—	—	—	—	—	—	—
10		新明(7040- 800200)	—	—	—	—	—	—	—
11	福岡県 柳川市	佃町 (0010-000300)	—	—	—	—	0.027	—	—
12		佃町 (0010-000500)	—	—	—	—	0.024	—	—
13		佃町 (0010-000600)	—	—	—	—	0.024	—	—
14		西蒲池 (0020-000200)	—	—	—	—	0.038	—	—
15		東蒲池 (0030-000200)	—	—	—	—	0.082	—	—
16		東蒲池 (0030-000300)	—	—	—	—	<0.01	—	—
17		蒲生 (0040-000300)	—	—	—	—	—	—	—
18		高島 (0050-000400)	—	—	—	—	0.036	—	—
19		吉富町 (0060-000200)	—	—	—	—	0.03	—	—
20		塩塚 (1010-000600)	—	—	—	—	<0.01	—	—
21		六合 (1030-000200)	—	—	—	—	<0.01	—	—
22		中島 (1040-000400)	—	—	—	—	0.085	—	—
23		起田 (2130-000300)	—	—	—	—	<0.01	—	—
24		棚町 (2190-000200)	—	—	—	—	<0.01	—	—
環境基準値(mg/L 以下)			0.003	不検出	0.01	0.02	0.01	0.0005	不検出

注 1. 注釈及び出典の内容は表 3.1-42(4)の下に示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

注 3. 網掛けは環境基準を超過していることを示す。

表 3.1-42(2) 地下水の水質測定結果

No.	県・市町	地区名	PCB	ジクロロ メタン	四塩化 炭素	クロロエチレン	1, 2- ジクロロ エタン	1, 1- ジクロロ エチレン	1, 2- ジクロロ エチレン
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1	佐賀県 佐賀市	北川副町新郷 (0007-700300)	—	—	—	<0.0002	—	—	<0.008
2		末広 (0033-700200)	—	—	—	<0.0002	—	—	<0.008
3	佐賀県 杵島郡 白石町	新拓 (0050-800100)	—	—	—	—	—	—	—
4		新拓 (0050-800200)	—	—	—	—	—	—	—
5		福田 (0090-800100)	—	—	—	—	—	—	—
6		福田 (0090-800200)	—	—	—	—	—	—	—
7		福富 (6020-800100)	—	—	—	—	—	—	—
8		福富 (6020-800200)	—	—	—	—	—	—	—
9		新明 (7040-800100)	—	—	—	—	—	—	—
10		新明 (7040-800200)	—	—	—	—	—	—	—
11	福岡県 柳川市	佃町 (0010-000300)	—	—	—	—	—	—	—
12		佃町 (0010-000500)	—	—	—	—	—	—	—
13		佃町 (0010-000600)	—	—	—	—	—	—	—
14		西蒲池 (0020-000200)	—	—	—	—	—	—	—
15		東蒲池 (0030-000200)	—	—	—	—	—	—	—
16		東蒲池 (0030-000300)	—	—	—	—	—	—	—
17		蒲生 (0040-000300)	—	—	—	—	—	—	—
18		高島 (0050-000400)	—	—	—	—	—	—	—
19		吉富町 (0060-000200)	—	—	—	—	—	—	—
20		塩塚 (1010-000600)	—	—	—	—	—	—	—
21		六合 (1030-000200)	—	—	—	—	—	—	—
22		中島 (1040-000400)	—	—	—	—	—	—	—
23		起田 (2130-000300)	—	—	—	—	—	—	—
24		棚町 (2190-000200)	—	—	—	—	—	—	—
環境基準値(mg/L 以下)			不検出	0.02	0.002	0.002	0.004	0.1	0.04

注 1. 注釈及び出典の内容は表 3.1-42(4)の下に示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

表 3.1-42(3) 地下水の水質測定結果

No.	県・市町	地区名	1, 1, 1- トリクロロ エタン	1, 1, 2- トリクロロ エタン	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1, 3- ジクロロ プロペン	チウラム	シマジシン
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1	佐賀県 佐賀市	北川副町新郷 (0007-700300)	—	—	<0.001	<0.0005	—	—	—
2		末広 (0033-700200)	—	—	<0.001	<0.0005	—	—	—
3	佐賀県 杵島郡 白石町	新拓 (0050-800100)	—	—	<0.001	<0.001	—	—	—
4		新拓 (0050-800200)	—	—	<0.001	<0.001	—	—	—
5		福田 (0090-800100)	—	—	<0.001	<0.001	—	—	—
6		福田 (0090-800200)	—	—	<0.001	<0.001	—	—	—
7		福富 (6020-800100)	—	—	<0.001	<0.001	—	—	—
8		福富 (6020-800200)	—	—	<0.001	<0.001	—	—	—
9		新明 (7040-800100)	—	—	<0.001	<0.001	—	—	—
10		新明 (7040-800200)	—	—	<0.001	<0.001	—	—	—
11	福岡県 柳川市	佃町 (0010-000300)	—	—	—	—	—	—	—
12		佃町 (0010-000500)	—	—	—	—	—	—	—
13		佃町 (0010-000600)	—	—	—	—	—	—	—
14		西蒲池 (0020-000200)	—	—	—	—	—	—	—
15		東蒲池 (0030-000200)	—	—	—	—	—	—	—
16		東蒲池 (0030-000300)	—	—	—	—	—	—	—
17		蒲生 (0040-000300)	—	—	—	—	—	—	—
18		高島 (0050-000400)	—	—	—	—	—	—	—
19		吉富町 (0060-000200)	—	—	—	—	—	—	—
20		塩塚 (1010-000600)	—	—	—	—	—	—	—
21		六合 (1030-000200)	—	—	—	—	—	—	—
22		中島 (1040-000400)	—	—	—	—	—	—	—
23		起田 (2130-000300)	—	—	—	—	—	—	—
24		棚町 (2190-000200)	—	—	—	—	—	—	—
環境基準値(mg/L 以下)			1	0.006	0.01	0.01	0.002	0.006	0.003

注 1. 注釈及び出典の内容は表 3.1-42(4)の下に示す。

注 2. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

表 3.1-42(4) 地下水の水質測定結果

No.	県・市町	地区名	チオベン カルブ ^a	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素 及び 亜硝酸性窒 素	ふっ素	ほう素	1,4- ジ ^a オキサン
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
1	佐賀県 佐賀市	北川副町新郷 (0007-700300)	—	—	—	0.34	0.34	0.4	—
2		末広 (0033-700200)	—	—	—	0.11	0.14	<0.1	—
3	佐賀県 杵島郡 白石町	新拓 (0050-800100)	—	—	—	<0.02	—	—	—
4		新拓 (0050-800200)	—	—	—	<0.02	—	—	—
5		福田 (0090-800100)	—	—	—	<0.02	—	—	—
6		福田 (0090-800200)	—	—	—	<0.02	—	—	—
7		福富 (6020-800100)	—	—	—	<0.02	—	—	—
8		福富 (6020-800200)	—	—	—	<0.02	—	—	—
9		新明 (7040-800100)	—	—	—	<0.02	—	—	—
10		新明 (7040-800200)	—	—	—	<0.02	—	—	—
11	福岡県 柳川市	佃町 (0010-000300)	—	—	—	—	—	—	—
12		佃町 (0010-000500)	—	—	—	—	—	—	—
13		佃町 (0010-000600)	—	—	—	—	—	—	—
14		西蒲池 (0020-000200)	—	—	—	—	—	—	—
15		東蒲池 (0030-000200)	—	—	—	—	—	—	—
16		東蒲池 (0030-000300)	—	—	—	—	—	—	—
17		蒲生 (0040-000300)	—	—	—	—	—	—	—
18		高島 (0050-000400)	—	—	—	—	—	—	—
19		吉富町 (0060-000200)	—	—	—	—	—	—	—
20		塩塚 (1010-000600)	—	—	—	—	—	—	—
21		六合 (1030-000200)	—	—	—	—	—	—	—
22		中島 (1040-000400)	—	—	—	—	—	—	—
23		起田 (2130-000300)	—	—	—	—	—	—	—
24		棚町 (2190-000200)	—	—	—	—	—	—	—
環境基準値(mg/L 以下)			0.02	0.01	0.01	10	0.8	1	0.05

注 1. 表中の「—」は測定されていない項目を示す。

出典：「令和 3 年度公共用水域及び地下水水質測定結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314004/index.html>

「令和 4 年度地下水水質測定結果」(福岡県ホームページ)

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/04tikasui.html>

2) 地下水の水位

対象事業実施区域及びその周囲における地下水の水位についての測定結果を表 3.1-43 に、地下水位観測地点(観測所)を図 3.1-31 に示す。なお、最大水位変動量(最大値と最小値の差)は対象事業実施区域に最も近い川副観測所において 1.45m となっている。

表 3.1-43 地下水の水位観測結果

No.	地区	観測所	記号	調査 開始	地下水位(地表面下) [m]				水位変動量[m]	
					最高	観測日	最低	観測日	最大	年間
1	佐賀 地区	諸富	5号	48	2.65	7/19	3.38	3/7	0.73	-0.10
2			6号		2.03	7/19	2.61	12/29	0.58	0.01
3		川副	F-1	H6	1.59	10/9	3.04	3/4	1.45	-0.08
4	白石 地区	新白石	新C-2	H12	0.33	6/6	0.52	11/9, 10, 11, 12, 16, 17, 18	0.19	-0.09
5		新有明	N-2	H2	1.60	6/22	1.86	11/20	0.26	—

注 1. 地下水位は地表面下の深さで表記しており、数値が大きいほど水位が低いことを示す。

注 2. 最大変動量：令和 4 年度中(2022 年度中)の最高値と最低値の差

注 3. 年間変動量：令和 4 年(2022 年)3 月 31 日と令和 5 年(2023 年)3 月 31 日の観測値の差

注 4. 表中の「—」は欠測のため非表示としている。

注 5. 「No.」は図 3.1-31 に対応している。

出典：「令和 4 年度地盤沈下の概況」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00398226/index.html>



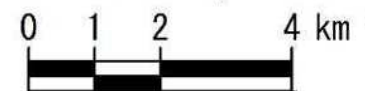
国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

- 対象事業実施区域
- 地下水位観測地点

図 3.1-31 地下水位観測地点図

1:110,000



出典

「令和4年度地盤沈下の概況」(佐賀県ホームページ)

(4) 水底の底質

対象事業実施区域及びその周囲を流れる河川、海域において、水底の底質に関する測定としてダイオキシン類の測定が行われている。

1) ダイオキシン類

対象事業実施区域及びその周囲を流れる河川、海域におけるダイオキシン類の測定結果は表 3.1-44 に示すとおりである。その結果、すべての地点で環境基準を満足している。

表 3.1-44 河川・海域の底質におけるダイオキシン類の測定結果

区分	No.	測定地点	水質 [pg-TEQ/L]		底質 [pg-TEQ/g]	
			測定結果	環境基準	測定結果	環境基準
河川	1	瀬の下(筑後川)	0.12	1 以下	0.95	150 以下
	2	官人橋(嘉瀬川)	0.081		0.22	
	3	潮見橋(六角川)	0.12		0.32	
海域	1	S-7(有明海)	0.11		15	

注 1. 令和 5 年度(2023 年度)は、対象事業実施区域及びその周囲において、海域のダイオキシン類の測定は行われていないため、令和 2 年度(2020 年度)の結果を引用している。

出典：「令和 2 年度ダイオキシン類調査結果」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

「令和 5 年度ダイオキシン類調査結果」(佐賀県ホームページ)

<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00350717/index.html>

3.1.3. 土壌及び地盤の状況

(1) 土壌

対象事業実施区域及びその周囲における土壌汚染対策法に基づく区域の指定の状況は表 3.1-45 に、土壌分類図は図 3.1-32 に示すとおりである。対象事業実施区域及びその周囲では細粒灰色低地土壌が広く分布しており、有明海沿いでは開拓年次の新しい細粒グライ土壌が分布している。

なお、対象事業実施区域及びその周囲のうち、佐賀県佐賀市及び福岡県柳川市においては、土壌汚染対策法(平成 14 年法律第 53 号 最終改正：令和 7 年 6 月 1 日法律第 68 号)第 6 条第 1 項及び第 11 条第 1 項の規定に基づき、土壌中の有害物質の溶出量又は含有量が基準に適合しない土地を、要措置区域又は形質変更時要届出区域等として指定している。

表 3.1-45 土壌汚染対策法に基づく区域の指定の状況

整理 番号	指定区域の種 類	指定年月日	指定 番号	指定区域の所在地	指定区域 の面積	指定に係る 特定有害物質の種類
整-2-1	要措置区域	令和2年5月19日 (新規指定)	要-1	巨勢町大字牛島字二本 松583番3の一部	208.77m ²	六価クロム化合物
整-26-1	形質変更時要 届出区域	平成26年12月4日 (新規指定) 平成28年4月1日 (一部指定解除) (一部自然由来 特例区域に変更)	形-1	水ヶ江一丁目325番の一 部、329番1の一部、329 番3の一部、341番1の一 部、341番2の一部、城 内二丁目250番の一部	3369.31m ²	水銀及びその化合物 、鉛及びその化合物、 砒素及びその化合物
整-2-2	形質変更時要 届出区域	令和2年8月28日 (新規指定)	形-3	久保田町大字新田字三 籠1127番12の一部	94.3m ²	鉛及びその化合物
整-6-1	形質変更時要 届出区域	令和6年9月17日 (新規指定)	形-5	久保田町大字新田字三 籠1127番12の一部	317.4m ²	鉛及びその化合物

出典：「佐賀市内における要措置区域等の指定状況」(佐賀市ホームページ)

<https://www.city.saga.lg.jp/main/7475.html>



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

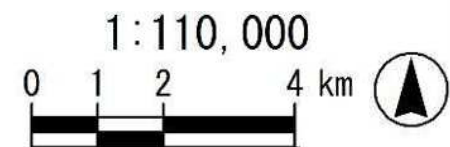
- | | |
|---|---|
| 対象事業実施区域 | 細粒グライ土壤 |
| 灰色低地土壤 | 細粒灰色低地土壤 |
| 粗粒灰色低地土壤 | その他 |
| 粗粒褐色低地土壤 | |

出典

「土地分類図(土壤図)佐賀県」(昭和49年 経済企画庁総合開発局)

「土地分類図(土壤図)福岡県」(昭和45年8月 経済企画庁)

図 3.1-32 土壤分類図



(2) 地盤沈下

対象事業実施区域及びその周囲の令和 4 年度(2022 年度)における地盤高の測定結果は表 3.1-46 に、地盤沈下観測地点(観測所)は、図 3.1-33 に示すとおりである。なお、最大地盤変動量(最高値と最低値の差)は対象事業実施区域に最も近い川副観測所において 14.1 mmとなっている。また、対象事業実施区域及びその周囲には、「工業用水法」(昭和 31 年、法律第 146 号最終改正 令和 7 年 6 月 1 日)及び「建築物用地下水の採取の規制に関する法律」(昭和 37 年、法律第 100 号最終改正 令和 7 年 6 月 1 日)に基づく地下水の採取の規制地域はない。

表 3.1-46 地盤高の変動量観測結果

No.	地区	観測所	記号	調査開始	地盤高[標高 mm]				地盤高変動量[mm]	
					最高	観測日	最低	観測日	最大	年間
1	佐賀地区	諸富	5 号	S48	2699.4	7/19	2695.4	1/13	4.0	-0.3
2			6 号		2676.3	7/19	2672.1	12/20	4.2	-0.5
3		川副	F-1	H6	2339.7	8/18	2325.6	1/8	14.1	-1.1
4	白石地区	新白石	新 C-2	H12	1158.9	8/7	1147.3	6/22	11.6	1.1
5		新有明	N-2	H2	1509.0	8/18	1504.0	11/29	5.0	-0.9

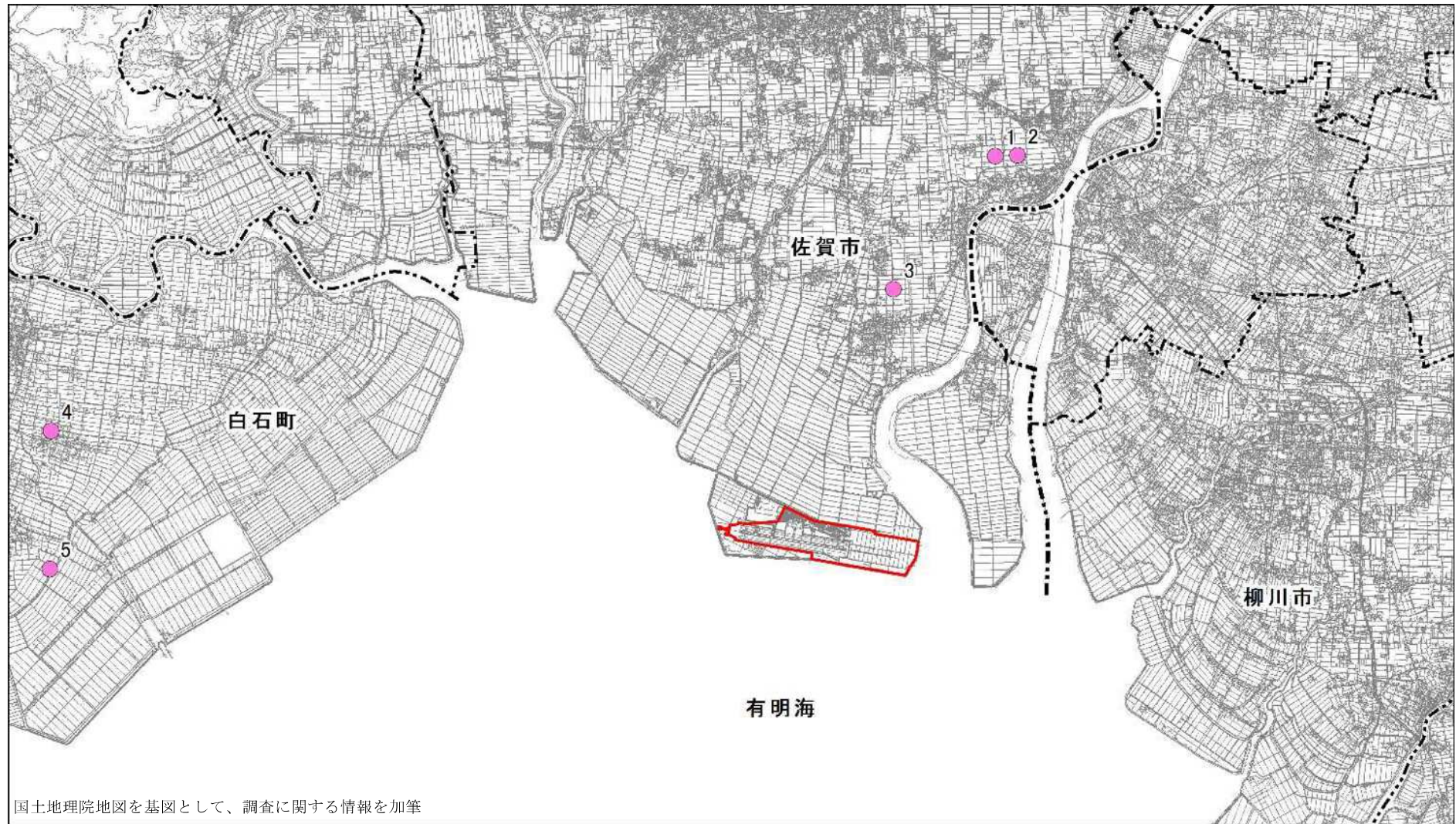
注 1. 最大変動量：令和 4 年度中(2022 年度中)の最高値と最低値の差

注 2. 年間変動量：令和 4 年(2022 年)3 月 31 日と令和 5 年(2023 年)3 月 31 日の観測値の差

注 3. 「No.」は図 3.1-33 に対応している。

出典：「令和 4 年度地盤沈下の概況」(佐賀県ホームページ)

<https://www.pref.saga.lg.jp/ki00398226/index.html>



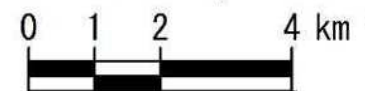
国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

- 対象事業実施区域
- 地盤沈下観測地点

図 3.1-33 地盤沈下観測地点図

1:110,000



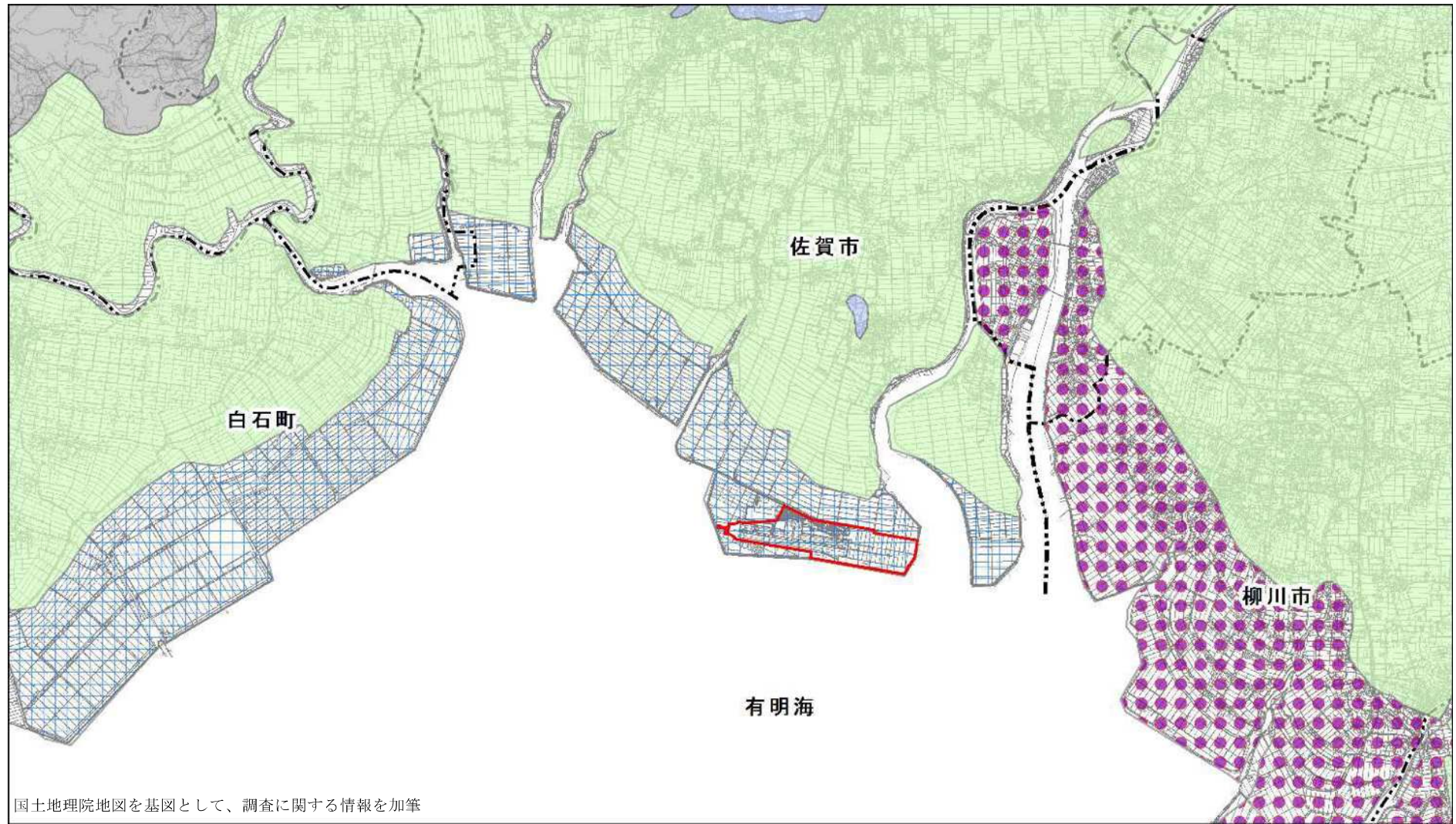
出典

「令和4年度地盤沈下の概況」(佐賀県ホームページ)

3.1.4. 地形及び地質の状況

(1) 地形

対象事業実施区域及びその周囲における地形分類図は、図 3.1-34 に示すとおりである。対象事業実施区域及びその周囲は佐賀平野の南部に位置し、有明海沿岸では干拓地及び埋立地が広がっている。内陸部では、筑後川や嘉瀬川などの河川が運んだ土砂による三角州性低地がある。



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

凡例

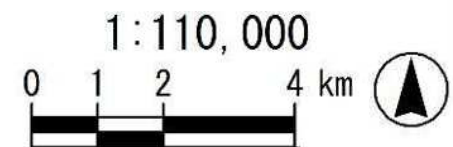
- | | |
|--|--|
| 対象事業実施区域 | 干拓地 |
| 三角州性低地 | 自然堤防・砂州・砂丘 |
| 埋立地 | その他 |

出典

「土地分類図(地形分類図)佐賀県」(昭和49年 経済企画庁総合開発局)

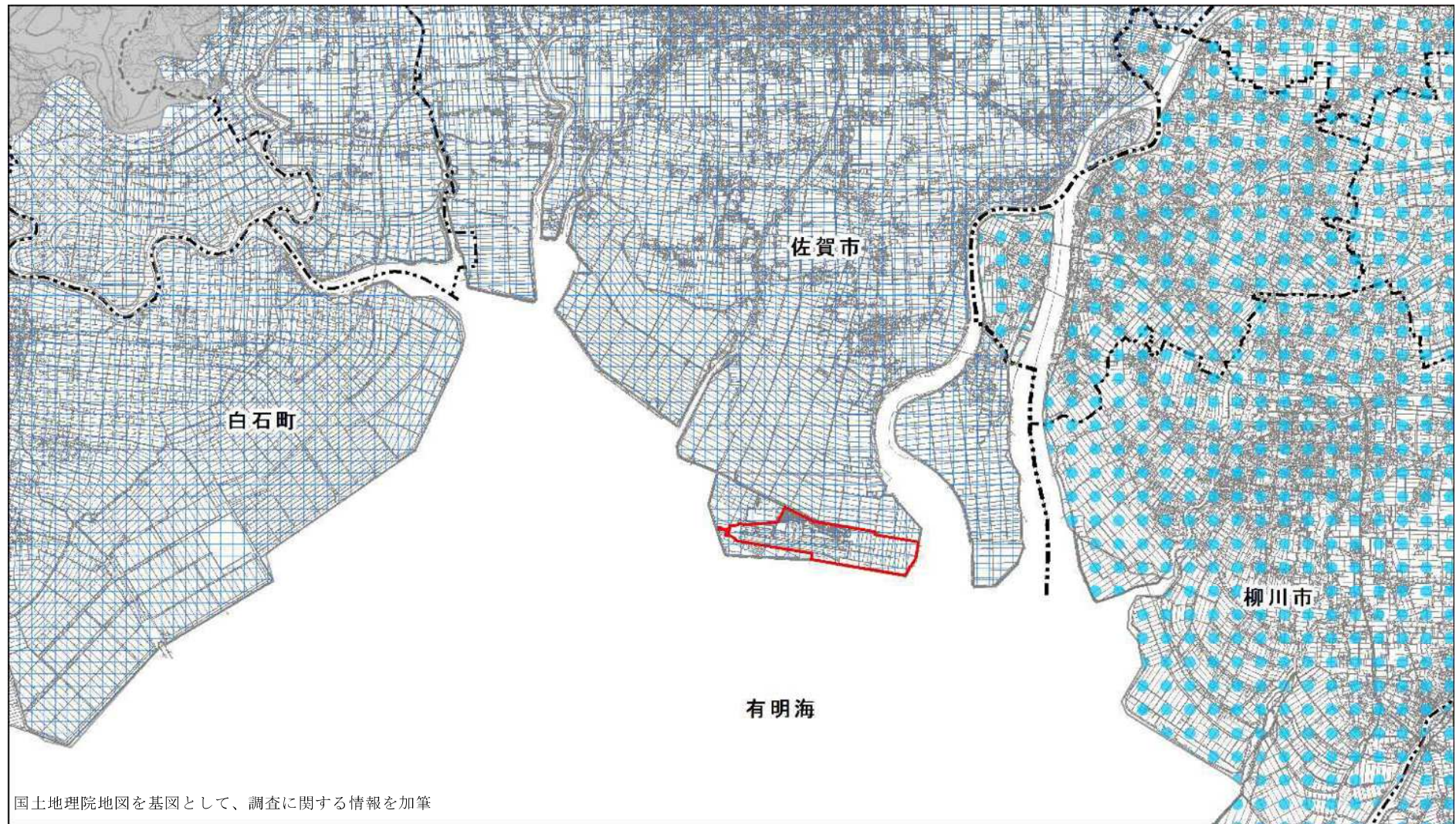
「土地分類図(地形分類図)」(昭和45年8月 経済企画庁)

図 3.1-34 地形分類図



(2) 地質

対象事業実施区域及びその周囲における表層地質分類図は、図 3.1-35 に示すとおりである。対象事業実施区域及びその周囲において、佐賀県側は泥がち堆積物、福岡県側は砂・粘土・淤泥・礫等の沖積堆積物が多くを占めている。



国土地理院地図を基図として、調査に関する情報を加筆

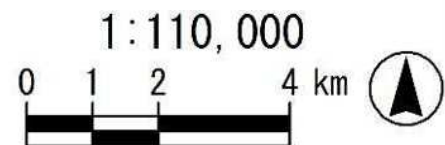
凡例

- 対象事業実施区域
- 泥がち堆積物
- 砂・粘土・淤泥・礫
- その他

出典

「土地分類図(表層地質図-平面的分類図-)佐賀県」(昭和49年 経済企画庁総合開発局)
 「土地分類図(表層地質図-平面的分類図-)」(昭和45年8月 経済企画庁)

図 3.1-35 表層地質分類図



3.1.5. 動植物の生息又は生育、植生及び生態系の状況

(1) 動物

対象事業実施区域及びその周囲における動物の生息状況について、文献調査により重要な動物の確認状況、注目すべき生息地の状況を整理した。

なお、動物の重要な種の選定基準は表 3.1-47(1)及び(2)に示すとおりである。

表 3.1-47(1) 重要な種の選定基準

法令・文献等	カテゴリー		選定基準等
天然記念物 (文化財保護法)	「文化財保護法」（1950年制定、2025年改正）・「福岡県文化財保護条例」（1973年制定、2022年改正）・「佐賀県文化財保護条例」（1955年制定、2024年改正）により、天然記念物に指定されている種及び亜種		
	国指定特別天然記念物	特 国	「文化財保護法」により、特別天然記念物に指定されているもの
	国指定天然記念物	国	「文化財保護法」により、天然記念物に指定されているもの
	県指定天然記念物	県 (福岡)	「福岡県文化財保護条例」により、天然記念物に指定されているもの
		県 (佐賀)	「佐賀県文化財保護条例」により、天然記念物に指定されているもの
種の保存法	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（1992年制定、2025年改正）における希少野生動植物種		
	国際希少野生動植物種	国際	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により、国際希少野生動植物種に指定されているもの
	国内希少野生動植物種	国内	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により、国内希少野生動植物種に指定されているもの
	特定第一種国内希少野生動植物種	特定 第一種	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により、特定第一種国内希少野生動植物種に指定されているもの
	特定第二種国内希少野生動植物種	特定 第二種	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により、特定第二種国内希少野生動植物種に指定されているもの
	緊急指定種	緊急 指定種	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により、緊急指定種国内・国際希少野生動植物種に指定されているもの
県条例	「福岡県希少野生動植物の保護に関する条例」（2020年制定）による指定希少野生動植物種		
	県指定（福岡）	指定希少野生動植物種	
	「佐賀県環境保全と創造に関する条例」（2002年制定、2024年改正）佐賀県条例第48号第54条に基づき指定希少野生動植物種		
	県指定（佐賀）	指定希少野生動植物種	
海洋生物RL	「環境省版海洋生物レッドリスト2017」（2017年、環境省）に掲載されている種		
	絶滅	EX	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
	野生絶滅	EW	飼育・栽培下のみ存続している種
	絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
	絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
	絶滅危惧Ⅱ類	VU	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧	NT	現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性がある種
	情報不足	DD	評価するだけの情報が不足している種

表 3.1-47(2) 重要な種の選定基準

法令・文献等	カテゴリー		選定基準等
環境省RL	「環境省レッドリスト2020」（2020年、環境省）に掲載されている種		
	絶滅	EX	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
	野生絶滅	EW	飼育・栽培下のみ存続している種
	絶滅危惧Ⅰ類	CR+EN	絶滅の危機に瀕している種
	絶滅危惧ⅠA類	CR	ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種
	絶滅危惧ⅠB類	EN	ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種
	絶滅危惧Ⅱ類	VU	絶滅の危険が増大している種
	準絶滅危惧	NT	現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性がある種
	情報不足	DD	評価するだけの情報が不足している種
	絶滅のおそれのある地域個体群	LP	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
福岡県RDB	「福岡県の希少野生生物－福岡県レッドデータブック2024－（植物群落・植物等・哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類・昆虫類・甲殻類等・クモ形類等・貝類）」（2025年、福岡県）に記載された種		
	絶滅	EX	過去に福岡県で生息していたことが確認されており、最後の個体が死亡・消失したことに疑いがない分類群
	野生絶滅	EW	福岡県内のすべての自生地で消失したが、福岡県産であることが確実な個体が公的機関で栽培・飼育・系統保存されている分類群
	絶滅危惧	絶滅危惧ⅠA類	CR 【絶滅危惧Ⅰ類】 次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ①既知のすべての個体群で、危機的水準にまで減少している。 ②既知のすべての生息地で、生息条件が著しく悪化している。 ③既知のすべての個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④ほとんどの分布域に交雑のおそれのある別種が侵入している。 【情報量が少ないもの】 ⑤それほど遠くない過去（30～50年）の生息記録以後確認情報がなく、その後信頼すべき調査が行われていないため、絶滅したかどうかの判断が困難なもの。（絶滅危惧ⅠA類とする） なお、定量評価が困難な場合でも、減少傾向の有無にかかわらず、県内の成熟個体数が二桁（10～100）程度と推定されるものは絶滅危惧ⅠA類、成熟個体数が三桁程度と推定されるものは絶滅危惧ⅠB類とした。
		絶滅危惧ⅠB類	EN
		絶滅危惧Ⅱ類	VU 次のいずれかに該当する種 【確実な情報があるもの】 ①大部分の個体群で個体数が大幅に減少している。 ②大部分の生息地で生息条件が明らかに悪化しつつある。 ③大部分の個体群がその再生産能力を上回る捕獲・採取圧にさらされている。 ④分布域の相当部分に交雑可能な別種が侵入している。
	準絶滅危惧	NT	生息状況の推移から見て、種の存続への圧迫が強まっていると判断されるもの。具体的には、分布域の一部において、次のいずれかの傾向が顕著であり、今後更に進行するおそれがあるもの。 a) 個体数が減少している。 b) 生息条件が悪化している。 c) 過度の捕獲・採取圧による圧迫を受けている。 d) 交雑可能な別種が侵入している。
	情報不足	DD	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性（具体的には、次のいずれかの要素）を有しているが、生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていない種 a) どの生息地においても生息密度が低く希少である。 b) 生息地が局限されている。 c) 生物地理上、孤立した分布特性を有する（分布域がごく限られた固有種等）。 d) 生活史の一部または全部で特殊な環境条件を必要としている。
	絶滅のおそれのある地域個体群	LP	次のいずれかに該当する地域個体群 ①生育状況、学術的価値等の観点から、レッドデータブック掲載種に準じて扱うべきと判断される種の地域個体群で、生息域が孤立しており、地域レベルで見た場合絶滅に瀕しているかその危険が増大していると判断されるもの。 ②地方型としての特徴を有し、生物地理学的観点から見て重要と判断される地域個体群で、絶滅に瀕しているか、その危険が増大していると判断されるもの。
佐賀県RL	「佐賀県レッドリスト2003（鳥類、ほ乳類、両生類、爬虫類、貝類・甲殻類・その他）」、「佐賀県レッドリスト2016（汽水・淡水魚類）」、「佐賀県レッドリスト2020（植物編）」、「佐賀県レッドリスト2023（昆虫・クモ類編）」（2003年・2016年・2020年・2023年、佐賀県）に記載された種		
	絶滅種	EX	県内ではすでに絶滅したと考えられる種
	絶滅危惧Ⅰ類種	CR+EN	絶滅の危機に瀕している種。現在の状態ををもたらした圧迫要因が引き続き、作用する場合、野生での存続が困難なもの
	絶滅危惧Ⅱ類種	VU	絶滅の危機が増大している種。現在の状態ををもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類種」のランクに移行することが確実と考えられるもの
	準絶滅危惧種	NT	存続基盤が脆弱な種。現時点での絶滅危険度は小さいが、生育条件の変化によっては「絶滅危惧種」として上位ランクに移行する要素を有するもの
	情報不足種	DD	評価するだけの情報が不足している種
	絶滅のおそれのある地域個体群	LP	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの

注1. 佐賀県レッドリストのカテゴリーのランクは、環境省レッドリストに準じた。

1) 鳥類

鳥類の収集した文献一覧を表 3.1-48(1)及び(2)に示す。

文献調査により確認された鳥類の重要な種の一覧は表 3.1-49(1)から(4)に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲において、生息する可能性がある鳥類の重要な種は 15 目 34 科 119 種である。

表 3.1-48(1) 収集した文献一覧(鳥類)

文献 番号	文献名
1	佐賀自然史研究第1巻 第4号(平成10年 佐賀自然史研究会)
2	佐賀自然史研究第5号(平成11年、佐賀自然史研究会)
3	佐賀自然史研究第6号(平成12年、佐賀自然史研究会)
4	佐賀自然史研究第7号(平成13年、佐賀自然史研究会)
5	佐賀自然史研究第17号(平成24年、佐賀自然史研究会)
6	佐賀自然史研究第28号(令和4年、佐賀自然史研究会)
7	佐賀自然史研究第29号(令和5年、佐賀自然史研究会)
8	佐賀自然史研究第30号(令和7年、佐賀自然史研究会)
9	佐賀の生物 Vol. 4 No. 1(昭和54年、佐賀大学生物研究会)
10	佐賀の生物 Vol. 5 No. 1(昭和29年、佐賀大学生物研究会)
11	佐賀の生物 Vol. 6(平成4年、佐賀大学生物研究会)
12	佐賀の生物 Vol. 7(平成7年、佐賀大学生物研究会)
13	第2回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
14	第3回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
15	第4回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
16	第4回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査報告書「干潟、藻場、サンゴ礁調査」(平成6年、環境省)
17	第6回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
18	第6回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 種の多様性調査(福岡県)報告書(平成17年 環境省)
19	自然環境調査 定点調査報告書(シギ・チドリ類)(昭和55年～平成16年、環境省)

表 3.1-48(2) 収集した文献一覧(鳥類)

文献 番号	文献名
20	自然環境調査 モニタリングサイト 1000 (生物多様性センターモニタリングサイト 1000 : http://www.biodic.go.jp/moni1000/moni1000/)
21	令和 4 年度 六角川水系鳥類調査業務 報告書(令和 5 年 3 月)
22	令和 4 年度 嘉瀬川水系鳥類調査業務 報告書(令和 5 年 3 月)
23	平成 27 年度 筑後川水系鳥類調査業務 報告書(平成 28 年 3 月)
24	佐賀県の生物 (平成 8 年、佐賀県生物部会)
25	有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性(平成 12 年、海遊舎)
26	佐賀県レッドリスト 2003 (平成 16 年 3 月、佐賀県)
27	福岡県レッドデータブック 2024【改訂第 2 版】(令和 7 年 3 月、福岡県)
28	佐賀空港消防・警備等対策委託(鳥生態等調査)(平成 25 年、佐賀県)
29	一般国道 444 号佐賀福富道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成 18 年、佐賀県)
30	佐賀都市計画道路(西寺井三重線・下古賀嘉瀬町線)・川副都市計画道路(福富南里線)・大川都市計画道路(大牟田大川線)環境影響評価書 (平成 20 年、佐賀県)
31	一般国道 444 号福富鹿島道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成 27 年、佐賀県)
32	野鳥さが 195 号～259 号(平成 26 年 7 月 令和 7 年 7 月、日本野鳥の会佐賀県支部)

表 3.1-49(1) 鳥類の重要な種の一覧

No.	目名	科名	種名	重要な種の選定基準						文献	
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例		佐賀県 条例
1	キジ目	キジ科	ウズラ			VU	EN				10、23、26、27、30
2			アカヤマドリ（亜種 ヤマドリ）			NT	NT	DD			26、27、30
3			キジ				DD				8、22、27
4	カモ目	カモ科	ヒシクイ	国		VU					8、
5			オオヒシクイ（亜種オオヒシクイ）			NT					8、22
6			マガン	国		NT					8、22
7			インドガン		国際						29
8			コクガン	国		VU					8
9			ツクシガモ			VU	NT	CR+EN			3、9、10、11、12、14、20、21、22、23、25、26、27、28、29、30
10			アカツクシガモ			DD					22、30
11			オシドリ			DD		NT			1、21、22、23、26、30
12			トモエガモ			VU	NT	NT			1、8、10、11、22、26、27、28、30
13			アカハジロ			DD		NT			26、30
14			ホオジロガモ				VU				8、22、27、28
15			ミコアイサ				NT				8、10、26
16	カイツブリ目	カイツブリ科	ハジロカイツブリ				NT			8、26	
17	ハト目	ハト科	カラスバト	国		NT	VU	NT			30、26、27
18			シラコバト	国		EN					6、8
19	コウノトリ目	コウノトリ科	コウノトリ	特国	国内	CR	VU				16、21、26、30
20	ペリカン目	サギ科	サンカノゴイ			EN	VU	VU			26、27、30
21			ヨシゴイ			NT	CR	CR+EN	県指定		10、26、27、30
22			ミゾゴイ			VU	VU	VU			22、26、27
23			ゴイサギ				VU				8、21、22、26
24			ササゴイ				VU	CR+EN			14、15、21、22、23、24、26、27
25			アマサギ				VU				1、8、9、10、11、14、15、17、21、22、23、26、29、30、31
26			チュウサギ			NT	NT				1、5、8、9、10、11、12、14、15、16、17、21、22、23、26、29、30、31
27			コサギ				VU				8、21、22、26
28			クロサギ				NT	VU			11、12、26、27
29			カラシラサギ			NT	NT	VU			4、8、9、10、11、26、27、30
30		トキ科	クロトキ			DD					24
31			ヘラサギ			DD	VU	NT			8、20、21、22、24、26、27、29、30
32			クロツラヘラサギ		国内	EN	EN	CR+EN			8、9、12、14、20、21、22、23、24、25、26、27、28、29、30、31

表 3.1-49(2) 鳥類の重要な種の一覧

No	目名	科名	種名	重要な種の選定基準						文献	
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例		佐賀県 条例
33	ツル目	ツル科	マナヅル		国際	VU		VU		県指定	8,26,30
34			ナベヅル		国際	VU		VU		県指定	8,22,26,30
35		クイナ科	シマクイナ		国内	EN		DD			26,30
36			クイナ				NT	DD			1,5,8,10,14,26,27,30
37			ヒメクイナ					DD			26,30
38			ヒクイナ			NT	NT				1,5,8,9,13,14,17,21,22,23,27,28,29,30
39	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ				NT			8,27	
40	ヨタカ目	ヨタカ科	ヨタカ			NT	EN	VU		21,26,27,30	
41	チドリ目	チドリ科	タゲリ				VU				1,5,6,12,14,19,20,21,22,23,24,27,28,29,30,31
42			ケリ			DD	NT	LP			6,23,26,27
43			ムナグロ				VU				32,27
44			ダイゼン				VU				21,22,27
45			イカルチドリ				NT				14,17,19,21,22,23,27
46			シロチドリ			VU	VU				1,6,9,10,11,12,13,14,17,19,20,21,22,23,25,27,28,29,30
47			メダイチドリ		国際		NT				1,6,9,10,11,12,14,19,20,21,22,23,27,28,29
48			オオメダイチドリ		国際						6,10,11,12,19,20
49		ミヤコドリ科	ミヤコドリ				VU			6,20,27	
50		セイタカシギ科	セイタカシギ			VU					1,6,19,20,21,24,29,30
51		シギ科	オオジシギ			NT	NT				23,27,30,31
52			オオハシシギ					NT			6,12,19,20,21,23,24,26,30
53			シベリアオオハシシギ			DD		VU			4,6,9,19,20,26,30
54			オグロシギ				VU				6,9,10,11,12,16,19,20,21,22,23,27,29
55			オオソリハシシギ			VU	EN				6,9,11,12,16,19,20,21,22,23,27,29
56			コシャクシギ		国際	EN					6,12,19,20,23,29,30
57			チュウシャクシギ				VU				21,22,27
58			ダイシャクシギ				EN	VU			2,6,9,10,11,12,14,16,19,20,21,22,23,26,27,28,29,30
59			ホウロクシギ		国際	VU	EN	VU			4,6,9,10,11,12,16,19,20,21,22,23,26,27,29,30
60			ツルシギ			VU	VU	NT			1,6,9,10,11,12,16,19,20,21,22,23,24,26,27,29,30,31,32
61			アカアシシギ			VU	NT	VU			6,10,11,12,16,19,20,22,23,24,26,27,29,30
62			コアオアシシギ				NT				21,22,26
63			アオアシシギ				NT				21,22,26
64			カラフトアオアシシギ		国内	CR	CR	CR+EN			6,10,19,20,26,27,30

表 3.1-49(3) 鳥類の重要な種の一覧

No.	目名	科名	種名	重要な種の選定基準						文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	
65	チドリ目	シギ科	タカブシギ			VU	VU			6、9、10、11、12、14、19、20、21、23、27、29、30、31
66			ソリハシシギ				VU			21、22、27
67			キョウジョシギ				NT			21、27、32
68			オバシギ		国際		EN			6、9、10、11、12、16、19、20、21、23、27、29
69			コオバシギ		国際					6、9、10、11、16、19、20
70			ミユビシギ				VU			4、6、11、12、19、20、22、27、29
71			トウネン				VU			21、22、27
72			ウズラシギ				VU			6、9、10、11、19、20、21、22、23、27、29、30、31
73			サルハマシギ		国際					6、10、11、12、19、20、21、23、24
74			ハマシギ			NT	VU			1、2、5、6、9、10、11、12、14、16、19、20、21、22、23、27、28、29、30、31
75			ヘラシギ		国内	CR	CR	CR+EN		6、9、10、11、19、20、26、27、30
76			キリアイ					NT		6、9、10、11、19、20、21、22、24、26、30
77		タマシギ科	タマシギ			VU	VU	DD	1、6、10、13、17、19、27、26、30、31	
78		ツバメチドリ科	ツバメチドリ			VU	VU	VU	5、6、10、19、20、23、26、27、28、30	
79		カモメ科	ユリカモメ				NT		8、21、22、27	
80			ズグロカモメ			VU	VU	VU	2、5、8、9、10、11、12、14、20、21、22、23、25、26、27、28、29、30、31	
81			カモメ				NT		8、27	
82			オオセグロカモメ			NT			8、11、12、14、29	
83			コアジサシ			VU	EN	VU	県指定	5、8、9、10、11、12、13、16、17、21、22、23、24、26、27、29、30
84			ベニアジサシ			VU	CR			17、27
85			エリグロアジサシ			VU				17
86			アジサシ				NT			23、27
87	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ			NT		CR+EN	5、8、10、14、21、22、23、26、28、29、30、31	
88		タカ科	ハチクマ			NT	NT	VU	23、26、27	
89			オオワシ	国	国内	VU			24、30	
90			チュウヒ		国内	EN	CR	VU	5、8、10、12、14、22、23、26、27、28、30	
91			ハイイロチュウヒ				VU		5、8、10、12、21、22、24、27、28、31	
92			ツミ				VU	VU	26、27、30	
93			ハイタカ			NT		NT	5、8、18、21、22、23、26、30、31	
94			オオタカ			NT	NT	VU	1、5、8、21、22、23、24、26、27、30	
95			サシバ			VU	VU	VU	13、23、26、27、30	
96			イヌワシ	国	国内	EN			30	

表 3.1-49(4) 鳥類の重要な種の一覧

No.	目名	科名	種名	重要な種の選定基準							文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
97	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク				EN	VU			26、27、30
98			フクロウ					NT			4、8、21、26、30、31
99			アオバズク				VU	NT			13、17、22、23、26、27、30、31
100			トラフズク				DD	NT			8、26、27、30
101			コミミズク				VU	NT			5、8、10、14、22、23、26、27、28、30
102	ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ				VU	CR+EN		21、22、23、26、27、30	
103	ハヤブサ目	ハヤブサ科	コチョウゲンボウ				VU				1、5、8、10、12、22、23、27、28
104			ハヤブサ		国内	VU	VU	CR+EN			1、5、8、10、12、18、21、22、23、26、27、28、29、30、31
105	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ			VU	CR	VU			8、23、26、27、30
106		カササギヒタキ科	サンコウチョウ				NT	VU			22、26、27、30
107		モズ科	チゴモズ			CR	EN				22、27
108			アカモズ		国内	EN	EN				30、27
109		カラス科	オナガ				EX	EX			26、27
110		ツリスガラ科	ツリスガラ				NT				1、5、8、9、10、14、21、22、23、26、28、29、30
111		ツバメ科	コシアカツバメ				NT				8、10、22、23、27、29、31
112		ムシクイ科	オオムシクイ			DD					8、22
113			センダイムシクイ				VU				1、8、22、23、27、29
114		ヨシキリ科	オオヨシキリ				NT				1、5、8、9、10、13、17、21、22、23、24、27、29、30、31
115		ヒタキ科	コルリ				CR				8、27
116			コサメビタキ				VU	VU			8、22、26、27、29、30
117		セキレイ科	タヒバリ				NT				8、21、22、27
118		ホオジロ科	カシラダカ				NT				8、21、22、27
119			ノジコ			NT	NT				8、27
合計	15目	34科	119種	8種	20種	62種	89種	52種	2種	2種	-

2) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類、爬虫類、哺乳類の収集した文献一覧を表 3.1-50 に示す。

文献調査により確認された両生類・爬虫類・哺乳類の重要な種の一覧は表 3.1-51 から表 3.1-53 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲において、生息する可能性がある両生類の重要な種は 2 目 4 科 6 種、爬虫類は 2 目 2 科 2 種、哺乳類は 4 目 5 科 5 種である。

表 3.1-50 収集した文献一覧(両生類・爬虫類・哺乳類)

文献 番号	文献名
1	佐賀自然史研究第 1 巻第 1 号(平成 7 年 佐賀自然史研究会)
2	佐賀自然史研究第 7 号(平成 13 年 佐賀自然史研究会)
3	佐賀自然史研究第 10 号(平成 16 年 佐賀自然史研究会)
4	佐賀自然史研究第 12 号(平成 18 年 佐賀自然史研究会)
5	佐賀自然史研究第 13 号(平成 19 年 佐賀自然史研究会)
6	佐賀自然史研究第 16 号(平成 23 年 佐賀自然史研究会)
7	佐賀自然史研究第 18 号(平成 25 年 佐賀自然史研究会)
8	佐賀自然史研究第 19 号(平成 26 年 佐賀自然史研究会)
9	第 3 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書 両生類・爬虫類(昭和 63 年 環境庁)
10	第 4 回自然環境保全基礎調査 動植物分布調査報告書(平成 5 年 環境庁自然保護局)
11	第 5 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査報告書(哺乳類)(平成 14 年 環境省自然環境局生物多様性センター)
12	第 6 回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書(平成 16 年 環境省自然環境局生物多様性センター)
13	平成 29 年度六角川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査業務 報告書(平成 30 年 3 月)
14	令和 2 年度嘉瀬川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査業務 報告書(令和 3 年 1 月)
15	平成 26 年度筑後川水系両生類・爬虫類・哺乳類調査業務 報告書(平成 27 年 3 月)
16	佐賀県レッドリスト 2003(平成 16 年 3 月 佐賀県)
17	福岡県レッドデータブック 2024【改訂第 2 版】(令和 7 年 3 月 福岡県)
18	佐賀都市計画道路 西寺井三重線 下古賀嘉瀬町線 川副都市計画道路 福富南里線 大川都市計画道路 大牟田大川線 環境影響評価書 (平成 20 年 佐賀県 福岡県)
19	一般国道 444 号福富鹿島道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成 27 年 佐賀県)
20	佐賀自然史研究第 29 号(令和 5 年、佐賀自然史研究会)
21	佐賀自然史研究第 30 号(令和 7 年、佐賀自然史研究会)

表 3.1-51 両生類の重要な種の一覧

No	目名	科名	種名	重要な種の選定基準							文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
1	有尾目	サンショウウオ科	カスミサンショウウオ		国内	VU	VU	NT			15、16、17、18、19
2		イモリ科	アカハライモリ			NT	VU				8、9、16
3	無尾目	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル				VU	DD			8、9、16、17
4		アカガエル科	ニホンアカガエル				VU				12、16
5			トノサマガエル			NT	VU	DD			1、8、9、14、16、17
6			ツチガエル				NT				3、8、9、16、18
合計	2目	4科	6種	0種	1種	3種	6種	3種	0種	0種	-

表 3.1-52 爬虫類の重要な種の一覧

No	目名	科名	種名	重要な種の選定基準							文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
1	カメ目	スッポン科	ニホンスッポン			DD	DD				5、6、12、16、18
2	有鱗目	ナミヘビ科	ジムグリ				DD	DD			6、16、17
合計	2目	2科	2種	0種	0種	1種	2種	1種	0種	0種	-

表 3.1-53 哺乳類の重要な種の一覧

No	目名	科名	種名	重要な種の選定基準							文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
1	コウモリ目（翼手目）	オヒキコウモリ科	オヒキコウモリ			VU	VU				7、17
2	ネズミ目（齧歯目）	ネズミ科	カヤネズミ				NT	NT			2、3、4、12、14、16、18
3	ネコ目（食肉目）	イヌ科	キツネ				NT				9、10、11、12、13、14、16、18
4		イタチ科	ニホンイタチ				NT	VU			7、9、10、13、14、15、16、17
5	クジラ目（鯨目）	ネズミイルカ科	スナメリ		国際		NT				2、15、17
合計	4目	5科	5種	0種	1種	1種	5種	2種	0種	0種	-

3) 昆虫類

昆虫類の収集した文献一覧を表 3.1-54 に示す。

文献調査により確認された昆虫類の重要な種の一覧は表 3.1-55(1) から(4)に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲において、生息する可能性がある昆虫類の重要な種は 7 目 48 科 98 種である。

表 3.1-54 収集した文献一覧(昆虫類)

文献 番号	文献名
1	佐賀自然史研究第 10 号(平成 16 年 佐賀自然史研究会)
2	佐賀自然史研究第 25・26 号(令和 2 年、佐賀自然史研究会)
3	佐賀自然史研究第 27 号(令和 3 年、佐賀自然史研究会)
4	佐賀自然史研究第 28 号(令和 4 年、佐賀自然史研究会)
5	第 2 回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
6	第 3 回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
7	第 4 回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
8	第 5 回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
9	平成 30 年度嘉瀬川水系陸上昆虫類調査業務 報告書(平成 31 年 3 月)
10	令和 2 年度筑後川水系水辺現地調査(陸上昆虫類等)業務報告書(令和 3 年 3 月)
11	令和 3 年度六角川水系陸上昆虫類調査業務報告書(令和 4 年 9 月)
12	佐賀県立博物館開館 25 周年記念典一大集合!佐賀平野と有明海の生き物たち-「知られざるふるさとの自然史」 (平成 7 年 佐賀県立博物館)
13	佐賀県の生物 (平成 8 年 佐賀県生物部会)
14	佐賀県レッドリスト 2023(昆虫・クモ類)(令和 5 年 6 月 佐賀県)
15	福岡県レッドデータブック 2024【改訂第 2 版】(令和 7 年 3 月 福岡県)
16	一般国道 444 号佐賀福岡道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成 18 年 佐賀県)
17	佐賀都市計画道路 西寺井三重線 下古賀嘉瀬町線 川副都市計画道路 福富南里線 大川都市計画道路 大牟田大川線 環境影響評価書 (平成 20 年 佐賀県 福岡県)
18	一般国道 444 号福富鹿島道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成 27 年 佐賀県)
19	佐賀県産 蜻蛉文献・種別目録(1919-2018)(令和 3 年、佐賀昆虫同好会)
20	佐賀自然史研究第 18 号(平成 25 年、佐賀自然史研究会)
21	令和 5 年度筑後川水系底生動物調査業務 報告書(令和 6 年 3 月)
22	第 6 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 種の多様性調査(福岡県)報告書 (平成 17 年、環境省)
23	佐賀自然史研究第 20 号(平成 27 年、佐賀自然史研究会)
24	佐賀自然史研究第 29 号(令和 5 年、佐賀自然史研究会)
25	佐賀自然史研究第 30 号(令和 7 年、佐賀自然史研究会)
26	令和 5 年度嘉瀬川水系底生動物調査業務 報告書(令和 6 年 3 月)
27	令和 5 年度六角川水系底生動物調査業務 報告書(令和 6 年 3 月)

表 3.1-55(1) 昆虫類の重要な種の一覧

No.	目	科	種名	重要な種の選定基準							文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
1	クモ目	コモリグモ科	カコウコモリグモ					CR+EN			7、14
2	トンボ目（蜻蛉目）	イトトンボ科	コフキヒメイトトンボ				NT	EX			1、5、8、13、14、15、19
3			キイトトンボ				NT				1、2、13、15、16、19
4			ベニイトトンボ			NT		NT			1、2、6、7、8、13、14、19
5			ムスジイトトンボ					NT			8、14、19
6			オオイトトンボ				CR	CR+EN			1、6、7、13、14、15、19
7		ヤマイトトンボ科	ヤクシマトゲオトンボ				NT				10、15
8		モノサシトンボ科	グンパイトンボ			NT	CR	NT			10、14、15、19
9		カワトンボ科	アオハダトンボ			NT	VU	NT			1、2、9、12、13、14、15、19
10		ヤンマ科	ネアカヨシヤンマ			NT	VU	NT			1、2、5、6、7、8、13、14、15、17、19
11			アオヤンマ			NT	VU	CR+EN			1、2、5、6、7、12、13、14、15、17、19
12			サラサヤンマ					NT			1、2、6、7、13、14、19
13		サナエトンボ科	キイロサナエ			NT	VU	CR+EN			1、2、8、10、13、14、15、19
14			アオサナエ				NT	CR+EN			1、13、14、15、19
15			ホンサナエ				CR	CR+EN			1、3、6、7、12、13、14、15、19
16			ヒメサナエ				NT	NT			14、15、19
17			ナゴヤサナエ			VU	VU	CR+EN			1、2、6、7、8、10、13、14、15、19
18			タベサナエ			NT	NT				1、2、6、13、15、19
19			フタスジサナエ			NT	VU	NT			1、6、7、13、14、15、19
20		エゾトンボ科	キイロヤマトンボ			NT	VU	CR+EN			1、13、14、15、19
21			コヤマトンボ					NT			1、3、6、7、11、14
22		トンボ科	ベッコウトンボ		国内	CR	CR	CR+EN			6、13、14、15、19
23			キトンボ					VU			1、3、14
24			ナツアカネ					VU			1、14
25			マユタテアカネ					VU			1、3、4、6、7、9、10、11、14
26			アキアカネ				VU	VU			1、5、7、14、15、18
27			ヒメアカネ					NT			1、7、14
28			ミヤマアカネ				NT	CR+EN			2、3、4、6、14、15、19
29	カメムシ目（半翅目）	セミ科	ハルゼミ					NT			5、14
30		サシガメ科	オオアシナガサシガメ			NT					10

表 3.1-55(2) 昆虫類の重要な種の一覧

No.	目	科	種名	重要な種の選定基準						文献		
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例		佐賀県 条例	
31	カメムシ目（半翅目）	ツチカメムシ科	シロヘリツチカメムシ			NT		NT			10、14	
32			ベニツチカメムシ					NT			13、14	
33		キンカメムシ科	チャイロカメムシ				DD				6、10、15	
34		アメンボ科	シオアメンボ			VU		VU			12、13、14	
35			エサキアメンボ			NT	NT	NT			9、14、15	
36		ミズムシ科（昆）	オモナガコミズムシ				NT				5、6、15	
37		コオイムシ科	コオイムシ			NT		NT			13、15	
38			タガメ		国内	VU	CR	CR+EN			13、14、15	
39		タイコウチ科	ミズカマキリ				NT				6、8、10、15	
40		ナベブタムシ科	トゲナベブタムシ			VU	VU	VU			8、14、15	
41			ナベブタムシ				VU				20、14	
42	トビケラ目（毛翅目）	シマトビケラ科	オオシマトビケラ				NT				6、10、14	
43		エグリトビケラ科	ヒメトビイロトビケラ				NT				14、21	
44	チョウ目（鱗翅目）	ミノガ科	オオミノガ				NT				13、14	
45		スカシバガ科	アシナガモモブトスカシバ			VU	DD	VU			9、13、14、15	
46		ボクトウガ科	ハイイロボクトウ			NT	VU	NT			9、10、13、14、15、18	
47		マダラガ科	ヤホシホソマダラ			NT	NT	DD			10、14、15	
48		セセリチョウ科	ミヤマチャバネセセリ				NT	NT			13、14、15	
49			オオチャバネセセリ					NT			5、6、7、10、14	
50		シジミチョウ科	ミズイロオナガシジミ					NT			7、14	
51			クロシジミ			EN	VU	NT			13、14、15	
52			シルビアシジミ			EN	NT	NT			10、14、15	
53		タテハチョウ科	ウラギンスジヒョウモン			VU	VU	CR+EN				13、14、15
54			オオウラギンスジヒョウモン				NT					13、15
55			オオウラギンヒョウモン			CR	CR	CR+EN				13、14、15
56			ヒオドシチョウ					NT				7、12、13、14
57			オオムラサキ			NT	NT					10、15
58	ウラナミジャノメ本土亜種				VU	NT	CR+EN				13、14、15	

表 3.1-55(3) 昆虫類の重要な種の一覧

No.	目	科	種名	重要な種の選定基準							文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
59	チョウ目（鱗翅目）	シロチョウ科	ツマグロキチョウ			EN	NT	VU			10、13、14、15
60		ツバメガ科	ギンツバメ				NT				6、14
61		ヒトリガ科	シロホソバ			NT					9、13、18
62			ヤネホソバ			NT		NT			9、13、14
63		ヤガ科	カギモンハナオイアツバ			NT	NT	NT			13、14、15
64			ギンモンアカオトウ			VU		VU			13、18、14
65	コウチュウ目（鞘翅目）	オサムシ科	マイマイカブリ				NT				6、15
66			オサムシモドキ				NT				6、15
67			ハマベチビゴモクムシ					VU			8、12、14
68		ゲンゴロウ科	カンムリセスジゲンゴロウ				NT				5、10、15
69			ゲンゴロウ		国内	VU	EX	CR+EN			13、14、15
70			コガタノゲンゴロウ			VU	NT	NT			10、14、15、23、24、25
71			マルケシゲンゴロウ※ ¹			NT	EN	DD			11、14、15
72			コシマチビゲンゴロウ			VU					9
73			キベリマメゲンゴロウ			NT	EN	NT			10、14、15
74		カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ					CR+EN			7、14
75			ツヤヒラタガムシ				NT				10、15
76			マルヒラタガムシ			NT	EN				9、15
77			スジヒラタガムシ			NT	NT	DD			10、14、15
78		ガムシ科	シジミガムシ			EN		DD			9、14
79		ハネカクシ科	オオツノハネカクシ			DD		DD			9、10、14
80		クワガタムシ科	オオクワガタ			VU	EN	VU			5、8、12、14、15
81		コガネムシ科	オオサカスジコガネ				VU				5、10、15、15
82			ミツノエンマコガネ				CR				9、15
83			ニセセマルケシマグソコガネ				NT				10、15
84		ヒメドロムシ科	キベリナガアシドロムシ				NT				6、10、15
85			ヨコミゾドロムシ			VU	NT	NT			14、15、22
86			アワツヤドロムシ				NT				6、10、15

表 3.1-55(4) 昆虫類の重要な種の一覧

No.	目	科	種名	重要な種の選定基準							文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
87	コウチュウ目（鞘翅目）	ジョウカイボン科	ニセキバリーコバネジョウカイ				NT				6、10、15
88		ホタル科	ゲンジボタル ^{※2}					NT			6、7、8、12、14
89		ジョウカイモドキ科	ベニオビジョウカイモドキ				NT				5、6、10、15
90		アリモドキ科	アリアケホソヒメアリモドキ				NT				6、10、15
91		カミキリムシ科	ムネホシシロカミキリ				VU	VU			4、5、12、14、15、17
92			トラフカミキリ				VU	VU			4、12、14、15、17
93	ハチ目（膜翅目）	スズメバチ科	ヤマトアシナガバチ			DD					9、10、11、18
94		クモバチ科	スギハラクモバチ					DD			14、18
95			アオスジクモバチ					DD			14、18
96		ミツバチ科	クロマルハナバチ			NT	EN	DD			10、14、15
97		ハキリバチ科	ネジロハキリバチ				DD				6、15、16
98			クズハキリバチ			DD	NT				10、15
合計	7目	48科	98種	0種	3種	46種	68種	66種	0種	0種	-

注1.「令和3年度六角川水系陸上昆虫類調査業務報告書(令和4年9月)」よりオニギリマルケシゲンゴロウの可能性はある。

注2.放流された個体は除く。

4) 魚類

魚類の収集した文献一覧を表 3.1-56(1)及び(2)に示す。

文献調査により確認された魚類の重要な種の一覧は表 3.1-57(1)及び(2)に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲において、生息する可能性がある魚類の重要な種は 10 目 20 科 57 種である。

表 3.1-56(1) 収集した文献一覧(魚類)

文献 番号	文献名
1	佐賀自然史研究第 1 巻第 1 号(平成 7 年、佐賀自然史研究会)
2	佐賀自然史研究第 1 巻第 4 号(平成 10 年、佐賀自然史研究会)
3	佐賀自然史研究第 5 号(平成 11 年 佐賀自然史研究会)
4	佐賀自然史研究第 11 号(平成 17 年 佐賀自然史研究会)
5	佐賀自然史研究第 14 号(平成 20 年 佐賀自然史研究会)
6	佐賀自然史研究第 16 号(平成 23 年 佐賀自然史研究会)
7	佐賀自然史研究第 17 号(平成 24 年 佐賀自然史研究会)
8	佐賀自然史研究第 18 号(平成 25 年 佐賀自然史研究会)
9	佐賀自然史研究第 19 号(平成 26 年 佐賀自然史研究会)
10	佐賀自然史研究第 20 号(平成 27 年 佐賀自然史研究会)
11	佐賀自然史研究第 21 号(平成 28 年 佐賀自然史研究会)
12	佐賀自然史研究第 24 号(令和 2 年、佐賀自然史研究会)
13	佐賀自然史研究第 25・26 号(令和 2 年、佐賀自然史研究会)
14	佐賀自然史研究第 27 号(令和 3 年、佐賀自然史研究会)
15	佐賀自然史研究第 28 号(令和 4 年、佐賀自然史研究会)

表 3.1-56(2) 収集した文献一覧(魚類)

文献 番号	文献名
16	佐賀の生物 Vol.6(平成4年 佐賀大学生物研究会)
17	佐賀の生物 Vol.7(平成7年 佐賀大学生物研究会)
18	環境庁委託 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(淡水魚類)(昭和56年 財団法人 日本自然保護局)
19	第3回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 淡水魚類(昭和63年 環境庁)
20	第4回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書(淡水魚類)(平成5年 環境庁自然保護局)
21	第4回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査 干潟生物報告書(平成6年 環境庁自然保護局)
22	生物多様性調査 動物分布調査報告書(淡水魚類)(平成14年 環境省自然環境局 生物多様性センター)
23	生物多様性調査 種の多様性調査(福岡県)報告書(平成17年 環境省自然環境局 生物多様性センター)
24	第7回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査)報告書(平成19年 環境省自然環境局 生物多様性センター)
25	令和4年度 筑後川水系水辺現地調査(魚類)業務 報告書(令和5年3月)
26	令和6年度 嘉瀬川水系魚類及び河川空間利用実態調査業務 報告書(令和7年2月)
27	令和6年度 六角川水系魚類及び河川空間利用実態調査業務 報告書(令和7年2月)
28	佐賀県立博物館開館25周年記念典一大集合!佐賀平野と有明海の生き物たち-「知られざるふるさとの自然史」(平成7年 佐賀県立博物館)
29	佐賀県の淡水魚-人と川と自然を考える(平成7年 佐賀新聞社)
30	有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性(平成12年 海遊舎)
31	福岡県レッドデータブック2024(令和7年 福岡県)
32	佐賀県レッドリスト2016(汽水・淡水魚類)(平成29年 佐賀県)
33	一般国道444号佐賀福富道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成18年 佐賀県)
34	佐賀都市計画道路 西寺井三重線 下古賀嘉瀬町線 川副都市計画道路 福富南里線 大川都市計画道路 大牟田大川線 環境影響評価書(平成20年 佐賀県 福岡県)
35	一般国道444号福富鹿島道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成27年 佐賀県)
36	佐賀自然史研究第29号(令和5年、佐賀自然史研究会)
37	佐賀自然史研究第30号(令和7年、佐賀自然史研究会)

表 3.1-57(1) 魚類の重要な種の一覧

No.	目名	科名	種名	回遊性	遡上時期	重要な種の選定基準							文献
						天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
1	ヤツメウナギ目	ヤツメウナギ科	スナヤツメ南方種					VU		NT			12, 26, 32, 34
2	ウナギ目	ウナギ科	ニホンウナギ	○	秋～初夏			EN	EN	VU			1, 3, 6, 12, 22, 26, 29, 31, 32, 33, 34, 35
3		カタクチイワシ科	エツ	○	春～初夏			EN	VU	VU			7, 25, 26, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34
4	コイ目	コイ科	コイ						DD				25, 31
5			オオキンブナ						EN				22, 31, 33
6			ヤリタナゴ					NT	VU				1, 2, 3, 6, 7, 8, 11, 12, 14, 16, 19, 20, 22, 23, 31, 33, 34
7			アブラボテ					NT	NT				2, 3, 6, 7, 8, 11, 12, 14, 19, 20, 22, 23, 29, 31
8			カネヒラ						VU	NT			3, 6, 7, 8, 12, 14, 16, 19, 20, 22, 23, 31, 32, 33, 34
9			セボシタビラ				国内	CR	CR	CR+EN	県指定		3, 19, 23, 29, 31, 32, 34
10			ニッポンバラタナゴ					CR	CR	CR+EN			3, 5, 8, 12, 18, 19, 23, 25, 31, 32, 34
11			カゼトゲタナゴ					EN	EN	VU			1, 3, 5, 6, 7, 8, 11, 12, 14, 19, 23, 31, 32, 34
12			カワバタモロコ				特定二種	EN	CR	CR+EN			3, 6, 7, 10, 11, 12, 13, 14, 22, 29, 31, 32, 33, 34, 35
13			ヌマムツ						VU				3, 5, 6, 7, 8, 12, 14, 22, 23, 31
14			ヒナモロコ					CR	CR	CR+EN			18, 19, 29, 31, 32
15			ウグイ	○	春				VU				16, 22, 29, 31, 33
16			モツゴ						DD				25, 31
17			カワヒガイ					NT	EN	NT			1, 3, 8, 12, 22, 23, 29, 31, 32
18			ゼゼラ					VU	VU				3, 6, 11, 12, 14, 16, 22, 23, 31, 33, 34
19			ツチフキ					EN	VU	NT			3, 6, 8, 12, 14, 16, 19, 20, 22, 23, 31, 32, 33, 34, 35
20		ドジョウ科	ドジョウ					NT	VU	VU			7, 10, 13, 14, 22, 31, 32, 34
21			アリアケスジシマドジョウ					EN	VU	CR+EN			7, 9, 10, 11, 13, 14, 17, 22, 29, 31, 32, 34
22			ヤマトシマドジョウ					VU	NT	VU			3, 17, 22, 29, 31, 32
23	ナマズ目	ギギ科	アリアケギバチ					VU	CR	VU			23, 25, 31, 32, 34
24		アカザ科	アカザ					VU	VU	CR+EN			29, 31, 32
25	サケ目	アユ科	アユ	○	春				VU				1, 3, 16, 20, 22, 29, 31, 33, 34
26		シラウオ科	アリアケシラウオ	○	秋			CR	CR	CR+EN			4, 9, 18, 25, 28, 31, 32, 34
27			アリアケヒメシラウオ				国内	CR	CR	CR+EN			1, 18, 25, 26, 29, 30, 31, 32, 34
28		サケ科	サクラマス (ヤマメ)	○	春			NT	EN				29, 31

表 3.1-57(2) 魚類の重要な種の一覧

No.	目名	科名	種名	回遊性	遡上時期	重要な種の選定基準							文献	
						天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例		
29	ボラ目	ボラ科	メナダ						DD				25, 31	
30	ダツ目	メダカ科	ミナミメダカ					VU	VU	NT			3, 5, 6, 7, 8, 10, 11, 12, 14, 19, 20, 22, 23, 25, 27, 29, 31, 32, 33, 34, 35	
31	スズキ目	サヨリ科	クルマサヨリ					NT	CR	VU			6, 25, 29, 31, 32, 34	
32		ケツギョ科	オヤニラミ					EN	NT	VU			3, 18, 22, 23, 31, 32, 34	
33		スズキ科	スズキ	○	春～初夏			LP		LP			6, 16, 32, 33, 34, 35	
34		ニベ科	コイチ						EN				25, 26, 27, 31	
35		カジカ科	ヤマノカミ					EN	EN	VU			1, 6, 15, 16, 18, 25, 26, 27, 30, 31, 32, 33, 34, 35	
36		ハゼ科	カジカ (中卵型)					EN	EN	CR+EN				31, 32, 34
37			シロウオ	○	早春			VU	VU	NT				31, 32, 34
38			アカウオ						DD					25, 31
39			ワラスボ					VU		NT				12, 21, 25, 26, 27, 30, 32, 33, 34, 35
40			チワラスボ					EN	NT	CR+EN				30, 31, 32, 34
41			ムツゴロウ					EN						1, 12, 21, 25, 26, 27, 29, 30, 33, 34, 35
42			タビラクチ					VU	VU	VU				12, 17, 25, 27, 31, 32, 34
43			トビハゼ					NT	NT	NT				12, 16, 21, 22, 25, 26, 27, 31, 32, 33, 34, 35
44			ハゼクチ					VU	NT	VU				6, 12, 13, 16, 25, 26, 27, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35
45			マサゴハゼ					VU	NT	NT				12, 25, 26, 31, 32
46			シロチチブ					NT	NT	VU				31, 32, 34
47			ショウキハゼ					NT	NT	NT				24, 25, 26, 27, 28, 31, 32, 33, 34
48			カワヨシノボリ							NT				3, 22, 32
49			オオヨシノボリ							NT				32
50			クロヨシノボリ							VU				32, 34
51			ウキゴリ							DD				22, 26, 27, 31
52			チクゼンハゼ						VU	EN	VU			31, 32, 34
53			クボハゼ						EN	EN	VU			31, 32, 35
54	キセルハゼ						EN	EN	CR+EN			31, 32		
55	カレイ目	ウシノシタ科	コウライアカシタビラメ						NT				25, 31, 33, 34	
56			デンベウシタビラメ						NT				27, 31	
57	フグ目	フグ科	トラフグ						NT				25, 27, 31	
合計	10目	20科	57種		8種	0種	3種	40種	50種	39種	1種	0種	-	

5) 底生動物

底生動物の収集した文献一覧を表 3.1-58(1)及び(2)に示す。

文献調査により確認された底生動物の重要な種の一覧は表 3.1-59(1)から(4)に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲において、生息する可能性がある底生動物の重要な種は 31 目 89 科 167 種である。

表 3.1-58(1) 収集した文献一覧(底生動物)

文献 番号	文献名
1	佐賀自然史研究第 11 号(平成 17 年、佐賀自然史研究会)
2	佐賀自然史研究第 18 号(平成 25 年、佐賀自然史研究会)
3	佐賀自然史研究第 20 号(平成 27 年、佐賀自然史研究会)
4	佐賀自然史研究第 22 号(平成 29 年、佐賀自然史研究会)
5	佐賀自然史研究第 24 号(令和 2 年、佐賀自然史研究会)
6	佐賀自然史研究第 25・26 号(令和 2 年、佐賀自然史研究会)
7	佐賀自然史研究第 27 号(令和 3 年、佐賀自然史研究会)
8	佐賀自然史研究第 28 号(令和 4 年、佐賀自然史研究会)
9	佐賀の生物 Vol. 7(平成 7 年、佐賀大学生物研究会)
10	第 2 回自然環境保全基礎調査 海域調査報告書 海域生物調査(昭和 55 年、環境庁)
11	第 3 回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
12	第 3 回自然環境保全基礎調査 海域生物環境調査報告書(昭和 63 年、環境庁)
13	第 4 回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
14	第 4 回自然環境保全基礎調査 干潟・藻場調査報告書(干潟生物調査) 佐賀県
15	第 5 回自然環境保全基礎調査 (生物多様性センター自然環境調査 Web-GIS : http://gis.biodic.go.jp/webgis/)
16	第 6 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 種の多様性調査(福岡県)報告書 (平成 17 年、環境省)
17	第 7 回自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査(干潟調査)報告書(平成 19 年、環境省)
18	第 7 回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 種の多様性調査(佐賀県)報告書 (平成 20 年、環境省)

表 3.1-58(2) 収集した文献一覧(底生動物)

文献 番号	文献名
19	令和5年度 嘉瀬川水系底生動物調査業務 報告書(令和6年3月)
20	令和5年度 筑後川水系底生動物調査業務 報告書(令和6年3月)
21	令和5年度 六角川水系底生動物調査業務 報告書(令和6年3月)
22	佐賀県立博物館開館25周年記念典―大集合!佐賀平野と有明海の生き物たち―「知られざるふるさとの自然史」(平成7年、佐賀県立博物館)
23	佐賀県の生物(平成8年、佐賀県生物部会)
24	佐賀県レッドリスト2003(平成16年、佐賀県)
25	福岡県レッドデータブック2024(令和7年、福岡県)
26	有明海の生きものたち 干潟・河口域の生物多様性(平成12年、海遊舎)
27	干潟の絶滅危惧動物図鑑(平成24年、東海大学出版会)
28	一般国道444号佐賀福富道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成18年、佐賀県)
29	佐賀都市計画道路(西寺井三重線・下古賀嘉瀬町線)・川副都市計画道路(福富南里線)・大川都市計画道路(大牟田大川線)環境影響評価書(平成20年、佐賀県)
30	一般国道444号福富鹿島道路(有明海沿岸道路)環境影響評価書(平成27年、佐賀県)
31	佐賀自然史研究第29号(令和5年、佐賀自然史研究会)
32	佐賀自然史研究第30号(令和7年、佐賀自然史研究会)

表 3.1-59(1) 底生動物の重要な種の一覧

No.	目	科	種名	重要な種の選定基準								文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	環境省 海洋生物 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
1	イソギンチャク目	ウメボシイソギンチャク科	ハナワケイソギンチャク					NT				17, 25
2	ナメクジウオ目	ナメクジウオ科	ヒガシナメクジウオ				VU	VU				14, 25, 30
3	ヒル目	ヒラタビル科	ミドリビル			DD						18, 20
4	カサガイ目	ユキノカサガイ科	ツボミガイ			NT		NT				18, 25
5	古腹足目	ニシキウズガイ科	イボキサゴ			NT		VU				17, 25, 26
6	アマオブネガイ目	アマオブネガイ科	ヒロクチカノコガイ			NT		VU	NT			4, 15, 17, 18, 24, 25, 26, 28, 29, 30
7	新生腹足目	タニシ科	マルタニシ			VU		NT				9, 11, 16, 25
8			オオタニシ			NT		VU				15, 25, 30
9		ウミニナ科	ウミニナ			NT		NT	NT			10, 18, 24, 25, 29, 30
10		キバウミニナ科	フトヘナタリガイ			NT		NT	CR+EN			18, 24, 25, 28, 30
11			シマヘナタリガイ			CR+EN		EN	CR+EN			4, 15, 18, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30
12			クロヘナタリガイ			CR+EN		EN	CR+EN			4, 15, 18, 24, 25, 26, 28, 29, 30
13			ヘナタリガイ			NT		NT	CR+EN			18, 24, 25
14			カワアイガイ			VU		VU	CR+EN			18, 24, 25, 28
15		ワカウラツボ科	カワグチツボ			NT						4, 5, 12, 15, 17, 18, 20, 28
16			サザナミツボ			NT		NT				4, 25
17			ワカウラツボ			VU		NT	CR+EN			1, 15, 20, 21, 24, 25
18		カワザンショウガイ科	クリイロカワザンショウガイ			NT		NT	CR+EN			18, 24, 25, 30
19			オオクリイロカワザンショウガイ			CR+EN		CR	CR+EN			18, 24, 25, 26, 27, 28, 30
20			ツブカワザンショウガイ			NT		NT				15, 25, 28
21			イヨカワザンショウガイ			NT		NT				4, 17, 25, 30
22			ヒラドカワザンショウガイ						NT			17, 18, 24, 30
23			ムシヤドリカワザンショウガイ			NT			NT			24
24			ヒナタムシヤドリカワザンショウガイ			NT		VU				17, 25, 26, 30
25			ヨシダカワザンショウガイ			NT		VU				25, 26
26			アマグリイロカワザンショウガイ						DD			18, 24
27			アズキカワザンショウガイ			VU		VU	NT			4, 9, 11, 13, 15, 17, 18, 24, 25, 26, 28, 29, 30
28		エゾマメタニシ科	マメタニシ			CR		CR				25
29		ミズゴマツボ科	ミズゴマツボ			VU		NT	DD			1, 16, 24, 25, 26, 28, 29, 30
30		イソコハクガイ科	シラギクガイ			NT		NT				17, 25
31		タマガイ科	アダムスタマガイ			NT		EN				12, 25
32			サキグロタマツメタガイ			CR+EN		DD	CR+EN			4, 24, 25, 26, 28, 29, 30
33			ゴマフタマガイ			CR+EN		CR	CR+EN			10, 24, 25, 27
34		イトカケガイ科	ウネナシイトカケ			VU		EN				25, 27
35		エゾバイ科	ミクリガイ					NT	CR+EN			24, 25, 30
36		イトカケガイ科	クレハガイ			NT		NT				25
37		フトコロガイ科	マルテンスマツムシ			CR+EN		EN				17, 18, 25, 27, 28
38		バイ科	バイ			NT		VU	CR+EN			24, 25
39		ムシロガイ科	ウネハナムシロ			CR+EN		DD	CR+EN			17, 24, 25, 26, 27, 28, 30
40			ヒロオビヨフバイ			CR+EN		VU	CR+EN			1, 17, 24, 25, 26, 30
41		テングニシ科	テングニシ			NT		NT	CR+EN			24, 25, 29, 30
42		コロモガイ科	オリイレボラ			VU		VU	CR+EN			1, 24, 25, 26
43		アッキガイ科	アカニシ						NT			17, 24, 29, 30

表 3.1-59(2) 底生動物の重要な種の一覧

No.	目	科	種名	重要な種の選定基準								文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	環境省 海洋生物 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
44	汎有肺目	フタマイマイ科	ウミマイマイ			VU		VU	CR+EN			1、4、5、12、15、17、18、20、24、25、26、28、29、30
45		イソチドリ科	イソチドリ			CR+EN		EN				25、26
46			マキモノガイ			CR+EN		VU				25
47		イソアワモチ科	ヤベカワモチ			CR+EN		CR				4、17、25、27
48			センバイアワモチ			CR+EN		VU	CR+EN			1、4、18、20、21、24、25、28、30
49		オカミミガイ科	ナラビオカミミガイ			VU		VU	CR+EN			1、4、15、18、19、20、21、24、25、26、29、30
50			シイノミミミガイ			CR+EN		CR	CR+EN			18、24、25
51			オカミミガイ			VU		VU	CR+EN			4、13、15、18、19、20、21、24、25、26、28、29、30
52			ウスコミミガイ			NT		NT	NT			18、24、25、28
53			クリイロコミミガイ			VU		EN	CR+EN			1、18、24、25、30
54			キヌカツギハマシイノミガイ			VU		VU	CR+EN			4、18、19、20、24、25、26、30
55		モノアラガイ科	コシダカヒメモノアラガイ			DD		DD				17、25
56			モノアラガイ			NT		NT				16、25、29、30
57		ヒラマキガイ科	ヒメヒラマキミズマイマイ			EN		EN				13、25
58			ヒラマキミズマイマイ			DD		NT				16、25
59			クルマヒラマキガイ			VU		VU				25、30
60			ヒラマキガイモドキ			NT		NT				25
61		オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ			NT		VU				25
62		カワコザラガイ科	カワコザラガイ			CR						16、20
63	フネガイ目	フネガイ科	クマサルボウ			VU		EN	VU			24、25、27、29、30
64			アカガイ					NT				17、25
65			ハイガイ			VU		EN	CR+EN			4、10、12、14、17、18、24、25
66		サンカクサルボウ科	ササゲミミエガイ			CR+EN		EN	CR+EN			4、5、18、24、25、28、30
67	イガイ目	イガイ科	コケガラス			NT		NT				17、18、25、26、28
68	ウグイスガイ目	イタボガキ科	スミノエガキ			VU		VU	CR+EN			19、20、24、25、26、27、28、29
69			シカメガキ			NT		NT				25、26
70			イタボガキ			CR+EN		EN				25
71		ハボウキガイ科	タイラギ			NT		NT	NT			14、17、24、25、26、29、30
72			ハボウキガイ			NT		NT				25
73		イタヤガイ科	ヤミノニシキ			CR+EN		EN				25、27
74	イシガイ目	イシガイ科	タガイ					NT				25
75			オバエボシガイ			VU		CR		県指定		15、16、25
76			キュウシュウササノハガイ			VU		VU				9、11、15、16、25
77			ニセマツカサガイ			VU		CR				11、15、16、25
78			マツカサガイ			NT		VU				9、13、15、16、25、29
79			カタハガイ		特定二種	VU		CR		県指定		9、11、15、16、25、29
80	マルスダレガイ目	ウロコガイ科	ニッポンマメアゲマキガイ			NT		NT				18、25
81		フナガタガイ科	ウネナシトマヤガイ			NT						4、17、18、19、20、21、28、30
82		シジミ科	ヤマトシジミ			NT		NT				4、11、13、15、20、21、25、29
83			マシジミ			VU		CR				9、15、16、25、26、29
84		マルスダレガイ科	ハマグリ			VU		VU				17、25、26
85		ハナグモリ科	ハナグモリガイ			VU		VU	NT			4、10、12、15、17、18、24、25、28、29、30
86		ニッコウガイ科	テリザクラガイ			VU		VU	CR+EN			4、5、10、12、24、25、26、28
87			ウズザクラガイ			NT		DD				25、28

表 3.1-59(3) 底生動物の重要な種の一覧

No.	目	科	種名	重要な種の選定基準								文献
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	環境省 海洋生物 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例	
88	ツキガイ目	ツキガイ科	イセシラガイ			CR+EN		EN				25
89	マルスダレガイ目	ニッコウガイ科	イチョウシラトリ			CR+EN		EN	CR+EN			24, 25
90		シオサザナミ科	オチバガイ			NT		NT				4, 25
91			ムラサキガイ			VU		VU				17, 25
92		ナタメガイ科	アゲマキガイ			CR+EN		CR	VU			10, 12, 14, 20, 24, 25, 27, 28, 29, 30
93		ニッコウガイ科	アオサギガイ					DD				25
94	八腕形目	マダコ科	テナガダコ						VU			24, 30
95	ツツイカ目	ヤリイカ科	ベイカ				NT		NT			24, 30
96	マルスダレガイ目	マテガイ科	チゴマテガイ			VU						1, 17, 26
97		チドリマスオ科	クチバガイ			NT						12, 18
98	オオノガイ目	オオノガイ科	クシケマスオ			NT		EN				25
99		ニオガイ科	ウミタケ			VU		VU				14, 25, 27, 30
100			カキゴロモ					DD				25, 27
101		オオノガイ科	ヒメマスオガイ			VU		VU				25
102	サンバゴカイ目	ゴカイ科	アリアケカワゴカイ				EN	VU				4, 5, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 25, 26, 27, 28
103			ウチワゴカイ				NT	VU				12, 17, 20, 25
104			イトメ				NT	NT				4, 17, 18, 19, 20, 21, 25, 28
105	スピオ目	ツバサゴカイ科	ツバサゴカイ				EN	VU				17, 25
106			ムギワラムシ				NT	DD				17, 25
107	イトゴカイ目	イトゴカイ科	シダレイトゴカイ					DD				12, 25
108	フクロホシムシ目	スジホシムシ科	スジホシムシモドキ				NT	NT				10, 12, 25
109			スジホシムシ				NT					10, 12
110	フジツボ目	フジツボ科	サラサフジツボ				NT					18
111	ヨコエビ目	カマカヨコエビ科	イサハヤカマカモドキ				DD					19
112	エビ目	カニダマシ科	ヤドリカニダマシ				NT					17
113		クルマエビ科	シバエビ						NT			24, 29, 30
114			チクゴエビ				NT		CR+EN			24, 29, 30
115		テッポウエビ科	ハシボソテッポウエビ				NT	NT				5, 17, 25, 27
116			フタツトゲテッポウエビ				CR	CR				17, 25, 27
117			マングローブテッポウエビ				NT	DD				4, 17, 18, 25
118		ヘイケガニ科	ヘイケガニ						NT			12, 14, 24, 26, 29, 30
119		ムツアシガニ科	ヒメムツアシガニ				NT	VU				25
120		ヤワラガニ科	アリアケヤワラガニ			DD		EN				25, 26, 29
121		ベンケイガニ科	ウモレベンケイガニ				VU	VU				17, 18, 21, 25
122			ベンケイガニ				NT	NT				4, 17, 18, 19, 20, 21, 25, 28, 29
123			クシテガニ				NT	VU				4, 7, 17, 18, 19, 20, 21, 25, 28
124			ユビアカベンケイガニ				NT					18, 20
125		モクズガニ科	ハマガニ				NT	NT				4, 17, 18, 20, 21, 25, 28, 29
126			ヒメアシハラガニ				NT	VU				17, 18, 20, 25, 29
127			ヒメケフサイソガニ				NT	NT	VU			4, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 25, 26, 28, 29, 30
128			ヒメモクズガニ				CR	CR	VU			24, 25, 27, 29, 30
129			トリウミアカイソモドキ				NT	NT				17, 25
130			ヨコナガモドキ				NT	DD				5, 25

表 3.1-59(4) 底生動物の重要な種の一覧

No.	目	科	種名	重要な種の選定基準								文献	
				天然 記念物	種の 保存法	環境省 RL	環境省 海洋生物 RL	福岡 RDB	佐賀 RL	福岡県 条例	佐賀県 条例		
131	エビ目	ムツハアリアケガニ科	ムツハアリアケガニ				NT					4, 5, 12, 17, 20, 26, 28, 29	
132			アリアケガニ				VU	EN	VU			4, 14, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 25, 28, 29, 30	
133			アリアケモドキ					VU				4, 10, 18, 20, 21, 25, 28, 29	
134			カワスナガニ			VU		VU				25	
135		コメツキガニ科	ハラグクレチゴガニ			NT		NT	NT			4, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 25, 26, 28, 29, 30	
136		オサガニ科	オサガニ				NT	NT				17, 25, 29	
137		スナガニ科	ハクセンシオマネキ			VU		VU	DD			18, 24, 25, 29	
138			シオマネキ			VU		EN	VU			4, 6, 14, 17, 18, 19, 20, 21, 24, 25, 26, 28, 29, 30	
139			メナシビンノ科	メナシビンノ				NT	NT				5, 25, 26, 29
140		トンボ目（蜻蛉目）	イトトンボ科	コフキヒメイトトンボ					NT	EX			23, 24, 25
141	キイトトンボ							NT				23, 25	
142	ベニイトトンボ					NT						23	
143	オオイトトンボ							CR				23, 25	
144	カワトンボ科		アオハダトンボ			NT		VU	NT			23, 24, 25	
145	ヤンマ科		ネアカヨシヤンマ			NT		VU	NT			23, 24, 25	
146			アオヤンマ			NT		VU	NT			23, 24, 25	
147			サラサヤンマ						NT			23, 24	
148	サナエトンボ科		キイロサナエ			NT		VU				23, 25	
149			アオサナエ					NT	NT			23, 24, 25	
150			ホンサナエ					CR	NT			23, 24, 25	
151			ナゴヤサナエ			VU		VU	NT			19, 23, 24, 25	
152			タバサナエ			NT		NT				16, 23, 25	
153			フタスジサナエ			NT		VU				23, 25	
154	エゾトンボ科		コヤマトンボ						NT			22, 24	
155			キイロヤマトンボ			NT		VU	VU			23, 24, 25	
156	トンボ科		ベッコウトンボ		国内	CR		CR	CR+EN			23, 24, 25	
157	カメムシ目（半翅目）	アメンボ科	シオアメンボ			VU			VU			22, 23, 24	
158		コオイムシ科	コオイムシ			NT			NT			22, 23, 24, 29, 30	
159		ナベブタムシ科	タガメ		特定二種	VU		CR	CR+EN			23, 24, 25	
160			トゲナベブタムシ			VU		VU	VU			1, 24, 25	
161			ナベブタムシ					VU				2, 25	
162	コウチュウ目（鞘翅目）	ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ		特定二種	VU		EX	CR+EN			9, 24, 25	
163			コガタノゲンゴロウ			VU		NT	NT			3, 6, 8, 24, 25	
164		ヒメドロムシ科	ヨコミゾドロムシ			VU		NT	NT			16, 24, 25	
165	サメハダホシムシ目	サメハダホシムシ科	アンチラサメハダホシムシ					DD				17, 25	
166	舌殻目	シャミセンガイ科	オオシャミセンガイ				CR	CR	CR+EN			24, 25, 27, 29, 30	
167			ミドリシャミセンガイ				DD	NT	NT			5, 14, 17, 24, 25, 26, 27, 29, 30	
合計	29目	85科	167種	0種	4種	111種	33種	141種	72種	2種	0種	-	